



FUJIFILM X30

使用説明書

この使用説明書について

はじめに	1
------	---

このカメラについて

各部の名称	3	液晶モニター	12
セレクターボタン	6	視度調整ダイヤル	13
コマンドダイヤル	7	インジケータランプ	14
コントロールリング	8	DISP/BACKボタン	15
VIEW MODEボタン	10	DRIVEボタン	20

画面表示

再生時	21	撮影時	23
-----	----	-----	----

撮影の準備

ストラップを取り付ける	25	電源をオンにする/オフにする	34
バッテリーとメモリーカードを入れる	27	初期設定を行う	36
バッテリーを充電する	31		

静止画の撮影と再生

静止画を撮影する	39	画像を消去する	50
静止画を再生する	44		

動画の撮影と再生

動画を撮影する	53	動画を再生する	56
---------	----	---------	----

撮影モード

モードダイヤルで撮影モードを切り換える	59	アドバンスフィルター	69
プログラム	60	アドバンスモード	71
シャッタースピード優先	62	ぼかしコントロール	71
絞り優先	63	連写重ね撮り	71
マニュアル	64	多重露出	71
アドバンスSRオート	66	シーンポジション	76
オート	68	ぐるっとパノラマ360	78

Q (クイックメニュー) ボタン

Qボタンを使う	81
---------	----

Fn (ファンクション) ボタン

機能の割り当てを変更する	83
--------------	----

いろいろな撮影

ブラケティング撮影をしたい	87	セルフタイマーを使って撮影したい	93
AEブラケティング	87	フラッシュ撮影したい	95
ISOブラケティング	87	フォーカスエリアを変更したい	98
フィルムシミュレーションブラケティング	87	露出を補正したい	102
ホワイトバランスブラケティング	87	AE/AFロック撮影したい	104
ダイナミックレンジブラケティング	87	ピント合わせの方法を変えたい（フォーカスモード）	108
連続撮影したい（連写）	89	M（マニュアルフォーカス）で撮影したい	111
連写	89	RAW画像を撮影したい	114
前後撮り連写	89	インターバルタイマーを使って撮影したい	116
近距離撮影したい（マクロ）	91		

撮影メニュー

撮影メニューの使い方	118	シャープネス	140
工場出荷時の設定値—撮影メニュー	119	ハイライトトーン	141
シーン選択	121	シャドウトーン	142
Adv.モード	122	ノイズリダクション	143
アドバンスドフィルター	123	超解像ズーム	144
オートフォーカス設定	124	インテリジェントブレ防止	145
感度	126	カスタム選択	146
画像サイズ	127	カスタム登録/編集	147
画質モード	128	顔キレイナビ	149
ダイナミックレンジ	129	測光	150
フィルム シミュレーション	130	測光&フォーカスエリア連動	151
フィルムシミュレーションBKT	131	MFアシスト	152
セルフタイマー	132	コントロールリング設定	153
インターバルタイマー撮影	133	フラッシュ設定	154
ホワイトバランス	135	動画設定	155
カラー	139	ワイヤレス通信	157

再生メニュー

再生メニューの使い方	158	プロテクト	169
ワイヤレス通信	159	トリミング	170
PC保存	160	リサイズ	171
ピクチャーサーチ	161	画像回転	172
消去	162	画像コピー	173
アップロード先設定	164	フォトブックアシスト	174
スライドショー	165	プリント予約（DPOF）	176
RAW現像	166	instaxプリンタープリント	179
赤目補正	168	表示比率	181

セットアップメニュー

セットアップメニューの使い方	182	消費電力設定	204
工場出荷時の設定値—セットアップメニュー	184	ブレ防止モード	205
日時設定	188	赤目補正	206
世界時計	189	AE/AF LOCK設定	207
言語/LANG.	190	AE/AF-LOCK機能選択	208
リセット	191	保存設定	209
マナーモード	192	距離指標の単位	211
コントロールリング	193	ワイヤレス設定	212
フォーカスチェック	194	PC保存先設定	213
音設定	195	位置情報設定	214
表示設定	196	instaxプリンター接続設定	215
ファンクション（Fn）設定	201	ファイル名編集	216
セレクトボタン設定	202	フォーマット	217
クイックメニュー登録/編集	203		

通信と外部接続

無線LAN機能を使用する	218	プリンターにカメラをつないでプリントする	222
カメラをパソコンに接続して画像を転送する	220	テレビに接続する	229

アクセサリ

クリップオンフラッシュ	230	ステレオマイク	234
電池／バッテリー／充電器関連	231	その他	235
リモートレリーズ	232		

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください	236
----------------	-----

付録

トラブルシューティング/FAQ	239	リンク	252
警告表示	246	各撮影モードで利用できる機能について	254
仕様	250	アフターサービスについて	256

はじめに

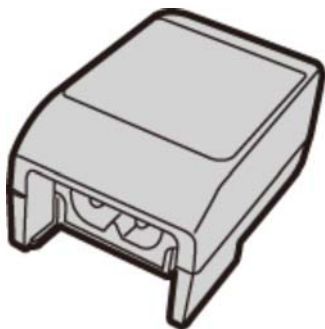
- ❗ この使用説明書のあらゆるページの内容は、事前の予告無しに変更あるいは削除することがあります。あらかじめご了承ください。
- ❗ この使用説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されております。また無断転載は固くお断りします。

付属品一覧

- 充電式バッテリーNP-95（1個）



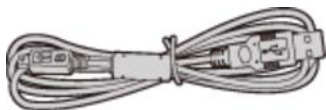
- ACパワーアダプターAC-5VT（1個）



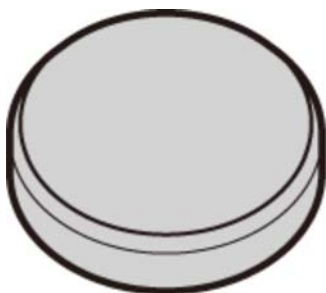
- プラグアダプター（1個）
仕向け国によって形状が異なります。



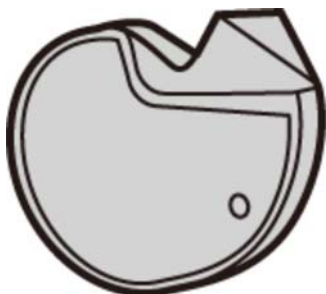
- 専用USBケーブル（1本）



- レンズキャップ（1式）



- ストラップリング取り付け補助具（1個）

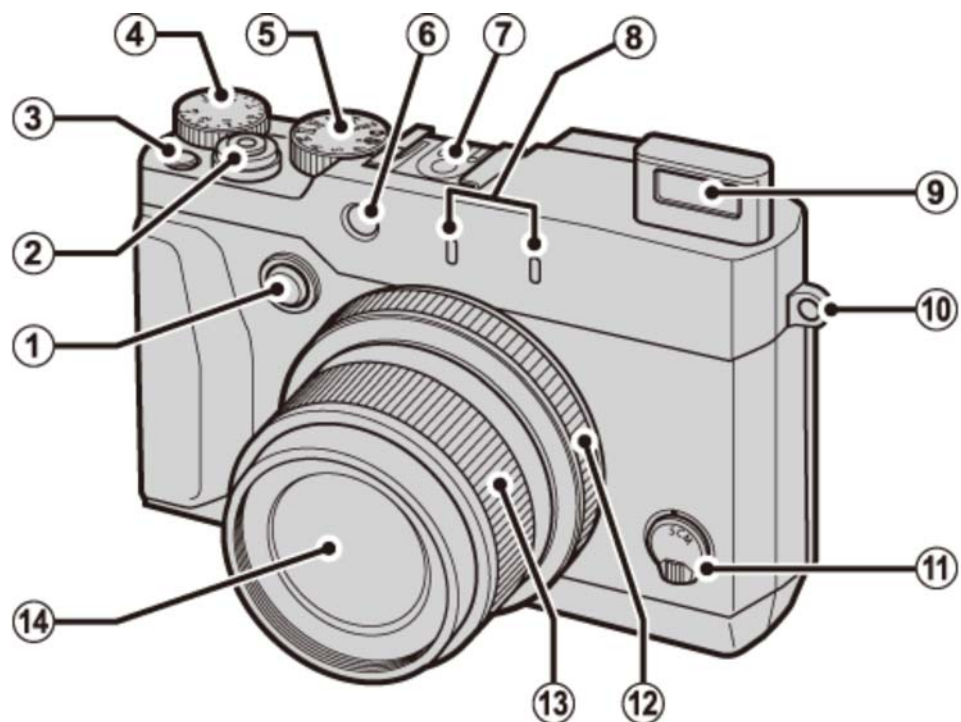


- ストラップリング（2個）



- ストラップリングカバー（2枚）
- ショルダーストラップ（1本）
- 使用説明書
- 保証書（1部）

各部の名称



① コントロールリング設定ボタン

② シャッターボタン

③ 動画撮影ボタン（ファンクション1）

④ 露出補正ダイヤル

⑤ モードダイヤル

⑥ AF補助光ランプ

セルフタイマーランプ

⑦ ホットシュー

⑧ マイク（L/R）

⑨ フラッシュ

⑩ ストラップ取り付け部

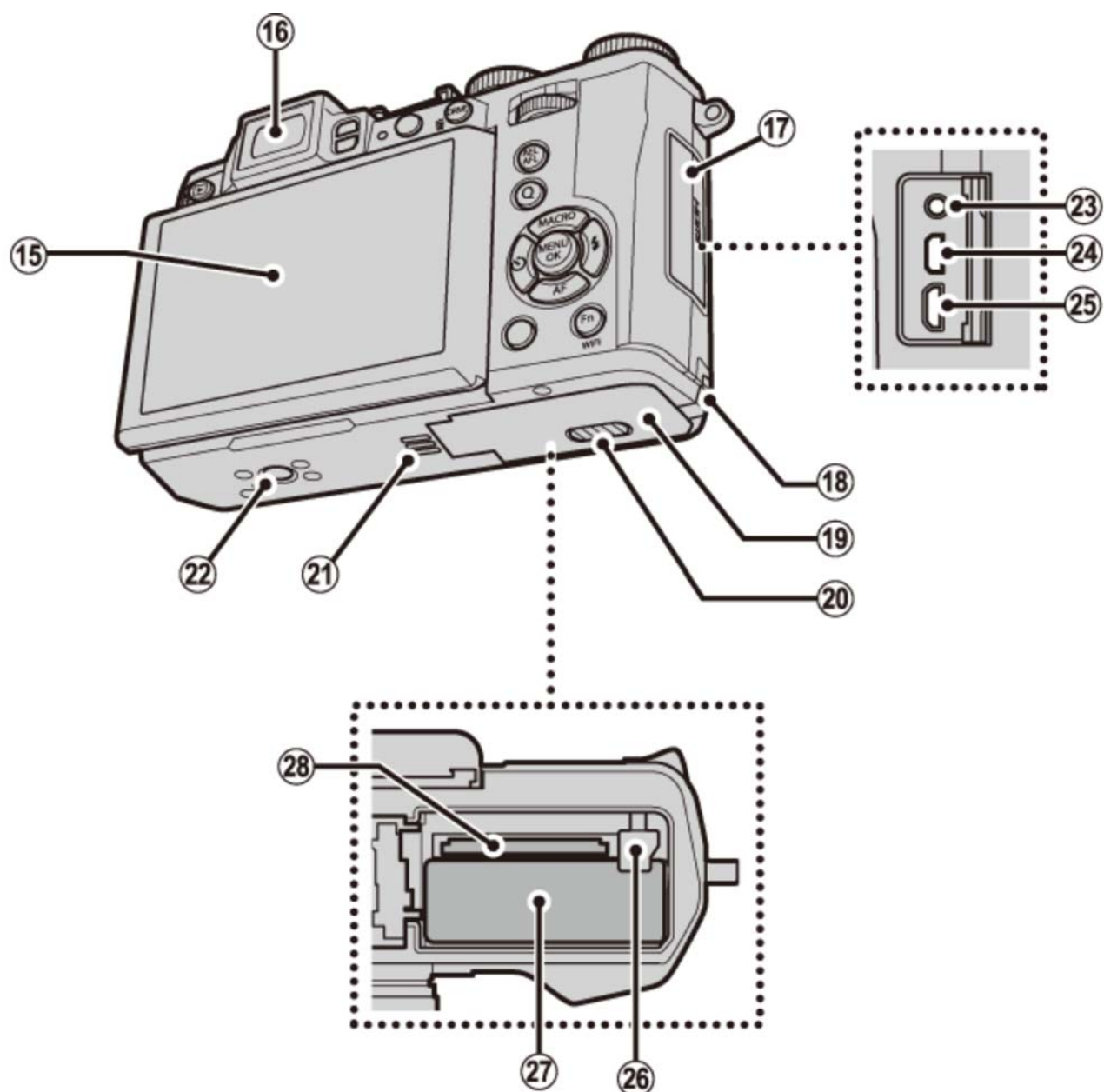
⑪ フォーカスモード切り換えレバー

⑫ コントロールリング

⑬ ズームリング

電源スイッチ

⑭ レンズ



⑮ 液晶モニター（LCD）

⑯ ファインダー（EVF）

⑰ 端子カバー

⑱ DCカプラーカバー

⑲ バッテリーカバー

⑳ バッテリーカバーロック

㉑ スピーカー

㉒ 三脚用ねじ穴

㉓ マイク/リモートリリース端子

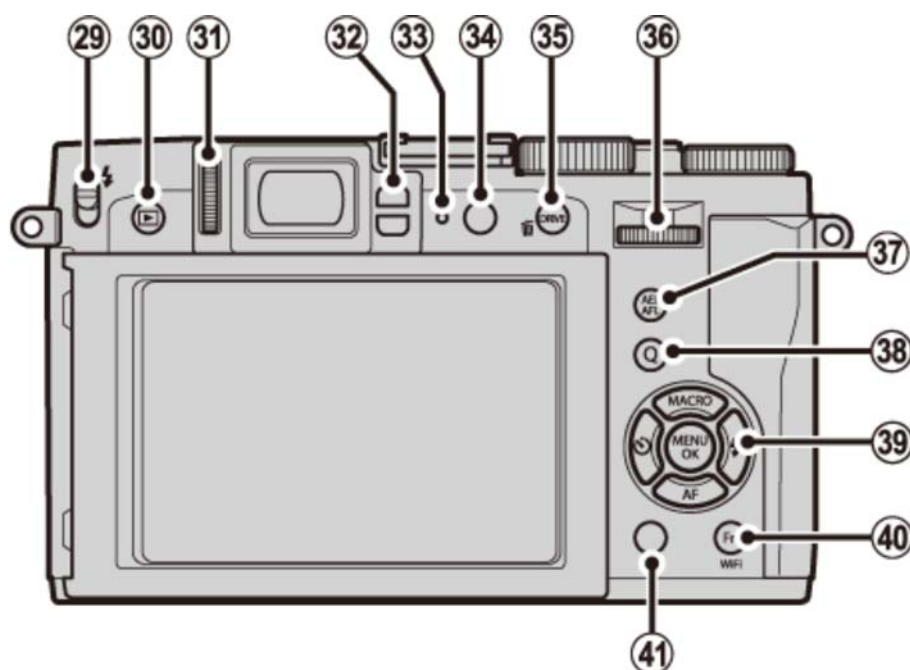
㉔ マイクロHDMI端子 *

㉕ マイクロUSB端子

㉖ バッテリー取り外しつまみ

㉗ バッテリー挿入部

㉘ メモリーカードスロット



②⑨ (フラッシュポップアップ) スイッチ

③⑩ (再生) ボタン

③① 視度調節ダイヤル

③② アイセンサー

③③ インジケータランプ

③④ **VIEW MODE** ボタン

③⑤ **DRIVE** ボタン

(消去) ボタン (再生時)

③⑥ コマンドダイヤル

③⑦ **AEL / AFL** (AEロック/AFロック) ボタン

③⑧ **Q** ボタン

RAW現像 (再生時)

③⑨ セレクターボタン (▲、▼、◀、▶、**MENU / OK**) /ファンクションボタン

④⑩ **Fn** ボタン (ファンクション6)

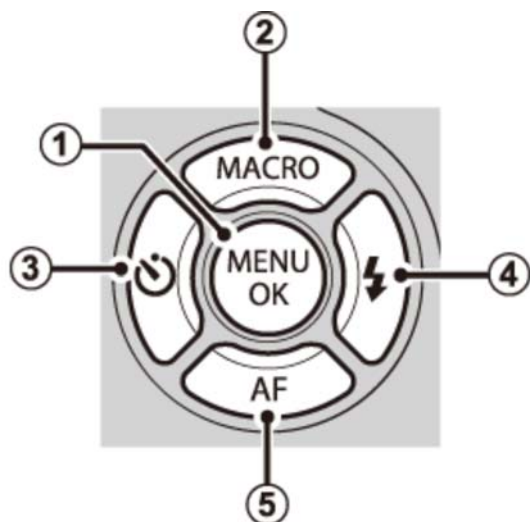
Wi-Fi ボタン (再生時)

④① **DISP / BACK** (表示/戻る) ボタン

* HDMIケーブルは、長さが1.5 m以内のものをご使用ください。

セレクトターボタン

▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押して項目を選択したり、機能を使用したりできます。



- ① **MENU**（メニュー）/**OK**ボタン
- ② 上に移動（▲）、**MACRO**（マクロ）、ファンクション2ボタン
- ③ 左に移動（◀）、🕒（セルフタイマー）、ファンクション3ボタン
- ④ 右に移動（▶）、⚡（フラッシュ）、ファンクション4ボタン
- ⑤ 下に移動（▼）、**AF**ボタン、ファンクション5ボタン

✎ **MENU / OK** ボタンを長押しすると、画面に  が表示され、セレクトターボタンと **Q** ボタンと **Fn** ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU / OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

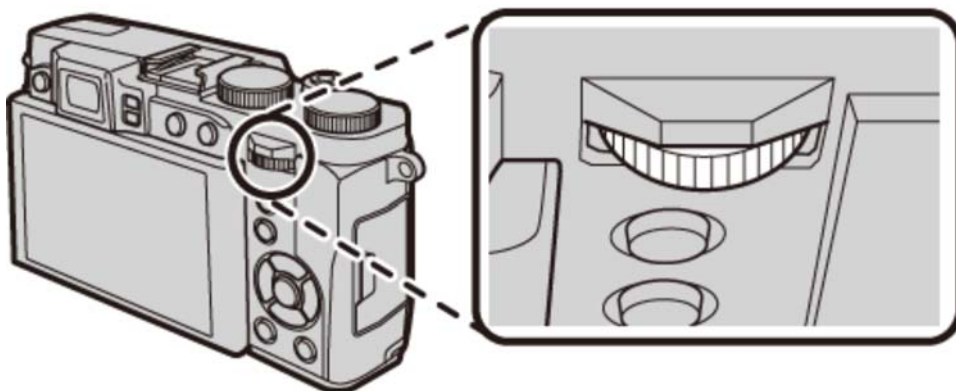
✎ **MENU / OK** ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと

 が表示されます。

関連項目

- ➡ [機能の割り当てを変更する](#)（Fn（ファンクション）ボタン）：83ページ

コマンドダイヤル



コマンドダイヤルは、メニューなどの選択の他に以下のような機能にも使えます。



- 再生時に前後の画像を表示（44ページ）
- クイックメニューの設定値変更（81ページ）
- プログラムグラムシフトの設定値変更（61ページ）
- シャッタースピードの設定値変更（62, 64ページ）
- 絞り値の設定値変更（63, 64ページ）
- フォーカスエリアのサイズ変更（98ページ）

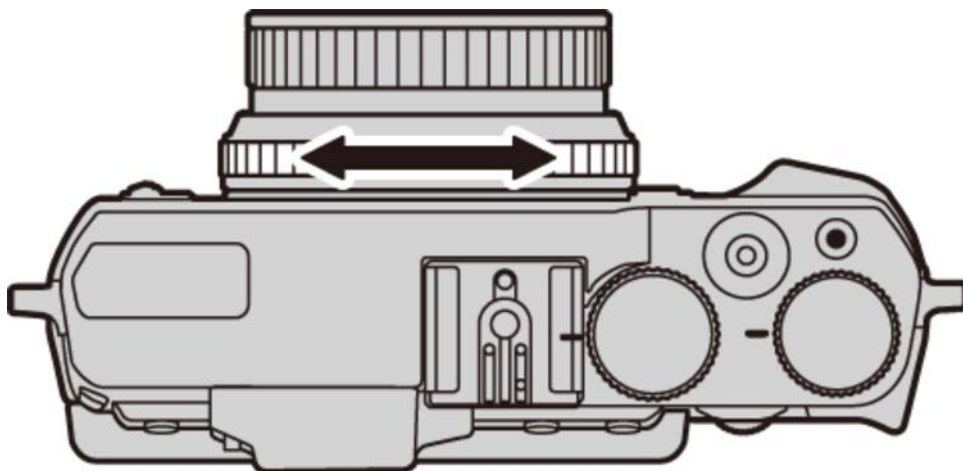
また、コマンドダイヤルの中央を押すと、以下のような機能が使えます。



- 拡大してピントを確認（110ページ）
- 再生時にピントを合わせた位置を拡大表示（46ページ）

コントロールリング

撮影中にコントロールリングを回すと、割り当てられている機能の設定を簡単に変更できます。



コントロールリング設定ボタン（3ページ）で、以下のいずれかの機能を割り当てます。

- スタANDARD（9ページ）
- 感度（126ページ）
- ホワイトバランス（135ページ）
- フィルムシミュレーション（130ページ）
- 連写（89ページ）

スタANDARDについて

スタンダードを割り当てると、カメラがモードに応じた機能を自動で割り当てます。

撮影モード	割り当てられる機能
P	プログラムシフト、MF (1)
S	シャッタースピード設定、MF (1)
A	絞り設定、MF (1)
M	絞り設定/シャッタースピード設定(2)、MF (1)
	フィルムシミュレーション
	フィルムシミュレーション、MF (1)
Filter	アドバンストフィルター選択
Adv.	アドバンストモード選択
SP1 / SP2	シーンポジション選択、MF (1)
	フィルムシミュレーション

1 フォーカスモード切り換えレバーが **M**（マニュアルフォーカス）の位置のときは、手動でピント合わせをする機能（MF）になります。

2 コントロールリング設定ボタンを押すと、絞り設定/シャッタースピード設定が切り換わります。

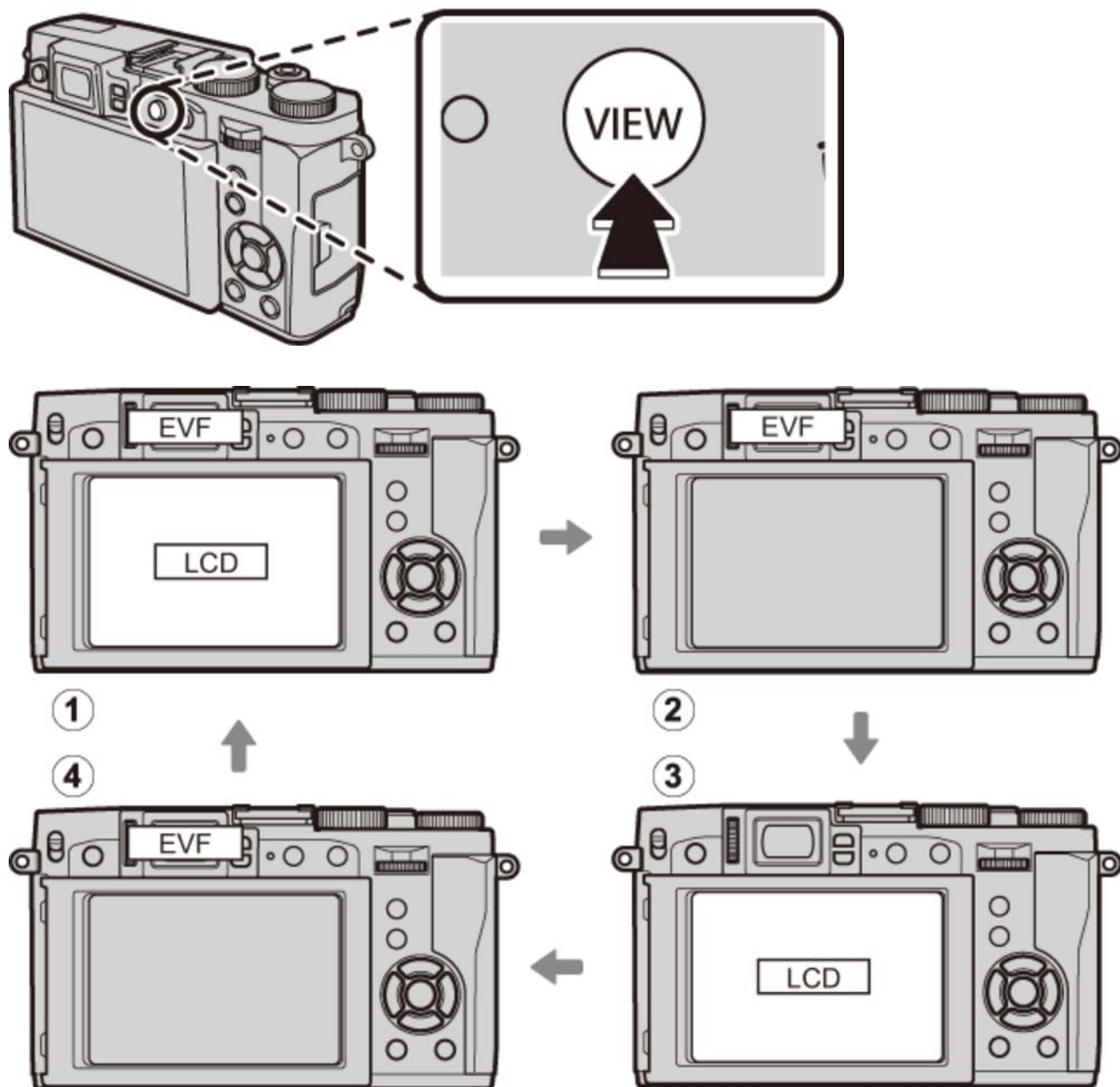
 コントロールリングの割り当て設定は撮影メニューの **コントロールリング設定** から変更できます。

関連項目

➡ [コントロールリング設定](#)（撮影メニュー）：153ページ

VIEW MODEボタン

VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）の表示が以下のように切り換わります。



- ① **アイセンサー:** ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り換わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
- ② **EVE ONLY:** ファインダーにのみ表示します。
- ③ **LCD ONLY:** 液晶モニターにのみ表示します。
- ④ **EVF ONLY + アイセンサー:** ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。

アイセンサーについて

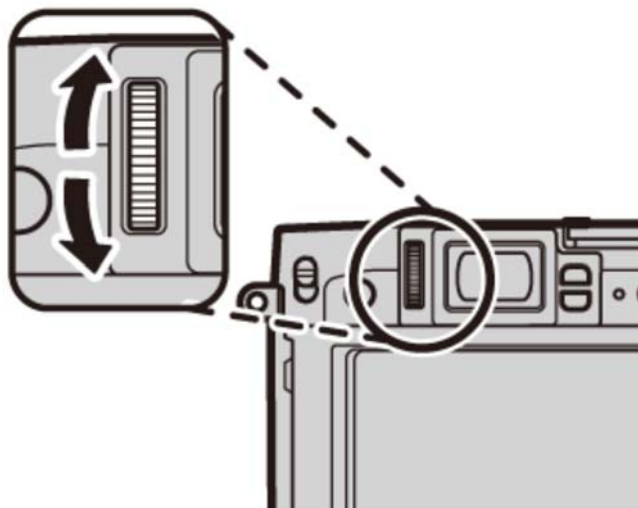
目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。



[illegible]

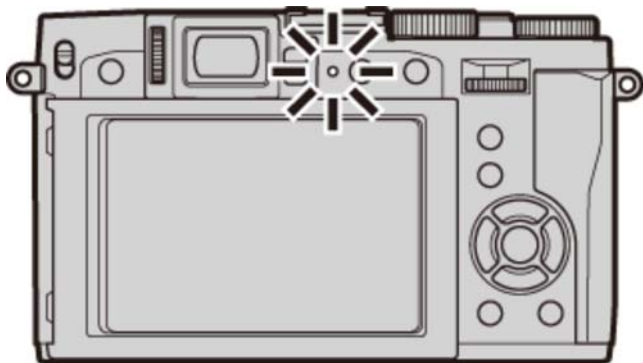
視度調整ダイヤル

ファインダーの表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。



インジケータランプ

インジケータランプの色や点灯/点滅で、カメラの状態がわかります。



緑色点灯 被写体にピントが合っています。

緑色点滅 手ブレ警告、AF警告、AE警告です（撮影できます）。

緑と橙色の交互点滅 メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（続けて撮影できます）。

橙色点灯 メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像を記録しています（撮影できません）。

橙色点滅（早い） フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。

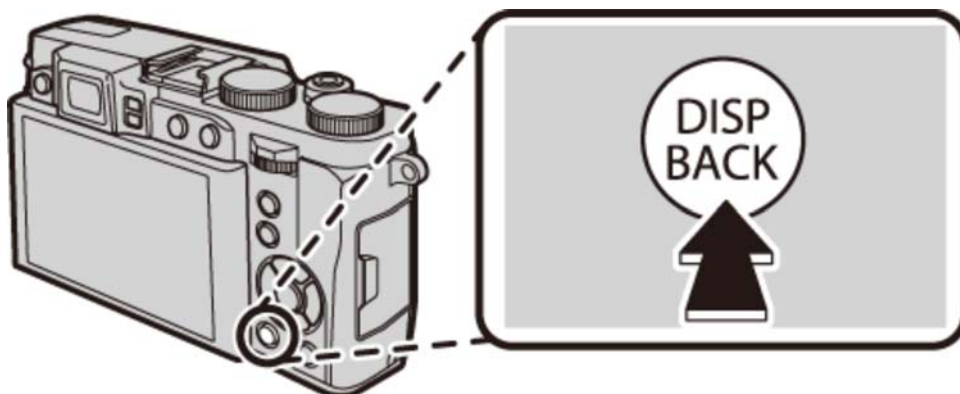
橙色点滅（遅い） ズームリングがONとOFFの間にセットされています（撮影できません）。

赤色点滅 画像記録異常、またはレンズ異常です。

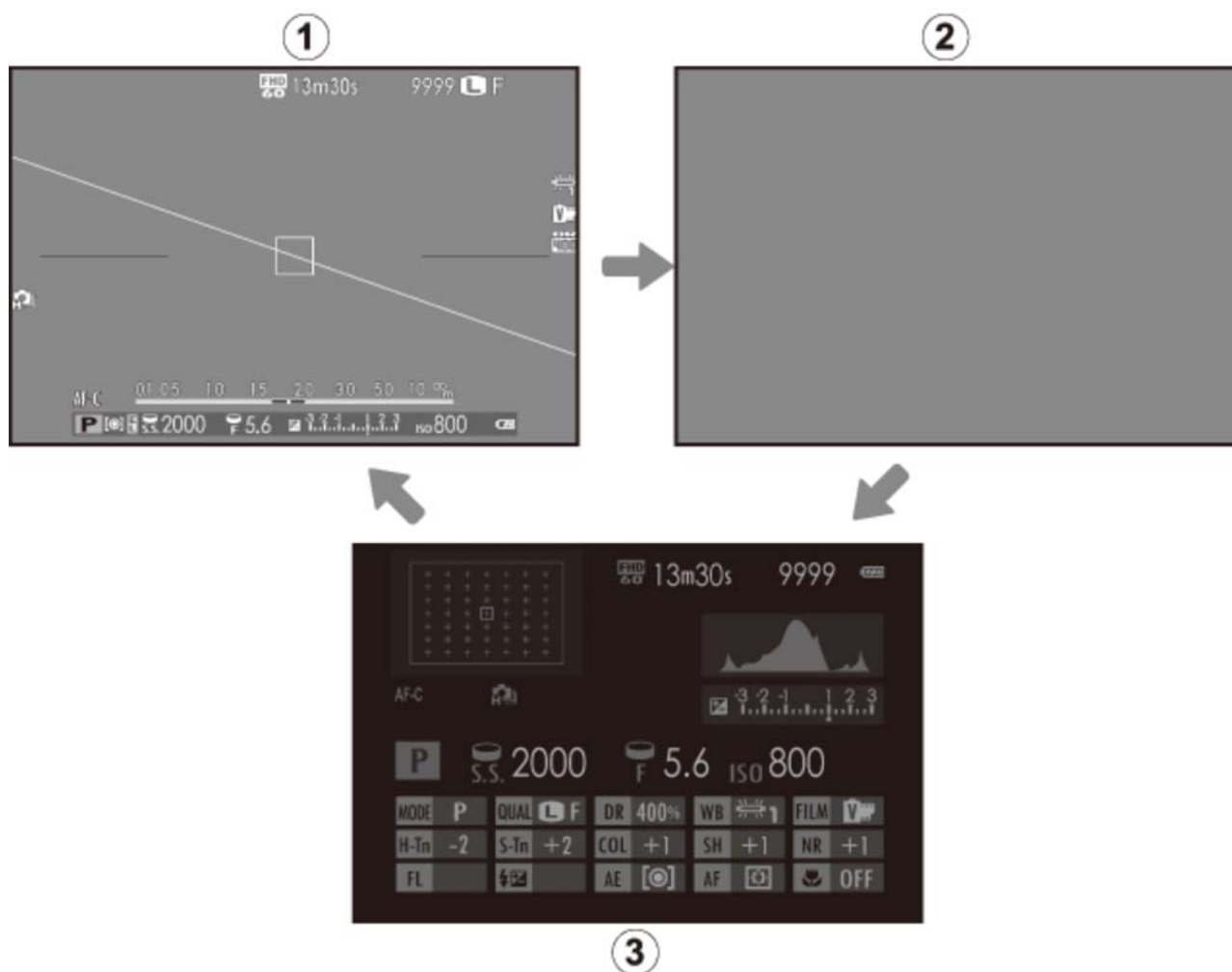
 画面にも、警告表示が表示されます。

DISP/BACKボタン

撮影モードまたは再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り換わります。



撮影時



- ① スタANDARD
- ② 情報表示なし
- ③ INFO画面（EVFには表示されません）

スタンダードの画面カスタマイズについて

① スタンダードの画面に表示したい項目は、セットアップメニューの **表示設定** > **画面のカスタマイズ** で選択できます。

1. スタンダードの画面になるまで **DISP/BACK** ボタンを押します。

2. セットアップメニューから **表示設定** > **画面のカスタマイズ** を選びます。

3. 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目は、☒ が表示されます。☒ が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- | | |
|------------------|----------------|
| ■ フレーミングガイド | ■ フラッシュ |
| ■ 電子水準器 | ■ ホワイトバランス |
| ■ AF時の距離指標 | ■ フィルムシミュレーション |
| ■ MF時の距離指標 | ■ ダイナミックレンジ |
| ■ ヒストグラム | ■ 撮影可能枚数 |
| ■ 絞り/シャッター速度/ISO | ■ 画像サイズ&画質モード |
| ■ 露出補正バー | ■ 動画モード&録画時間 |
| ■ 測光 | ■ バッテリー残量表示 |

4. 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。

設定が保存されます。

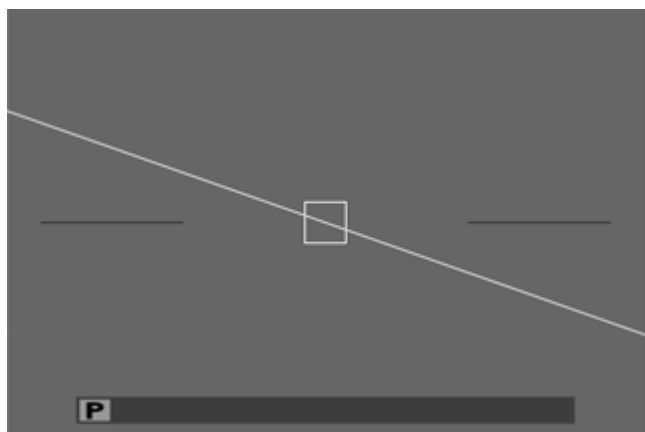
5. もう一度 **DISP/BACK** ボタンを押します。

撮影画面に戻りますので、表示内容を確認してください。



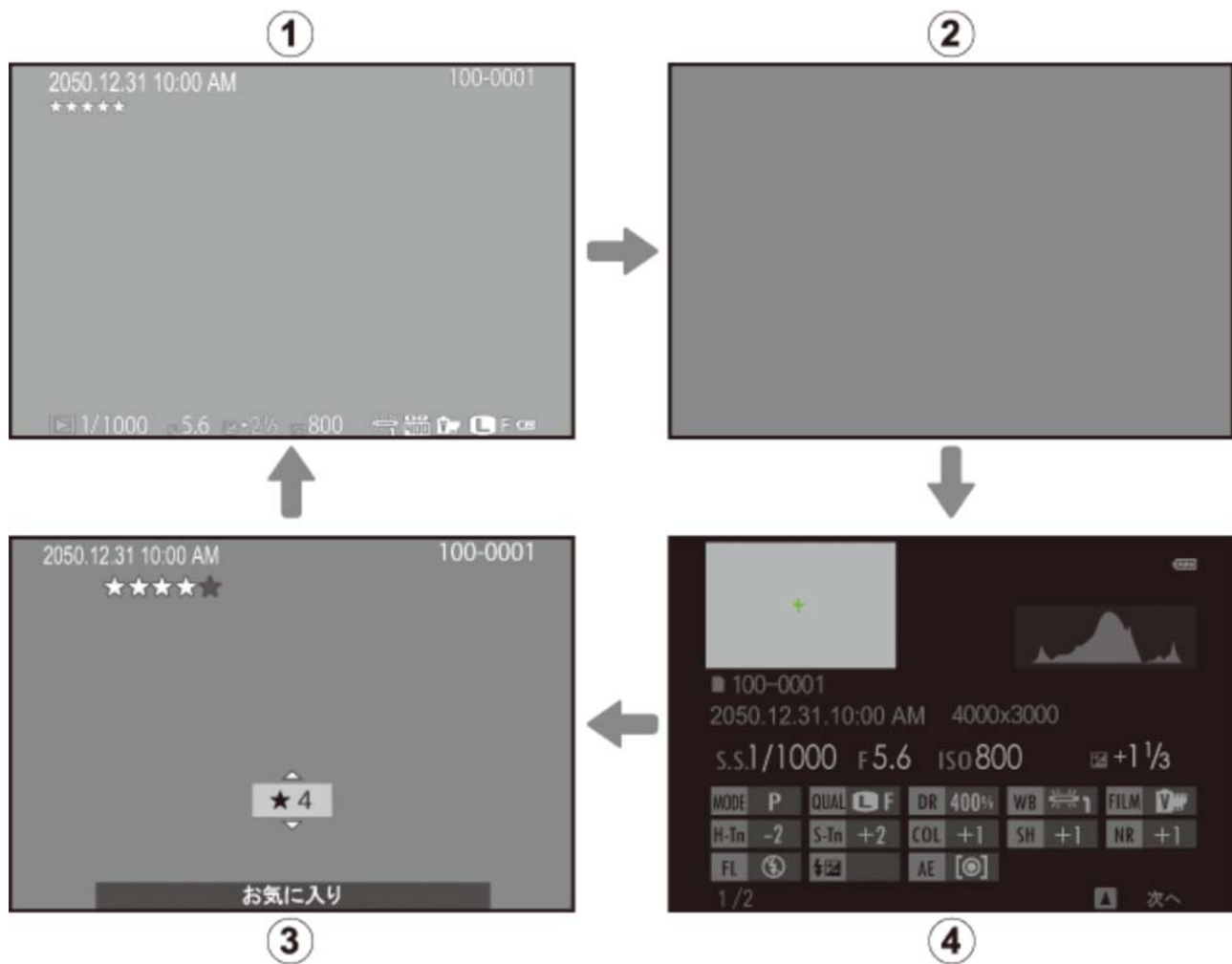
電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。



カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。

再生時



① スタンダード

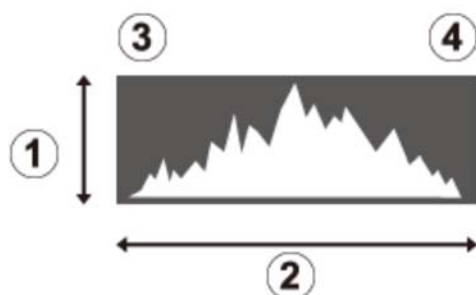
② 情報表示なし

③ お気に入り

④ INFO画面

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ/縦軸：ピクセル数）に表したものです。



- ① ピクセル
- ② 明るさ
- ③ シャドウ
- ④ ハイライト

適正露出の場合 全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。



露出オーバーの場合 ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。



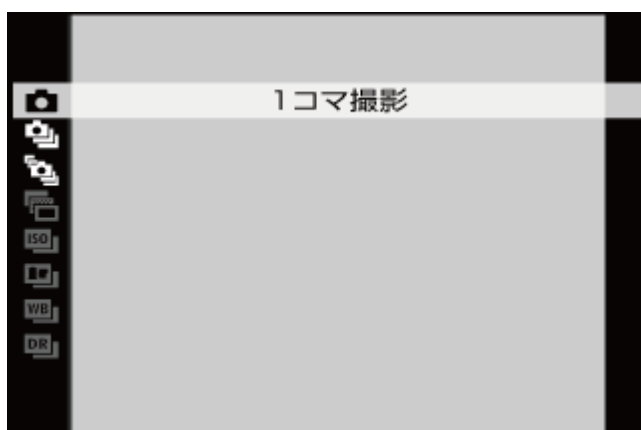
露出アンダーの場合 シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



 被写体によってグラフ形状は異なります。

DRIVEボタン

DRIVE ボタンを押すと、連写やブラケットング撮影が選べます。

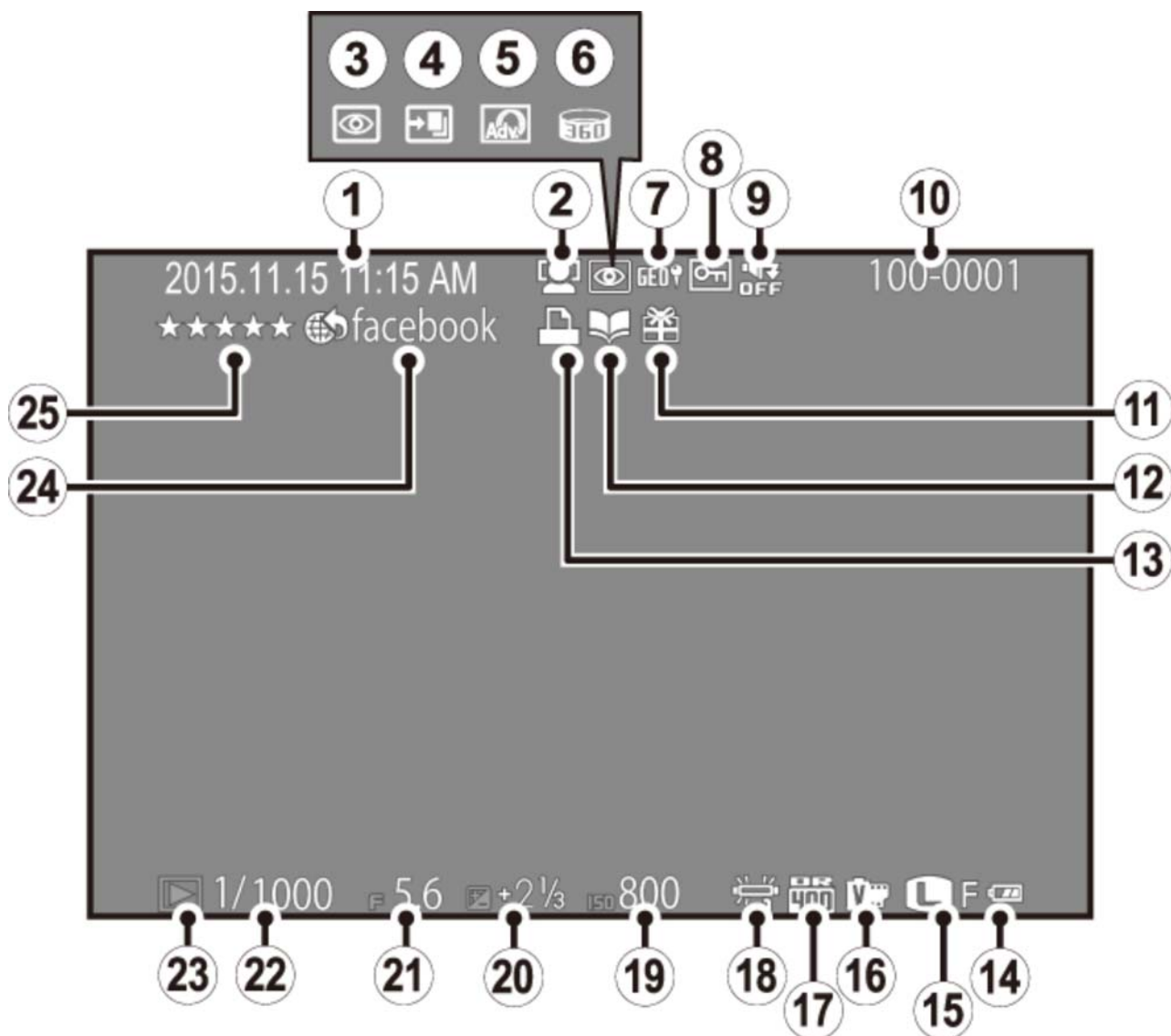


-  1コマ撮影
-  連写
-  前後撮り連写
-  AEブラケットング
-  ISOブラケットング
-  フィルムシミュレーションブラケットング
-  ホワイトバランスブラケットング
-  ダイナミックレンジブラケットング

再生時

再生時の画面には、次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



- | | |
|--------------------|----------------|
| ① 日付・時刻 | ⑭ バッテリー残量表示 |
| ② 顔キレイナビ | ⑮ 画像サイズ・画質モード |
| ③ 赤目補正 | ⑯ フィルムシミュレーション |
| ④ ぼかしコントロール、連写重ね撮り | ⑰ ダイナミックレンジ |
| ⑤ アドバンストフィルター | ⑱ ホワイトバランス |
| ⑥ ぐるっとパノラマ360 | ⑲ ISO感度 |
| ⑦ 位置情報 | ⑳ 露出補正 |
| ⑧ プロテクト | ㉑ 絞り値 |

⑨ マナーモード

⑩ コマNO.

⑪ プレゼント

⑫ フォトブックアシスト

⑬ プリント予約

⑫ シャッタースピード

⑬ 再生モード

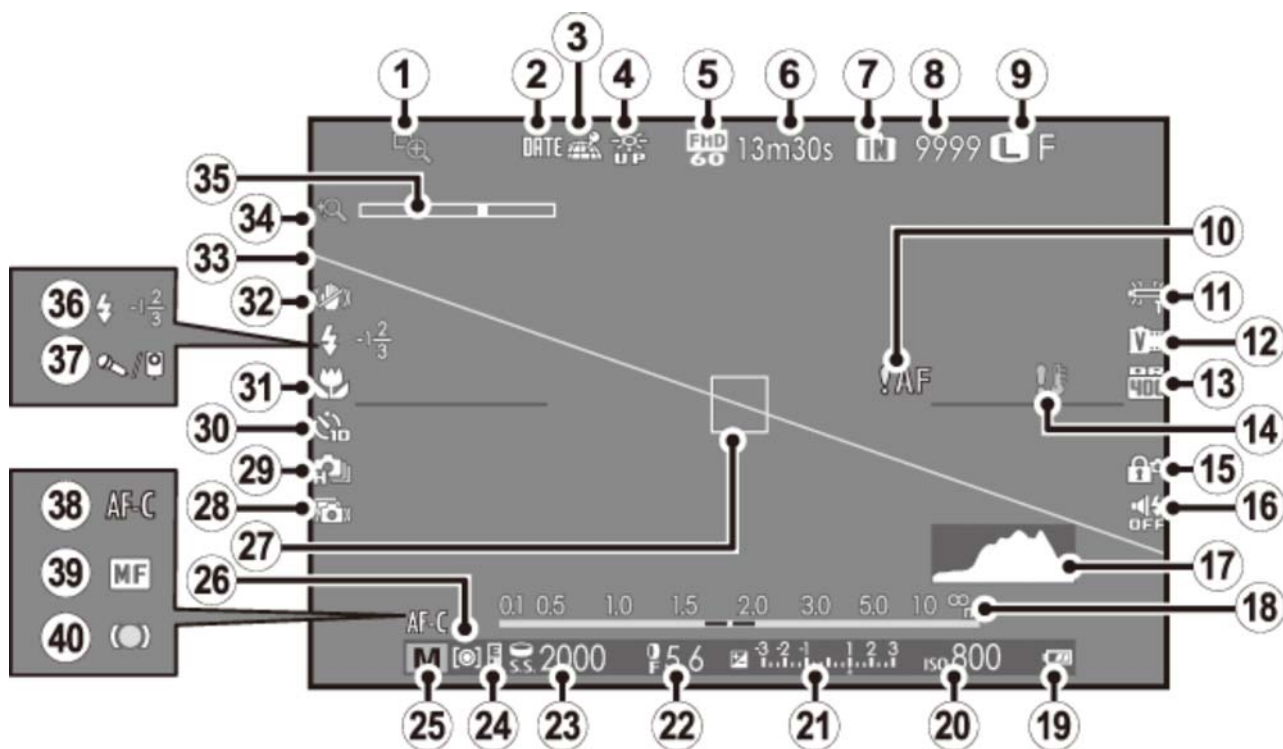
⑭ アップロード先設定

⑮ お気に入り

撮影時

撮影時の画面には、次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



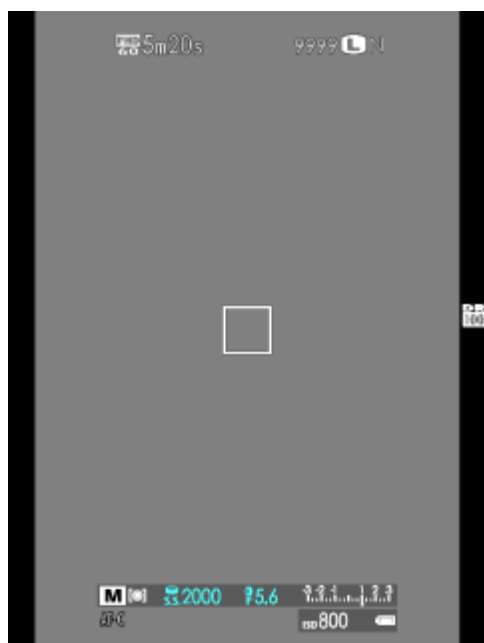
- | | |
|----------------|-----------------|
| ① フォーカスチェック | ②① 露出インジケータ |
| ② 日付書き込み | ②② 絞り値 |
| ③ 位置情報取得状態 | ②③ シャッタースピード |
| ④ モニター晴天モード | ②④ AEロック |
| ⑤ 動画モード | ②⑤ 撮影モード |
| ⑥ 動画撮影の残り時間 | ②⑥ 測光モード |
| ⑦ 内蔵メモリー * | ②⑦ AFフレーム |
| ⑧ 撮影可能枚数 | ②⑧ インテリジェントブレ防止 |
| ⑨ 画像サイズ・画質モード | ②⑨ 連写モード |
| ⑩ AF警告 | ③① セルフタイマー |
| ⑪ ホワイトバランス | ③② マクロ（近距離） |
| ⑫ フィルムシミュレーション | ③③ ブレ防止 |
| ⑬ ダイナミックレンジ | ③④ 電子水準器 |
| ⑭ 温度警告 | ③⑤ 超解像ズーム |

- | | |
|-------------|-------------------|
| ⑮ ボタンロック | ⑳ ズームバー |
| ⑯ マナーモード | ㉑ フラッシュ・フラッシュ調光補正 |
| ⑰ ヒストグラム | ㉒ マイク/リモートリリース設定 |
| ⑱ 距離指標バー | ㉓ AFモード |
| ㉔ バッテリー残量表示 | ㉕ マニュアルフォーカス |
| ㉖ ISO感度 | ㉗ 合焦マーク |

*  はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

EVFの縦表示について

セットアップメニューの **表示設定 > EVF 縦横自動回転表示** が **ON** のときは、撮影時にカメラを縦向きにすると、ファインダーの表示が縦向きになります。



❗ 液晶モニター（LCD）の表示は、縦向きにはなりません。

✎ セットアップメニューの **表示設定 > EVF明るさ、EVF鮮やかさ、LCD明るさ、LCD鮮やかさ** で、画面の明るさや鮮やかさを調整できます。

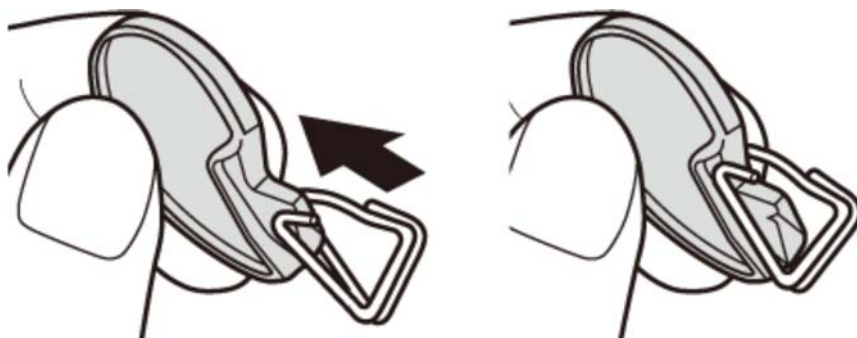
関連項目

➡ [表示設定（セットアップメニュー）](#)：196ページ

ストラップを取り付ける

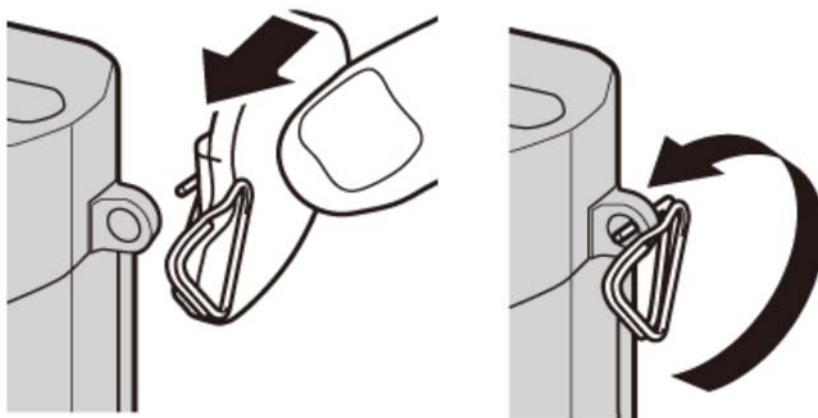
カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

1. ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップリングの切りこみを広げます。

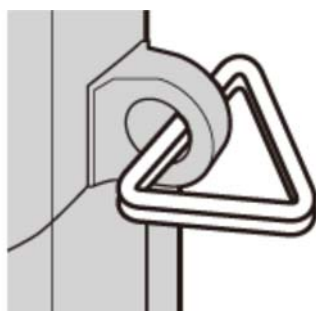


❗ ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。

2. ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。

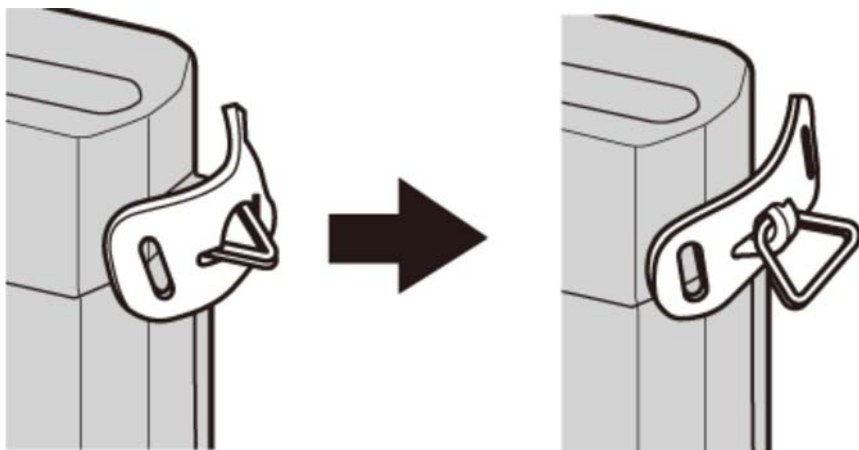


3. ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



- 4.** ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

反対側も同様に、手順1～4を繰り返して取り付けます。

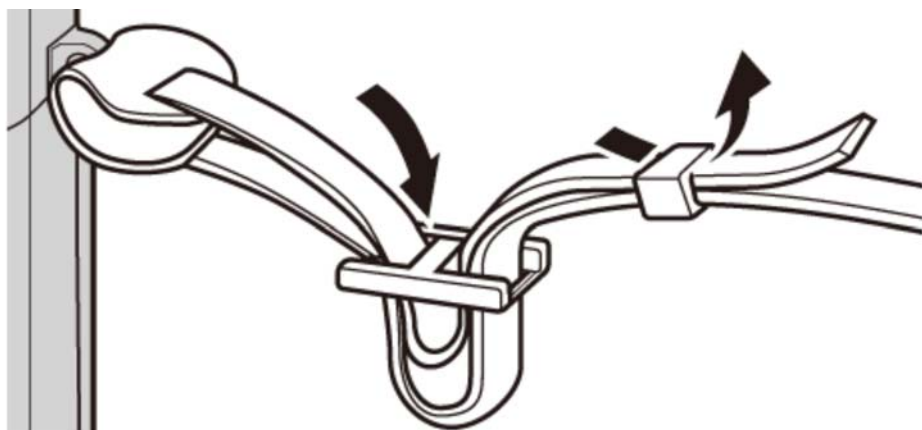


- 5.** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。



- 6.** ストラップを止め具に通します。

反対側も同様に、手順5～6を繰り返して取り付けます。

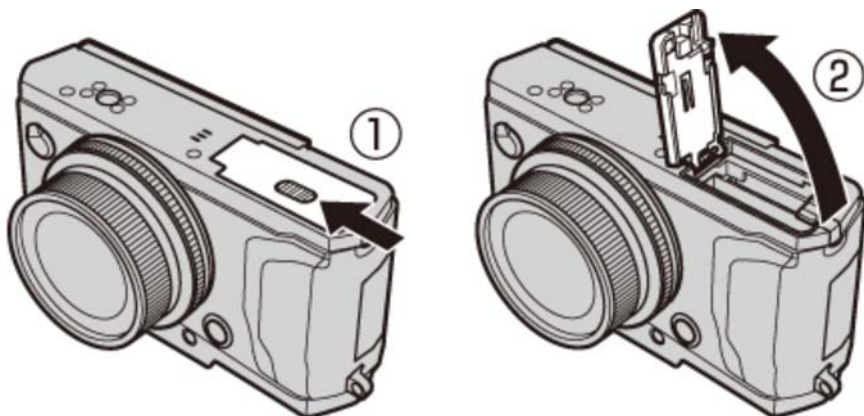


- ❗** ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

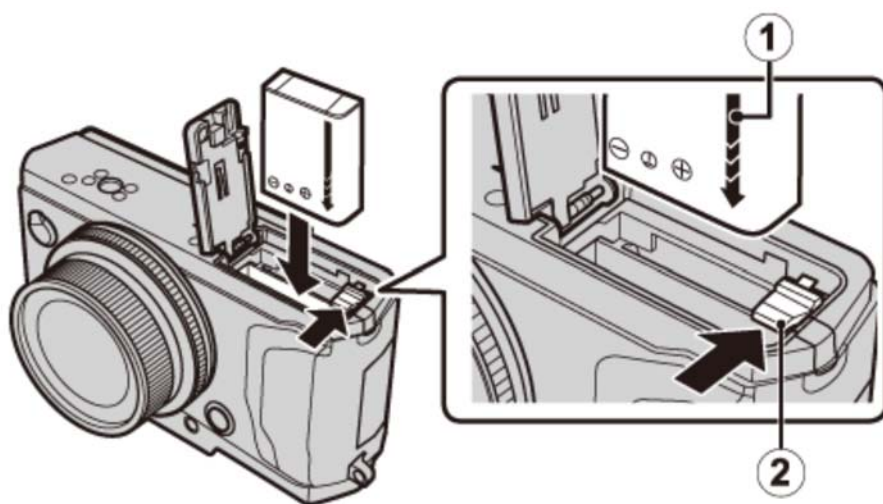
1. バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。



- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- ❗ バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

2. バッテリーを入れます。

図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

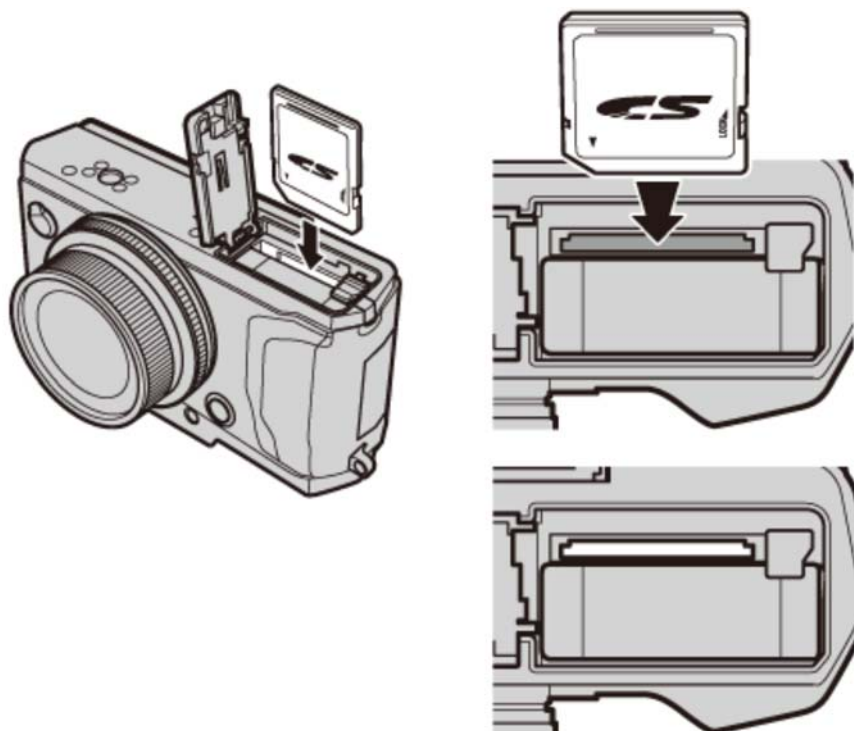


- ① バッテリー指標
- ② バッテリー取り外しつまみ

- ❗ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがありますので、指標（矢印）の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認して、正しい向きで挿入してください。
- ❗ バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

3. メモリーカードを入れます。

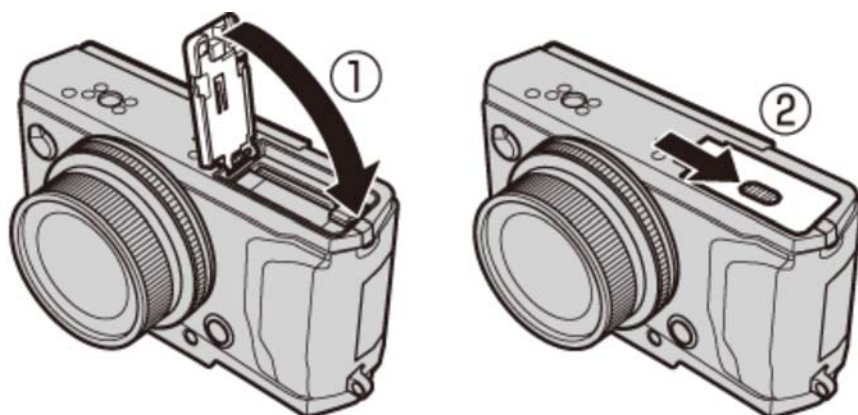
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



❗ メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（IN）と画面に表示されます）に記録されます。

4. バッテリーカバーを閉めます。

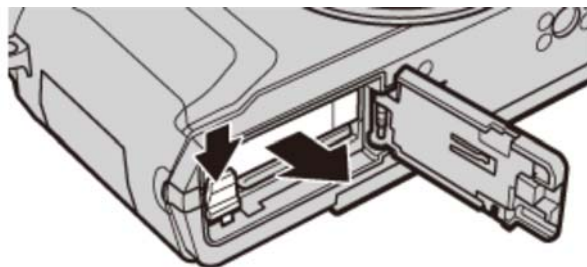
バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。



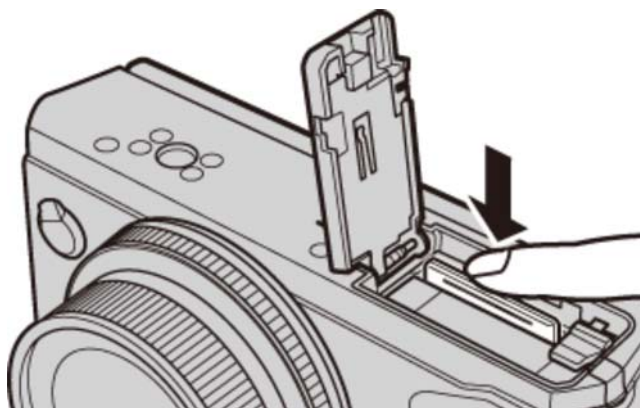
❗ バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

 バッテリー/メモリーカードを取り出すときは
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。

バッテリーを取り外す バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



メモリーカードを取り外す メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。



! 押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社およびSanDisk社製のSD/SDHC/SDXCメモリーカードの使用をおすすめします。
- HD動画を撮影するときは、CLASS10以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録/消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチをLOCK側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。
- 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください（217ページ）。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法がSDメモリーカード規格から外れているminiSDアダプターやmicroSDアダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集/削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

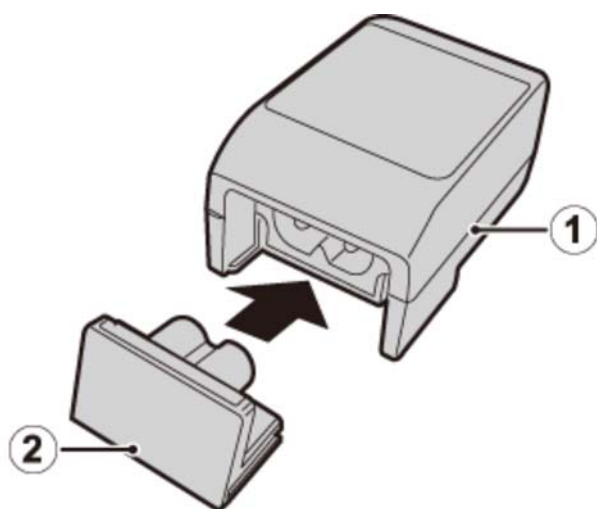
バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。

- お客様がお使いのバッテリーはNP-95です。
- 充電時間は、約4時間半です。

1. ACパワーアダプターにプラグアダプターを取り付けます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、プラグアダプターを確実に奥まで差し込みます。



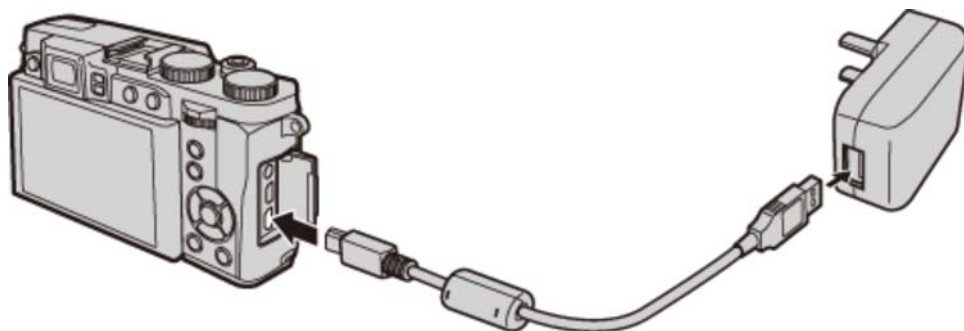
① ACパワーアダプター

② プラグアダプター

❗ 付属のプラグアダプターは、ACパワーアダプター AC-5VT専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。

2. バッテリーを充電します。

カメラとACパワーアダプターを同梱のUSBケーブルで接続します。ACパワーアダプターを屋内の電源コンセントに差し込みます。



❗ USBケーブルは向きに注意して、端子の奥までしっかりと差し込んでください。

充電状態の表示

カメラの電源をオン（再生モード）にしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはインジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

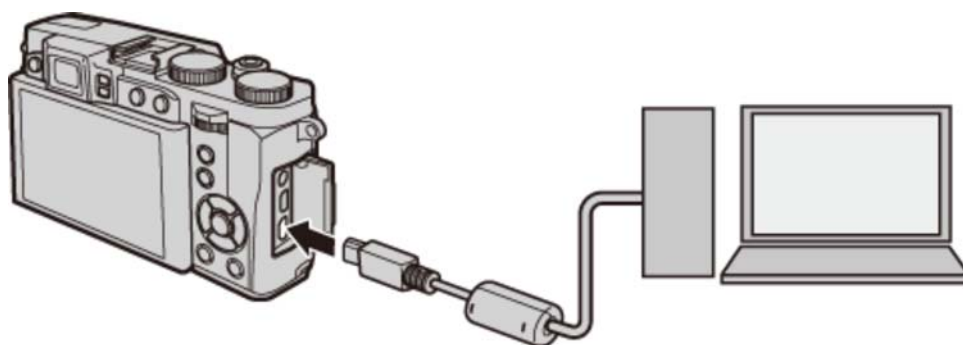
電源オン時のアイコン	電源オフ時のインジケータランプ	バッテリーの状態
 （黄点灯）	点灯	充電中
 （緑点灯）	消灯	充電完了
 （赤点灯）	点滅	バッテリー異常
アイコンなし	—	外部電源モードで動作中

✎ カメラにバッテリーを入れた状態でAC電源を接続しカメラをオンにすると、外部電源モードで動作します。

- ❗ 撮影モードのときは充電できません。
- ❗ 同梱されているACパワーアダプターは電源電圧（100-240V）、電源周波数（50/60Hz）の地域で使用できます。ただし、地域により電源コンセント形状が異なりますので必要に応じ、あらかじめ最適な変換プラグアダプターの安全性をお確かめの上ご用意ください。詳しくは旅行代理店などにご相談ください。
- ❗ 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ❗ バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ❗ バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ❗ バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- ❗ 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ❗ 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ❗ バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）には、バッテリーを充電してください。
- ❗ 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ❗ ACパワーアダプターを使用しないときは、コンセントからACパワーアダプターを抜いてください。
- ❗ 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ❗ 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

パソコンに接続してバッテリーを充電する

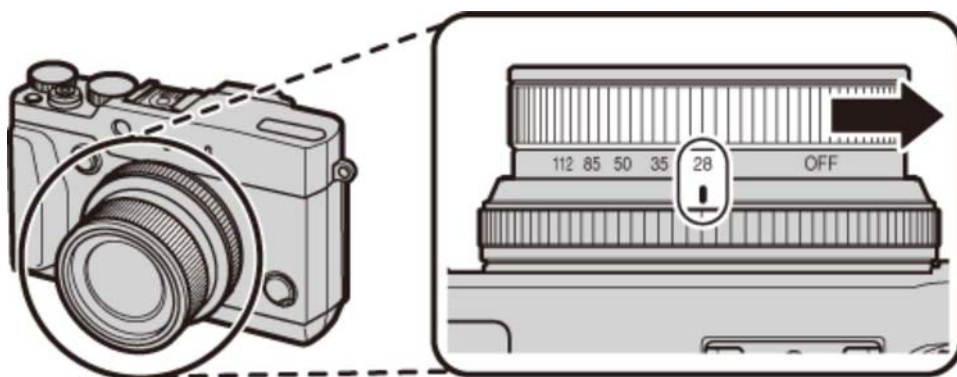
パソコンに接続して、バッテリーを充電することもできます。付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続してください。



- ❗ USBハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- ❗ 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USBケーブルを接続しなおしてください。
- ❗ パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

電源をオンにする/オフにする

ズームリングを図の位置まで回すと、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。

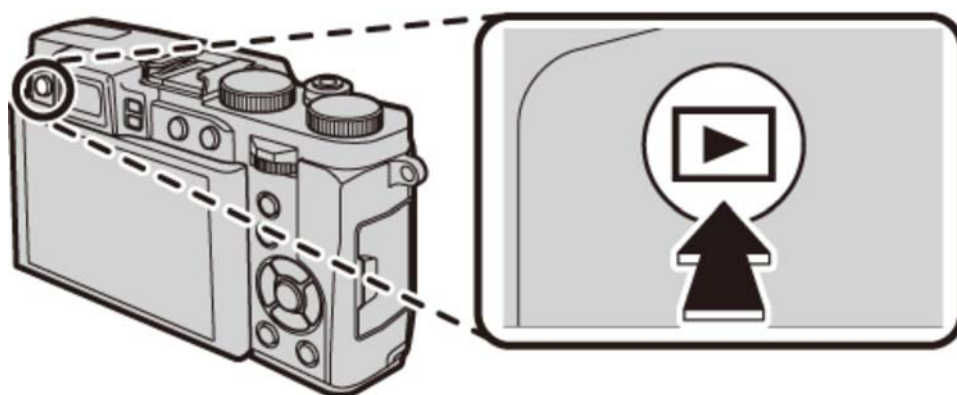


- ✎ 撮影中に  (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
- ✎ 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- ✎ 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの **消費電力設定 > 自動電源OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを長く半押しするか、いったんズームリングを **OFF** に合わせ、再度電源をオンにします。

- ❗ レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

再生モードで電源をオンにするには

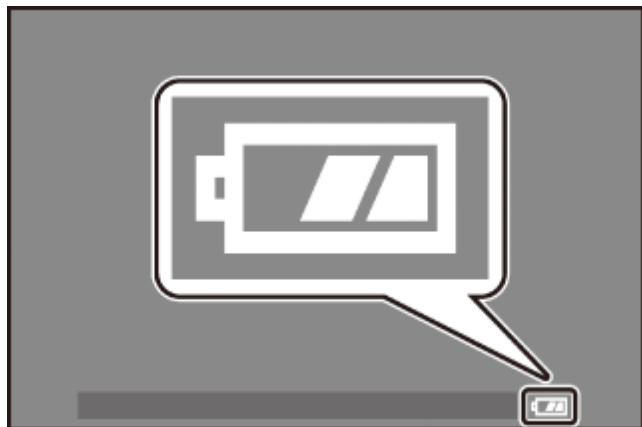
 (再生) ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。再生中に  (再生) ボタンを押すと電源がオフになります。



- ❗ 再生モードで電源をオンにした場合は、シャッターボタンを押しても撮影モードになりません。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。



	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約2/3です。
	バッテリーの残量は約1/3です。できるだけ早く充電してください。
 (赤点灯)	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電してください。

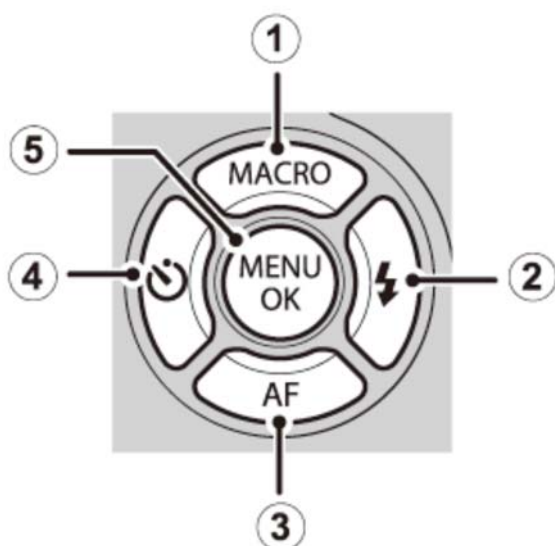
初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

✎ 言語や日時の設定をやり直したい場合は、セットアップメニューで、**日時設定** または **言語 / LANG.** を選んだあとに、以下の手順で設定できます。

操作ボタンについて

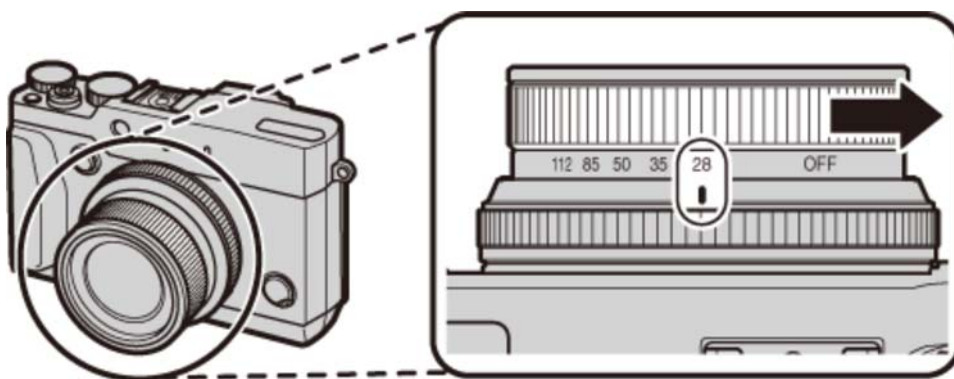
この使用説明書では、操作するボタンを ▲▼◀▶ で表しています。



- ① 上に移動 (▲)
- ② 右に移動 (▶)
- ③ 下に移動 (▼)
- ④ 左に移動 (◀)
- ⑤ **MENU / OK** ボタン

1. 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2. ▲▼ で使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。

3. ▲▼ で年月日の並び順を設定します。



4. 年、月、日、時、分を設定します。

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。



5. MENU/OK ボタンを押します。

日時が設定され、パフォーマンス設定画面が表示されます。

6. パフォーマンス設定を選びます。

節電 消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。

ハイパフォーマンス ピント合わせが速くなり、液晶モニターが明るくなめらかになります。

7. MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。

 バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

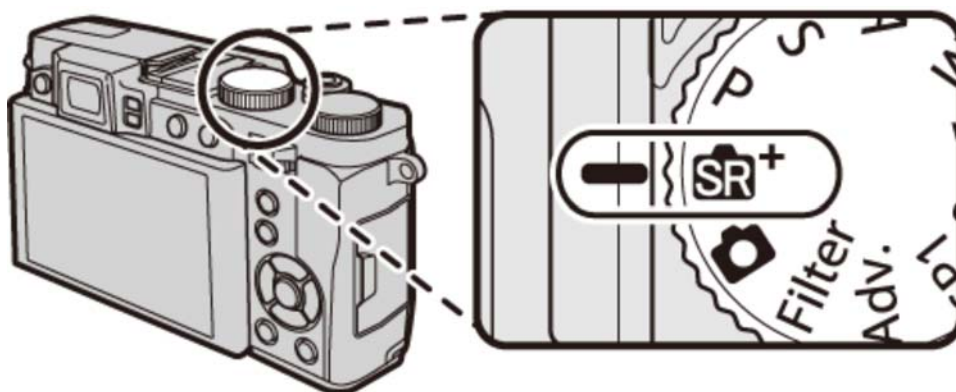
言語、日時、パフォーマンスの設定を変更する

1. セットアップメニューから設定を変更するメニュー（**言語/LANG./日時設定/消費電力設定 > パフォーマンス**）を選びます。
2. 言語/日時/パフォーマンスを設定します。
 - **言語設定** :   で使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
 - **日時設定** :   で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、  で設定する数字を選びます。
 - **パフォース設定** : パフォーマンス設定を選びます。
3. **MENU/OK** ボタンを押して、設定します。

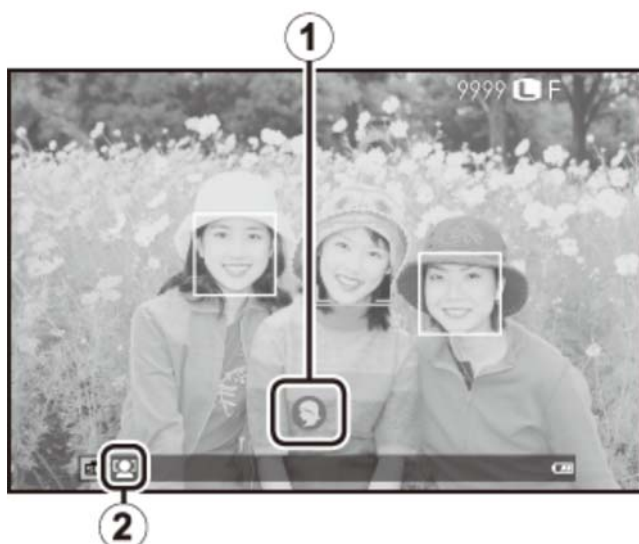
静止画を撮影する

ここでは、**SR⁺**（アドバンストSRオート）撮影の基本的な流れを説明します。

1. モードダイヤルを **SR⁺**（アドバンストSRオート）に合わせます。



アドバンストSRオート の撮影画面が表示されます。

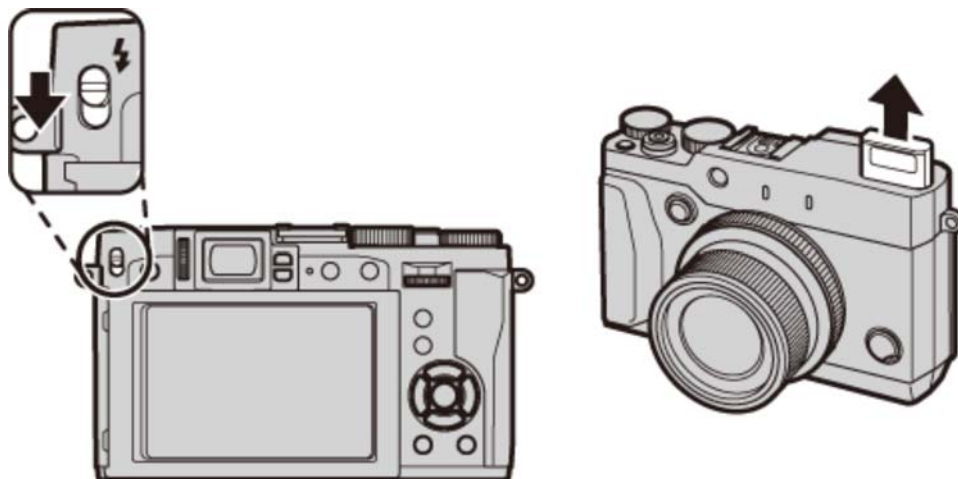


- ① **シーンアイコン**：カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。
- ② **人物アイコン**：カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。

 **アドバンストSRオート（SR⁺）**で撮影するときは、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。

フラッシュについて

暗い場所ではフラッシュを使って撮影できます。フラッシュポップアップスイッチをスライドしてフラッシュをポップアップし、 () ボタンを押してフラッシュを設定します。



関連項目

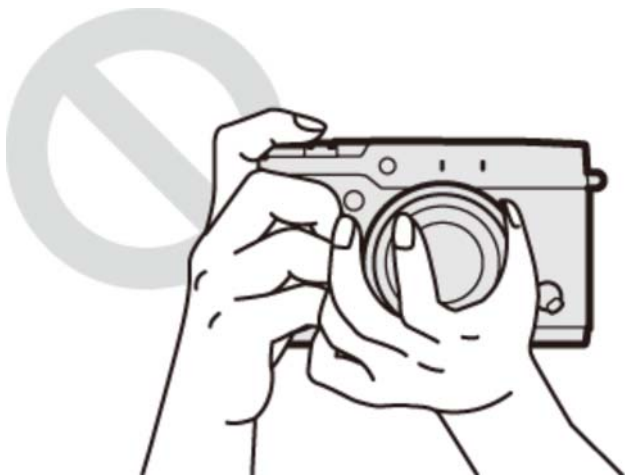
➡ [フラッシュ撮影したい \(いろいろな撮影\)](#) : 95ページ

2. カメラを構えます。

手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

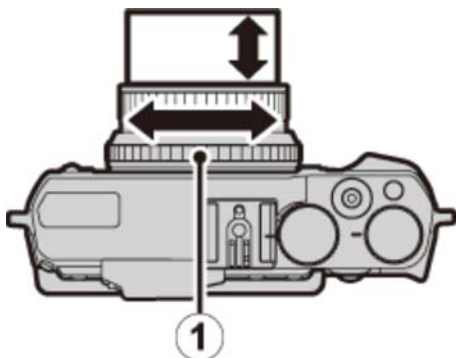


レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

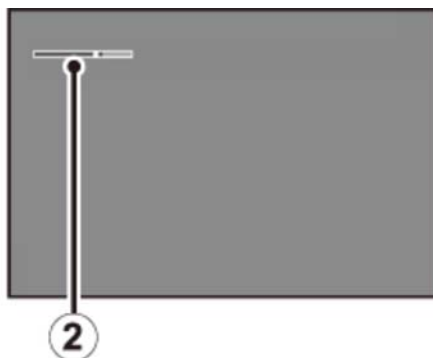


3. 構図を決めます。

ズームリングを回して、構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。ズーム操作中は、画面にズームバーが表示されます。

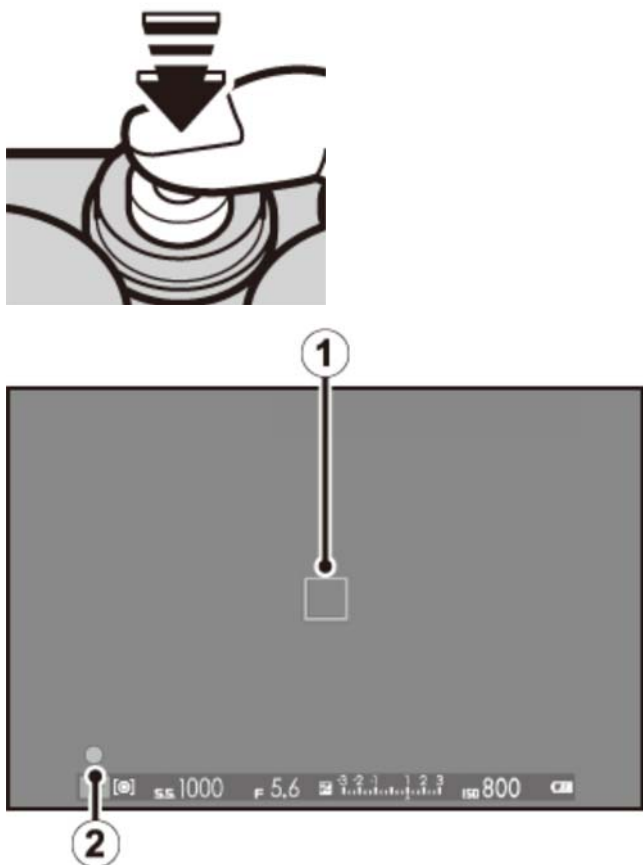


① ズームリング



② ズームバー

4. 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。



① AFフレーム

② 合焦マーク

ピントが合ったとき

- ピピッと音が鳴り、AFフレームが緑色に点灯します。
- 合焦マークが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

- AFフレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。
- 合焦マークが白色に点滅します。

- ✎ シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。
- ✎ 暗い被写体のピントを合わせやすくするためにAF補助光が発光する場合があります。AF補助光は発光しないように設定を変更できます。
- ✎ シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。

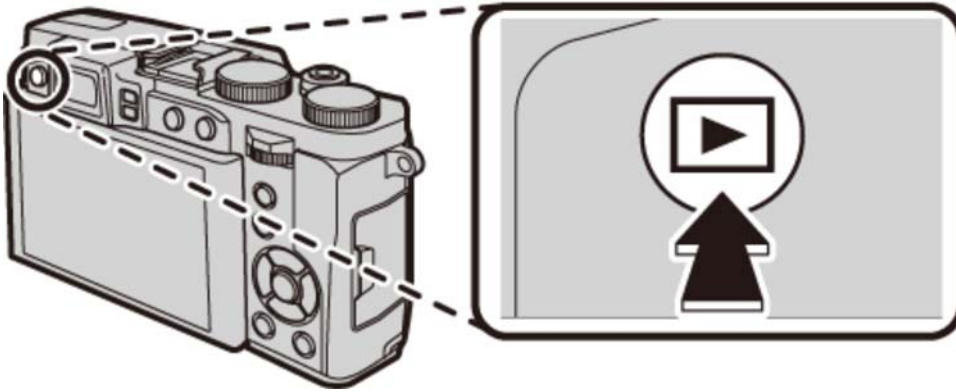
5. シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。



静止画を再生する

1コマ再生

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。

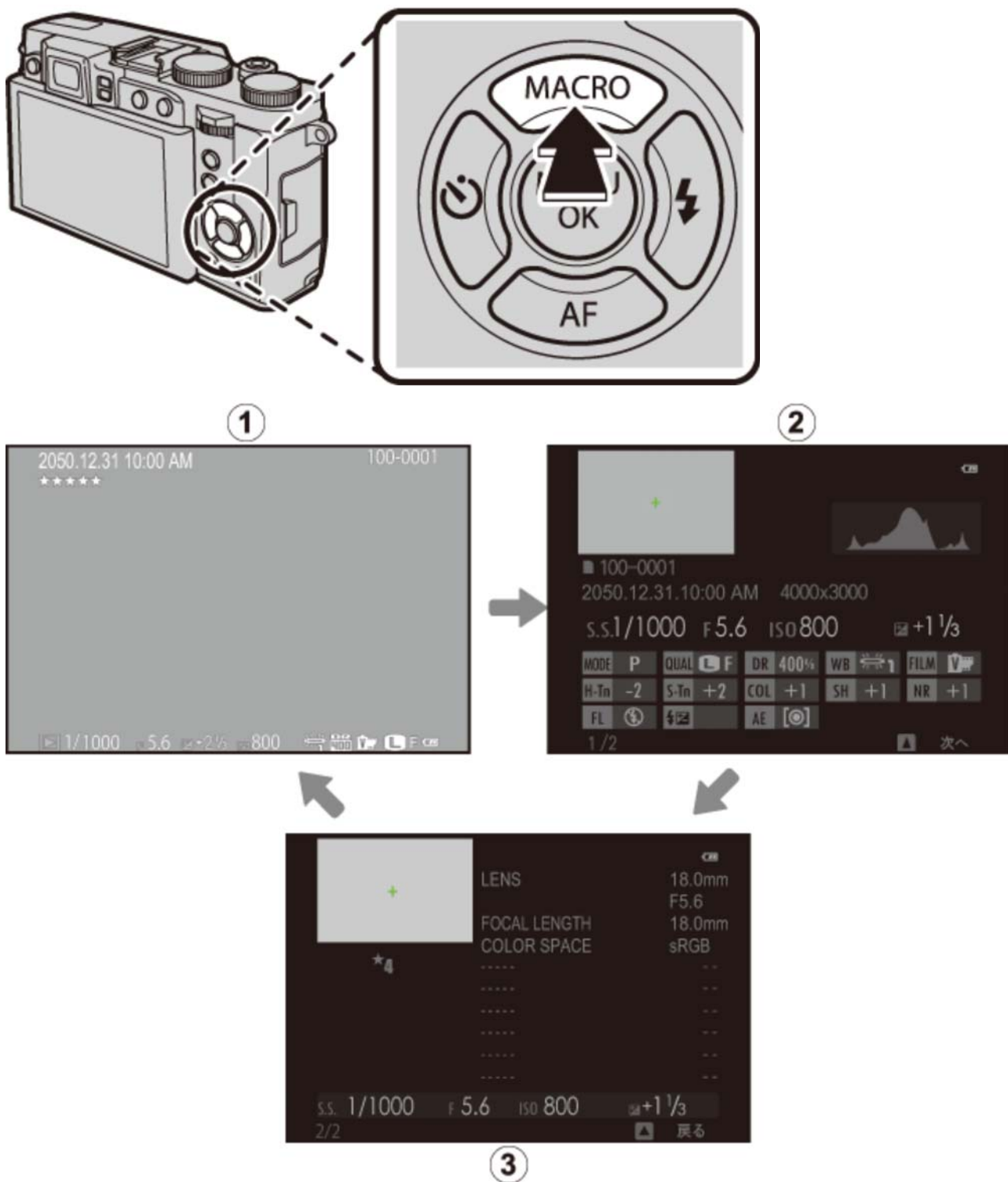
- ✍ コマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- ✍ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 📺（プレゼントアイコン）が表示されます。

📺 お気に入りを設定する

1コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**お気に入り** のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数（0～5）を設定します。

撮影時の情報確認

1コマ再生時に撮影時の情報を確認できます。▲を押すごとに、表示が切り換わります。



① 1コマ再生表示

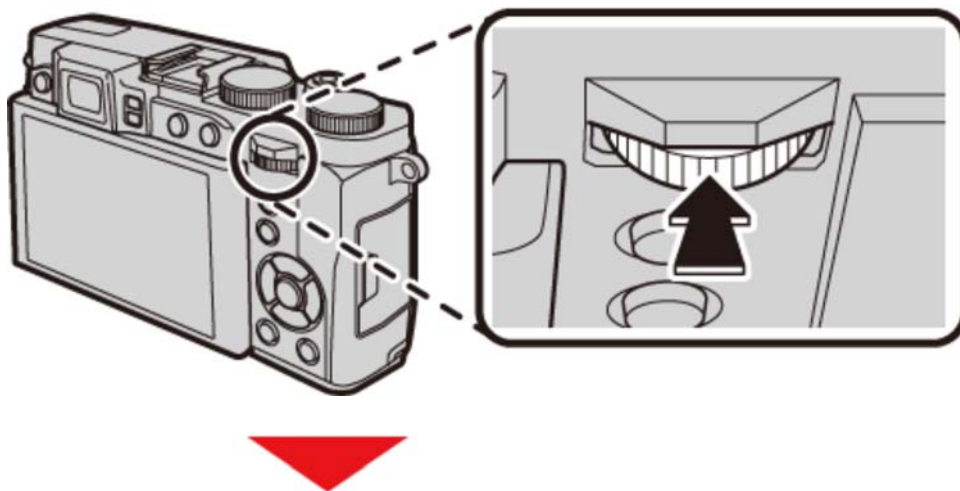
② INFO画面1

③ INFO画面2

✎ コマンドダイヤルを回すか、◀▶を押すと、前後の画像に切り換えることができます。

ピント位置の確認

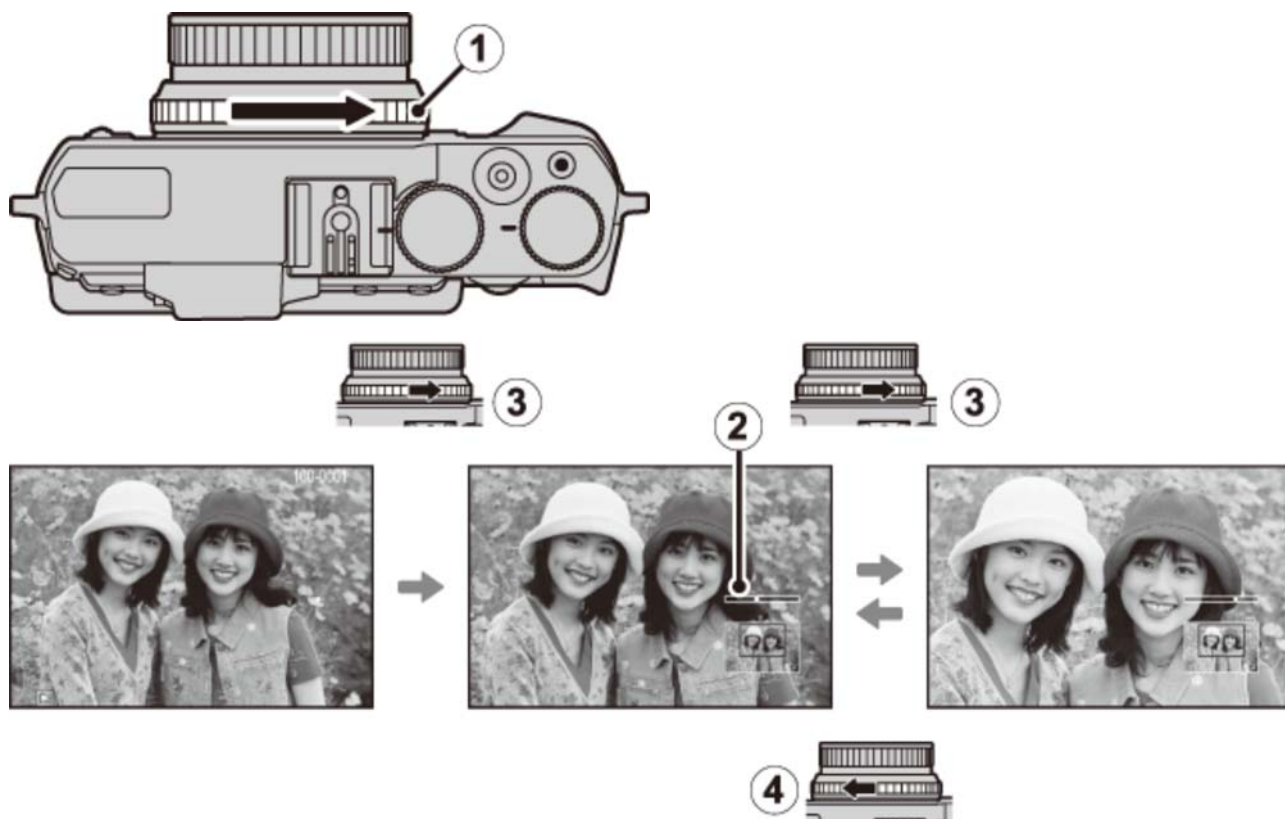
コマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度押すと、1コマ再生に戻ります。



再生ズーム

1コマ再生時にコントロールリングを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

✎ 1コマ再生画面でコントロールリングを左に回すと、「マルチ再生」の9コマ再生画面になります。



- ① コントロールリング
- ② ズームバー
- ③ 右に回すと拡大
- ④ 左に回すと縮小

✎ 最大ズーム倍率は、撮影メニューで設定した **画像サイズ** によって変わります。

✎ 再生メニューの **リサイズ** または **トリミング** の **640** で保存された画像は、再生ズームは使えません。

ナビゲーションについて

拡大表示中に ▲▼◀▶ で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

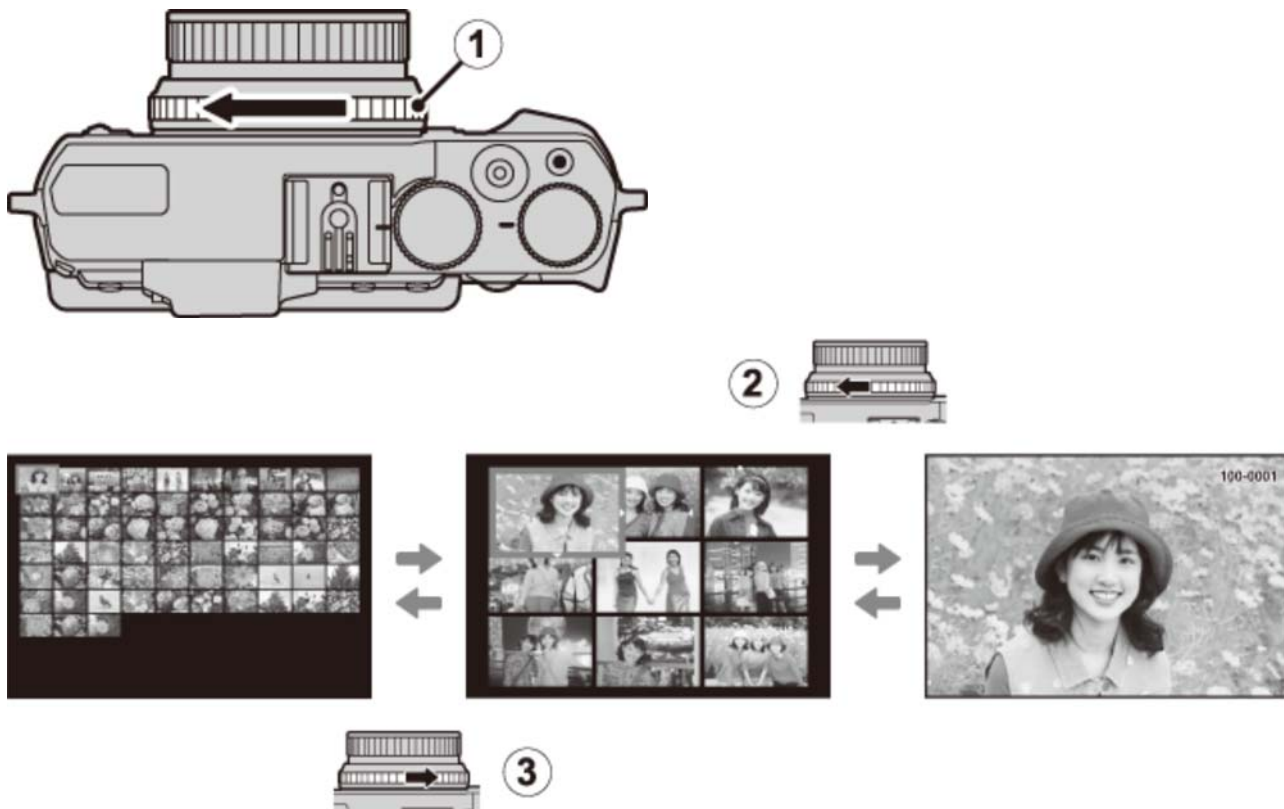


ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

マルチ再生

1コマ再生時にコントロールリングを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

✎ 1コマ再生画面でコントロールリングを右に回すと拡大画像が表示されます。



① コントロールリング

② コントロールリングを左に回すたびに表示される画像が増えます。

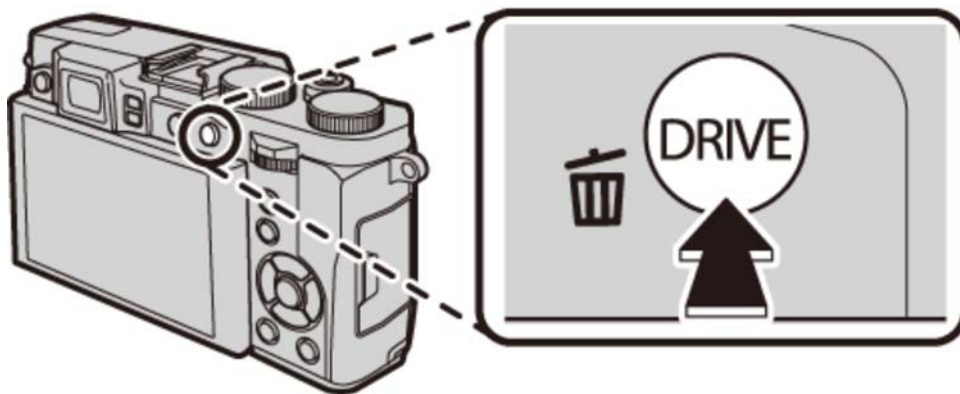
③ コントロールリングを右に回すたびに表示される画像が減ります。

- ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- ▲ または ▼ でページを切り換えることもできます。

画像を消去する

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1コマ再生時に  ボタンを押して、消去方法を選びます。



1コマ消去

画像を1コマだけ消去します。

1. 1コマ再生中に  ボタンを押して、**1コマ** を選びます。
2. 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

✎ **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。

✎ **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

✓ が表示されている画像をまとめて消去できます。



✎ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 が表示されます。

1. 1コマ再生中に  ボタンを押して、**複数指定** を選びます。
2. 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は  が表示されます。
 - もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。
3. まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。
4. **実行** を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

1. 1コマ再生中に  ボタンを押して、**全コマ** を選びます。
2. **実行** を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

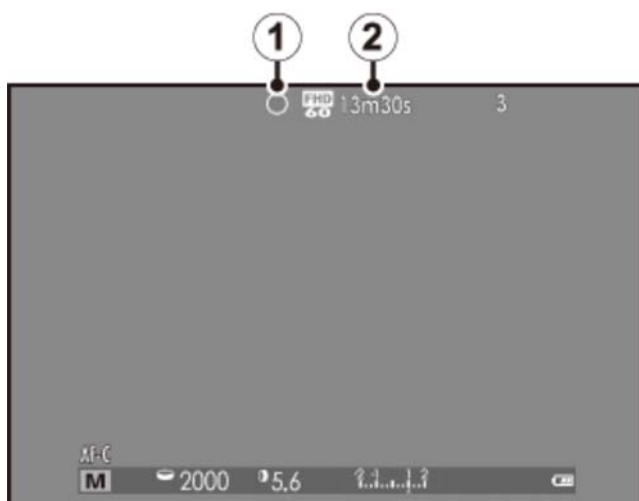
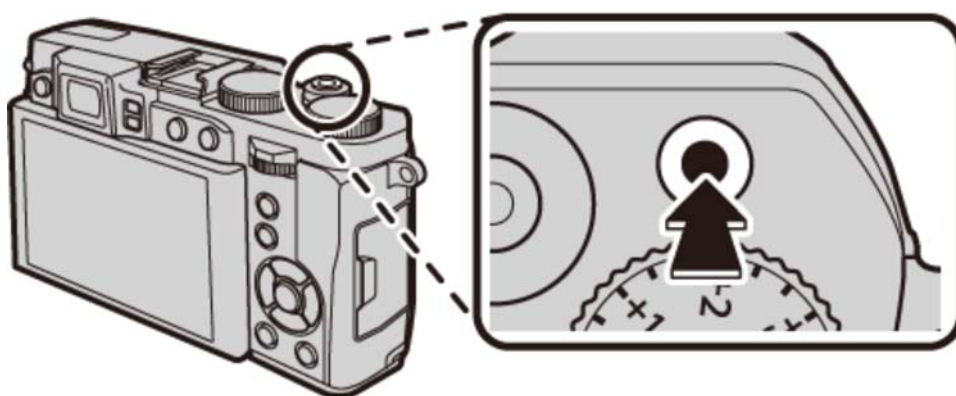
- ✎ メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。
- ✎ **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- ✎ プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

1. 動画撮影（ファンクション1）ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。

✎ 工場出荷値の設定では、ファンクション1ボタンには、**動画** が割り当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。



① 撮影中は、●が表示されます。

② 動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。

2. もう一度動画撮影ボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

❗ 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。

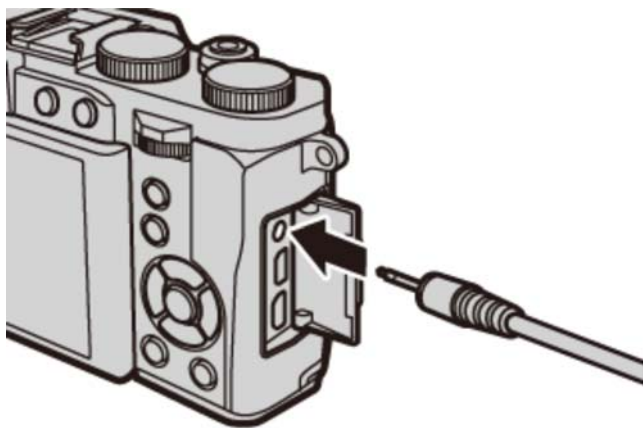
- ✎ 撮影する動画の画像サイズ・フレームレートと感度の設定は、撮影メニューの **動画設定** で変更できます。
- ✎ 撮影モードが **M**、**A**、**S** のときに動画を撮影すると、静止画撮影で撮影している設定の動画が撮影できます。その他の撮影モードではオート設定の動画が撮影されます。
- ✎ **M**、**A**、**S** では、動画撮影中でもシャッタースピードや絞り値を変更できます。

関連項目

- ➡ [機能の割り当てを変更する](#) (Fn (ファンクション) ボタン) : 83ページ
- ➡ [動画設定](#) (撮影メニュー) : 155ページ

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。



- ❗ 外部マイクのプラグはバスパワーを必要としないφ2.5mm ピンで取り付けるものをご使用ください。

- ✎ マイク/ リモートリリース端子に外部マイクを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。
MENU/OK ボタンを押して、**マイク/ リモートリリース設定** を **マイク** に設定してください。

マイク/リモートリリースの
設定を確認してください
OK 決定 **BACK** スキップ

動画を再生する

1コマ再生時の動画には、が表示されます。

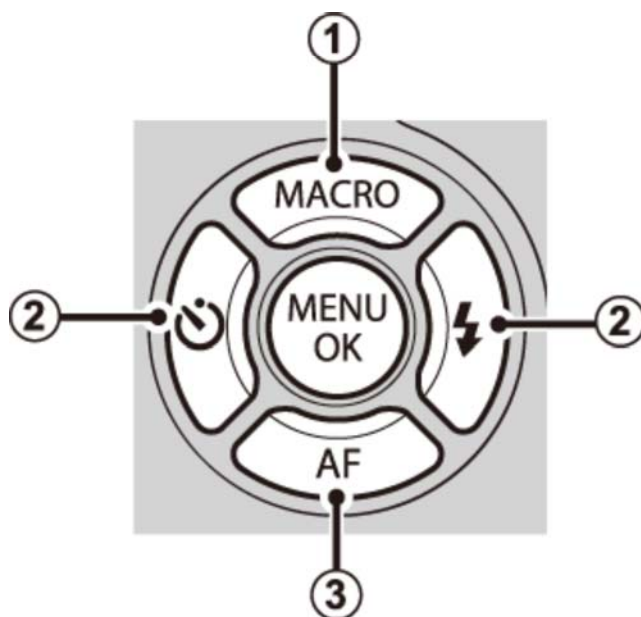


▼を押すと、動画が再生されます。動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



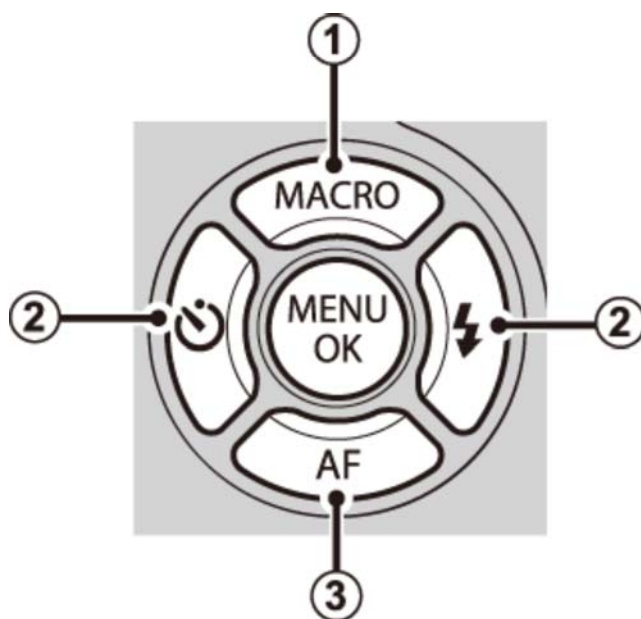
動画再生時の操作は ▲▼◀▶ で行います。

再生中 (▶)



- ① 停止
- ② 再生速度
- ③ 一時停止

一時停止中 (⏸)



- ① 停止
- ② コマ送り
- ③ 再生

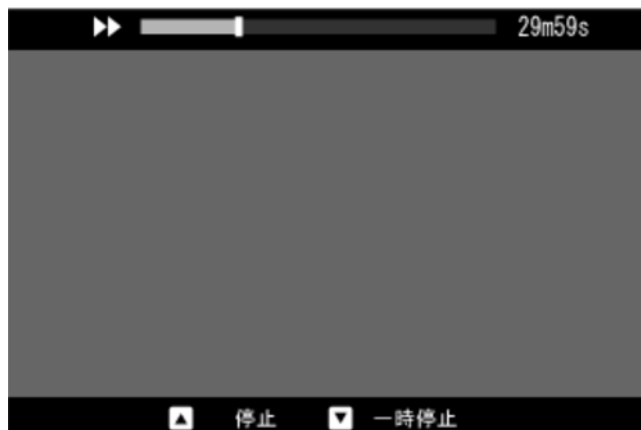
✎ 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、セットアップメニューの **音設定 > 再生音量** でも設定できます。

❗ スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。

❗ マナーモードのときは音声再生されません。

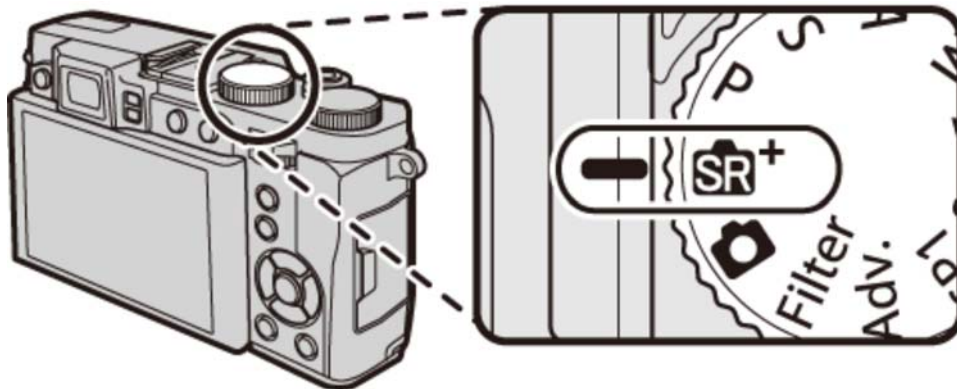
動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



モードダイヤルで撮影モードを切り換える

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。モードを切り換えるには、モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせます。



P（プログラム） プログラムシフトができるオートモードです。

S（シャッタースピード優先） 設定した シャッタースピードに合わせて、カメラが絞り値を自動的に決定します。

A（絞り優先） 設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

M（マニュアル） シャッタースピードと絞り値を自分で設定して撮影できます。

SR⁺（アドバンストSRオート） カメラが撮影シーンに合わせて、自動で最適な撮影モードを設定して撮影できます。

📷（オート） カメラまかせの簡単操作できれいな写真が撮影できます。

Filter（アドバンストフィルター） さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。

Adv.（アドバンストモード） 高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

SP1 / SP2（シーンポジション） いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションを選択できます。

📷（ぐるっとパノラマ360） カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1枚のパノラマ写真を作成します。

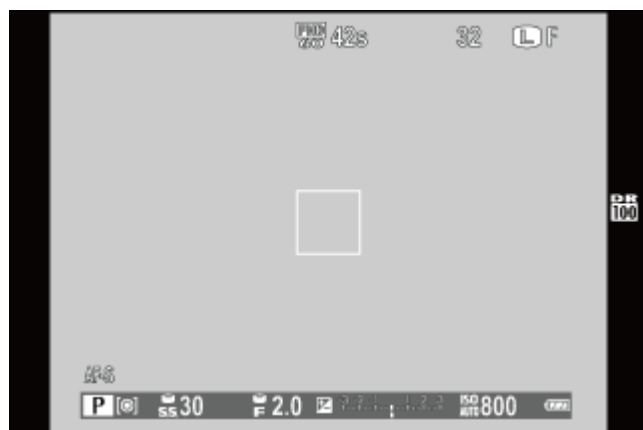
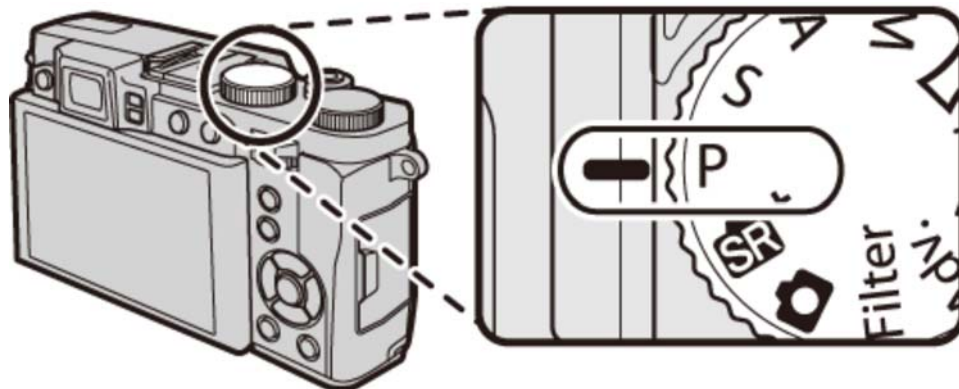
📷 SR⁺（アドバンストSRオート）と 📷（オート）の違いについて

📷（オート） シャッタースピードや露出をカメラが自動的に設定します。

SR⁺（アドバンストSRオート） シャッタースピードや露出に加え、人物、風景、夜景、マクロ、夜景&人物、逆光などのシーンを自動で認識し、最適な撮影条件に設定します。

P プログラム

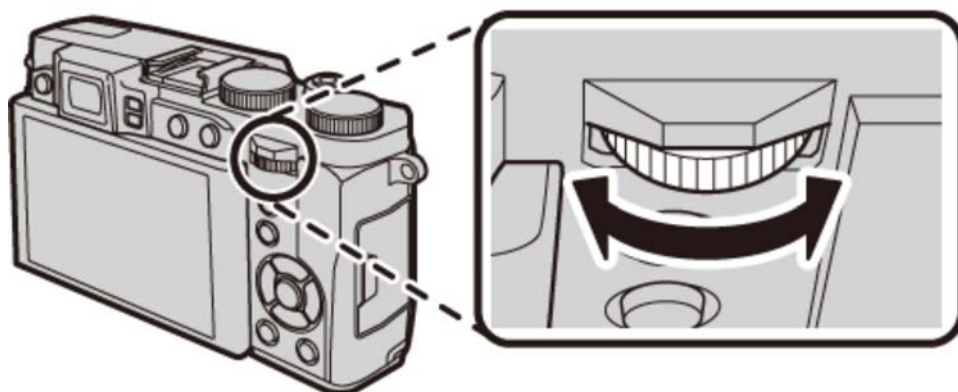
プログラム（P）では、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。



- ❗ 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「----」と表示されます。

プログラムシフトの設定

コマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組合わせを変えることができます。



① シャッタースピード

② 絞り値

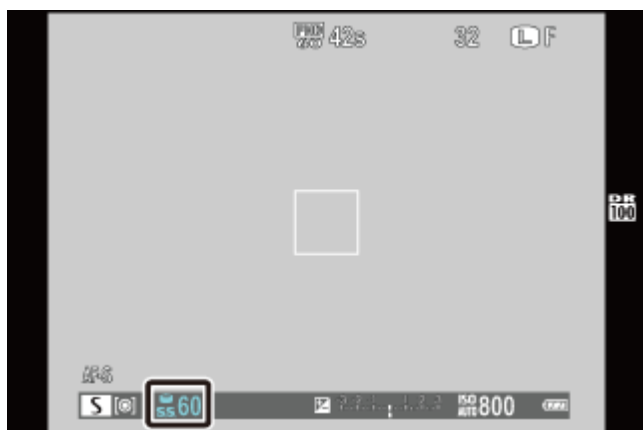
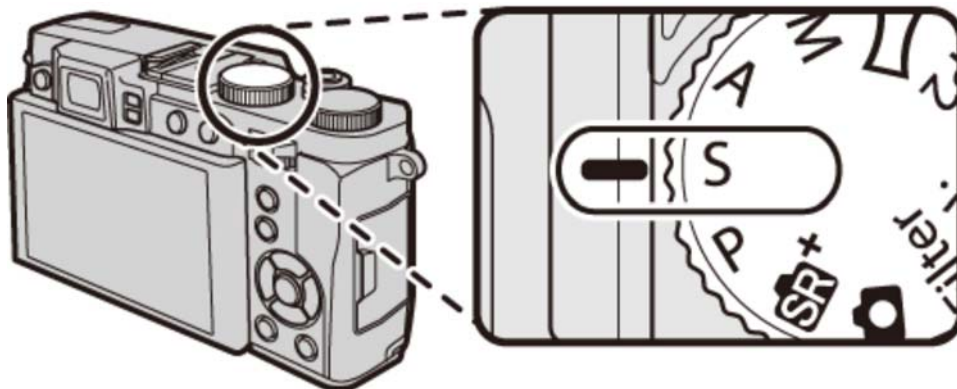
- ✎ プログラムシフトが設定されているときは、シャッタースピードと絞り値が黄色で表示されます。
- ✎ 電源をオフにしたり、フラッシュ設定を発光禁止以外にしたりすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

❗ 次のとき、プログラムシフトは使用できません。

- フラッシュ設定が発光禁止以外のとき
- **ダイナミックレンジ** が **AUTO** のとき

S シャッタースピード優先

シャッタースピード優先（S）では、設定した シャッタースピードに合わせて、カメラが絞り値を自動的に決定します。



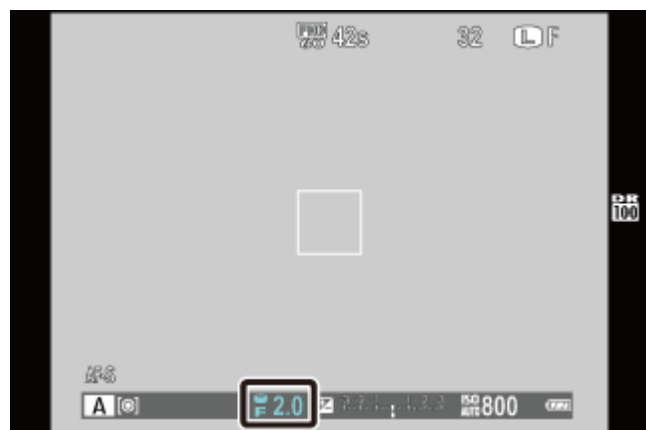
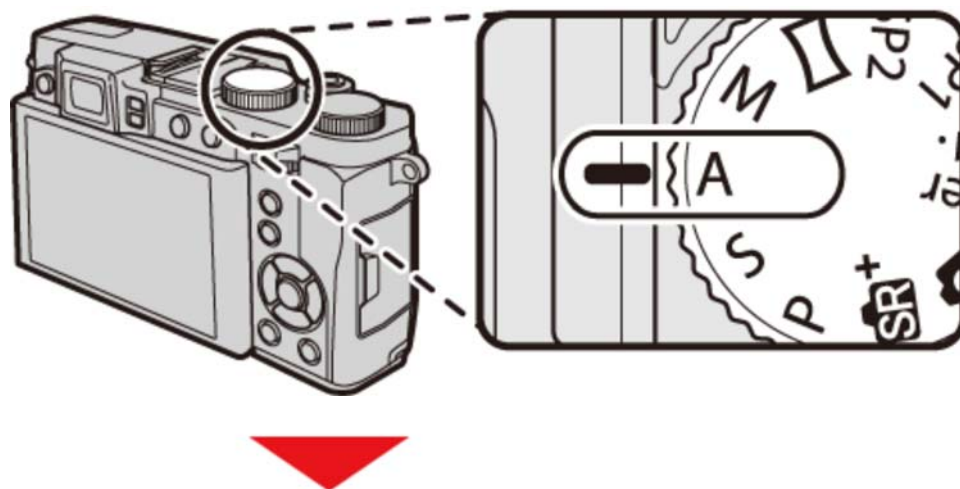
シャッタースピード

コマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。

- ❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- ❗ 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。

A 絞り優先

絞り優先（A）では、設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。



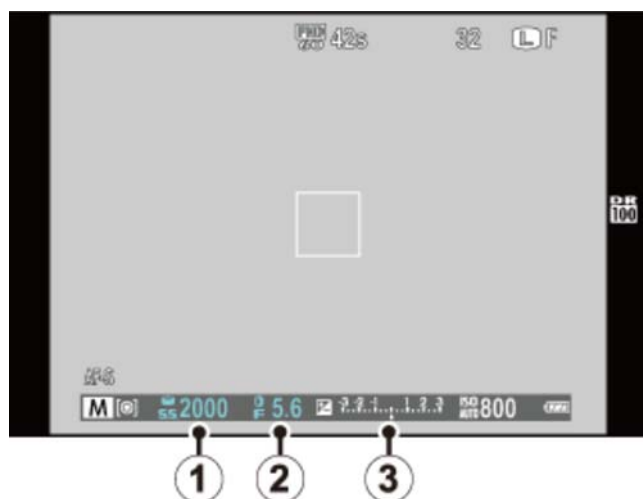
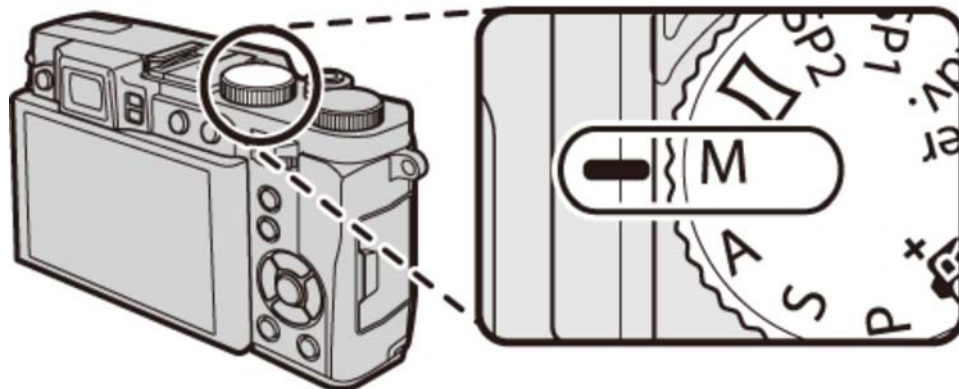
絞り値

コマンドダイヤルを回して、絞り値を設定します。

- ❗ 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- ❗ 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。
- ❗ 設定した絞り値によって、設定できるシャッタースピードに制限があります。

M マニュアル

マニュアル（M）では、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。



- ① シャッタースピード
- ② 絞り値
- ③ 露出インジケータ

コマンドダイヤルとコントロールリングで、シャッタースピードと絞り値を設定します。コントロールリング設定ボタンを押すと、どちらで設定するかをそれぞれ入れ換えることができます。

❗ 設定した絞り値によって、設定できるシャッタースピードに制限があります。

露出設定プレビューについて

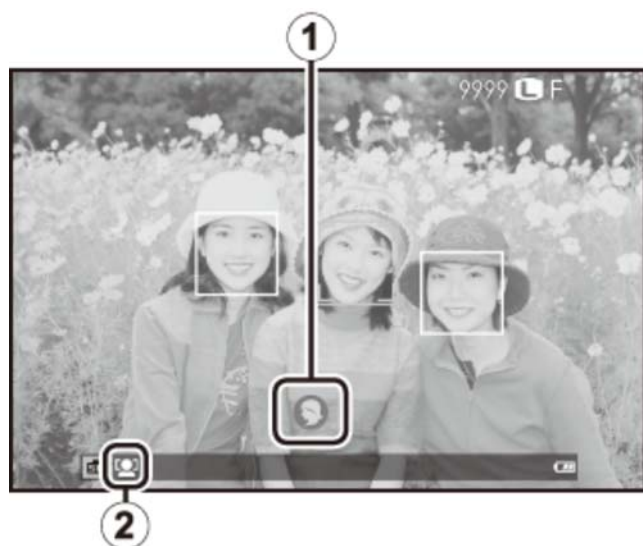
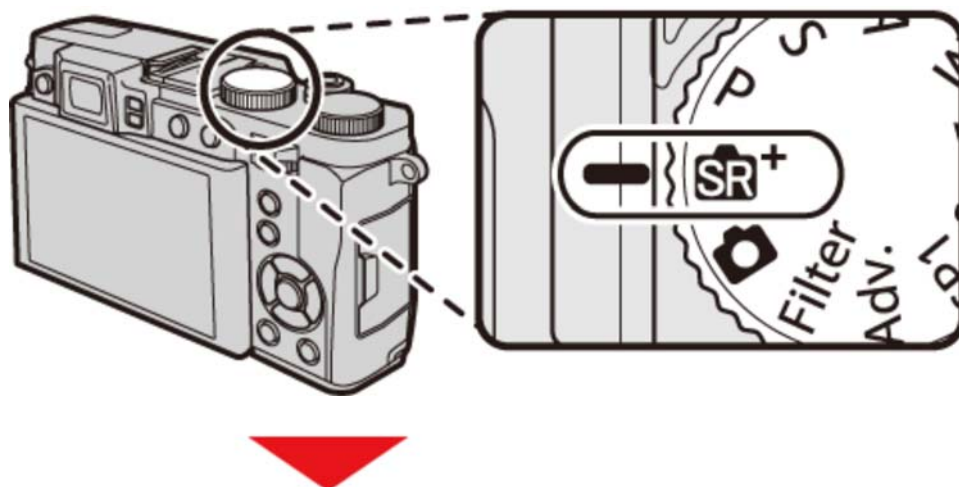
セットアップメニューの **表示設定 > マニュアル時モニター露出反映** が **ON** のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。



✎ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出反映** を **OFF** にしてください。

SR⁺ アドバンストSRオート

シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。



① **シーンアイコン**：カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。それぞれのアイコンは、以下のシーンを表します。

- **AUTO**
- **風景**
- **夜景**
- **夜景（三脚）**
- **マクロ**
- **ビーチ**
- **夕焼け**
- **スノー**
- **青空**
- **緑**
- **青空&緑**
- **人物**
- **逆光&人物**
- **動体**
- **人物&動き**
- **逆光人物&動き**
- **インテリジェントブレ防止**

② **アイコン**：カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。

 **アドバンスドSRオート (SR⁺)** で撮影するときは、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。

 シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、撮影モードを  (オート) にするか、**SP** にして適切なシーンポジションを選択してください。

インテリジェントブレ防止について

 が表示されたときは自動的に連写し、1枚の画像に合成します。撮影時の手ブレを抑え、高感度でもノイズの少ない写真を撮影できます。

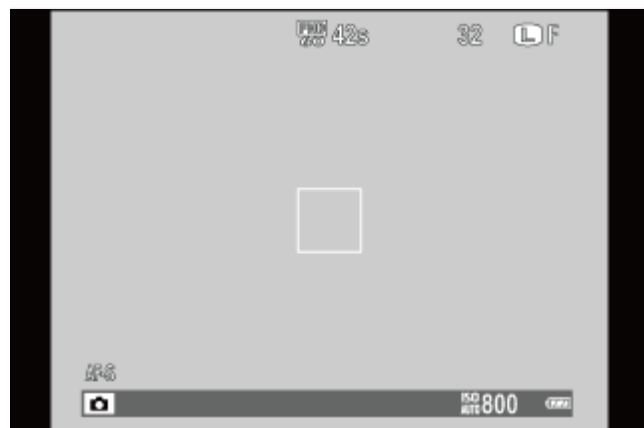
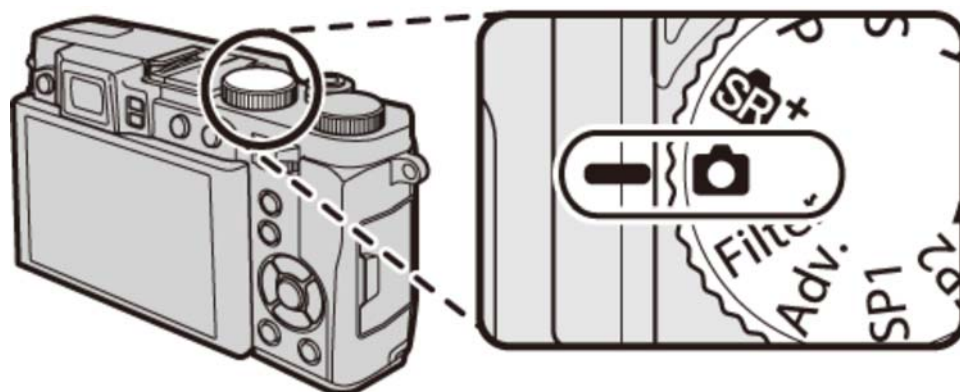
  は、次のときに有効になります。

- 撮影メニューの **インテリジェントブレ防止** が **ON** のとき
- フラッシュの設定がオートまたは発光禁止のとき

-  カメラをしっかり構えて撮影してください。
-  処理に時間がかかる場合があります。
-  動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
-  撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
-  この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

オート

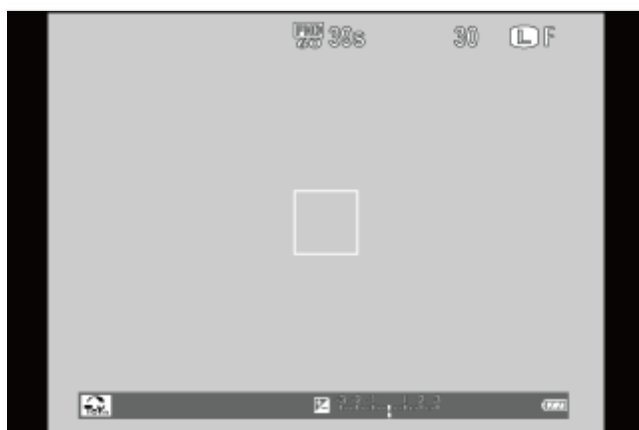
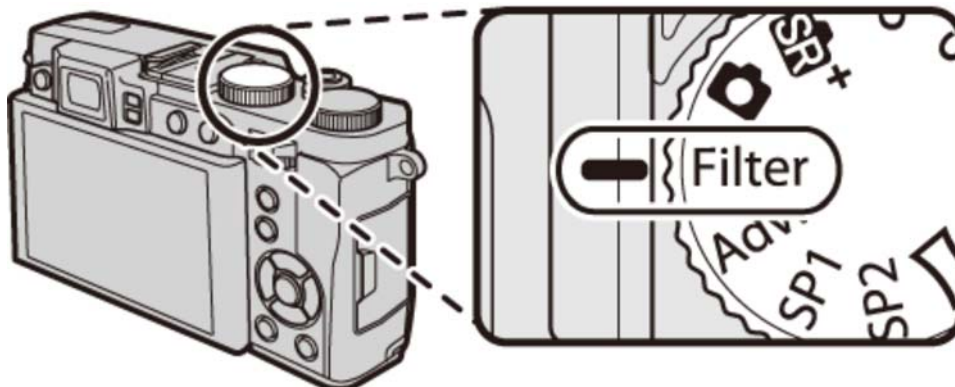
カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。



Filter アドバンストフィルター

さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。

1. モードダイヤルを **Filter** に合わせます。



2. **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示させ、**アドバンストフィルター** を選びます。

3. ▲▼ で使用するフィルター効果を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



トイカメラ レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。



ミニチュア ジオラマ風に上下をぼかします。



ポップカラー コントラストと彩度を強調します。



ハイキー 全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。



ローキー 全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部を強調します。



ダイナミックトーン ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。



ソフトフォーカス 全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。



パートカラー（レッド） 赤色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。

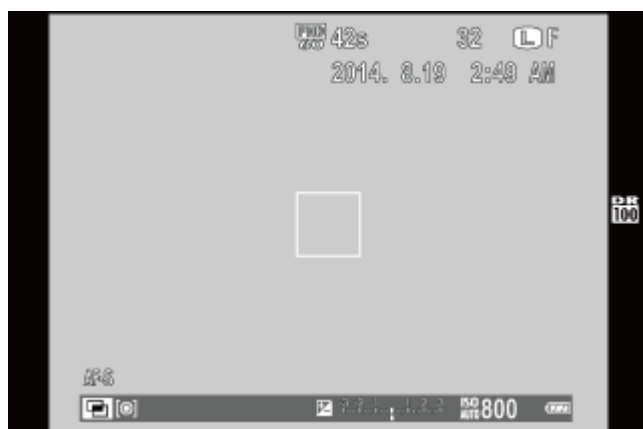
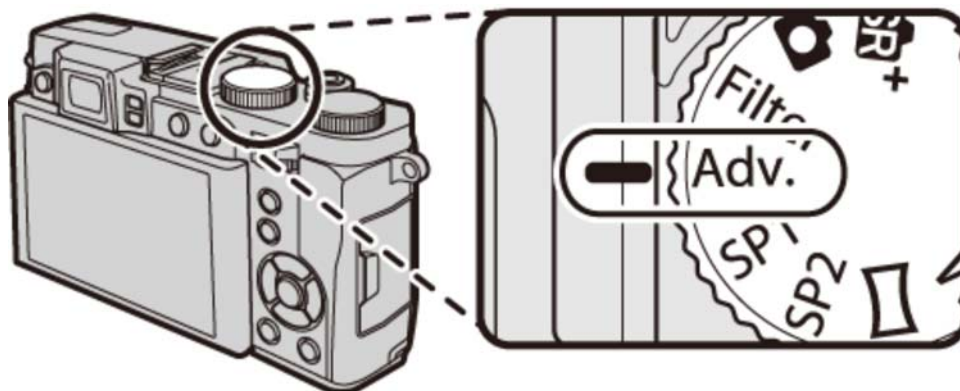
-  **パートカラー（オレンジ）** オレンジ色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
-  **パートカラー（イエロー）** 黄色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
-  **パートカラー（グリーン）** 緑色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
-  **パートカラー（ブルー）** 青色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。
-  **パートカラー（パープル）** 紫色の色域だけを残し、残りをモノクロにします。

 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならない場合があります。

Adv. アドバンスモード

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

1. モードダイヤルを **Adv.** に合わせます。



2. **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示させ、**Adv.モード** を選びます。

3. ▲▼ で使用するアドバンスモードを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

ぼかしコントロール

人物や花などの背景をぼかし、被写体を強調して撮影したいときに使用します。シャッターを押すと最大3コマ連写し、カメラが自動的にピントを合わせた被写体以外の背景をぼかします。一眼レフカメラで撮影したようなぼけ味のある写真を撮影できます。撮影前にコマンドダイヤルでぼかしの強度を3段階から設定できます。



✂ セットアップメニューの **保存設定 > 処理前画像記録** では、**ぼかしコントロール** で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます。

- ❗ 被写体と背景が近づきすぎていると、背景をうまくぼかせないことがあります。フォーカスロック時に「**背景をぼかせません**」とメッセージが出たときは、被写体から少し離れて、右方向（望遠）へズームレバーを動かし調整してください。
- ❗ 動いている被写体の場合、ぼかし処理に失敗することがあります。
- ❗ ぼかし処理が失敗すると「**画像を確認してください**」とメッセージが出ます。再度、撮影してください。
- ❗ 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- ❗ この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

連写重ね撮り

暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています。シャッターを押すと連写し、カメラが自動的に1枚の画像に合成します。手ブレを抑え、高感度でもノイズが少ない写真を撮影できます。



✎ セットアップメニューの **保存設定** > **処理前画像記録** では、**連写重ね撮り** で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます。

- ❗ 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- ❗ 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- ❗ 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。

多重露出

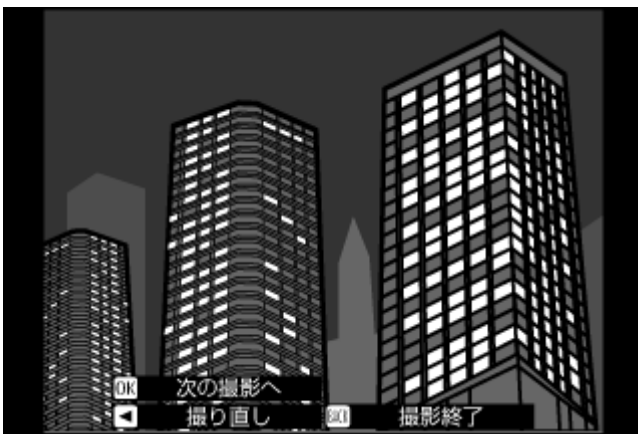
2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。



1. 1枚目の画像を撮影します。

2. **MENU/OK** を押します。

2枚目の撮影画面が表示されます。



✎ 1枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

✎ **DISP/BACK** を押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

3. 2枚目の画像を撮影します。



✎ 1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。

4. MENU/OK ボタンを押します。

2枚の画像を合成した画像が保存されます。

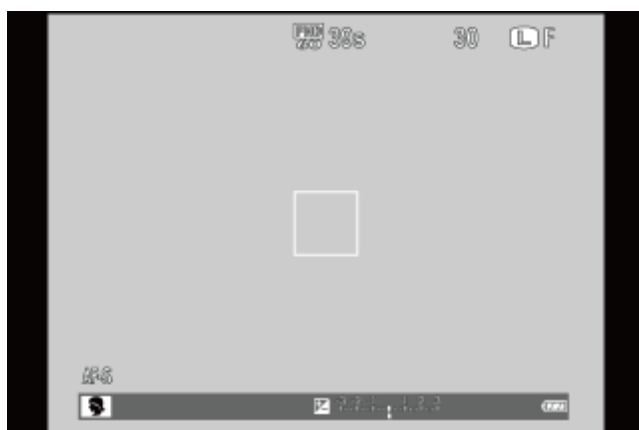
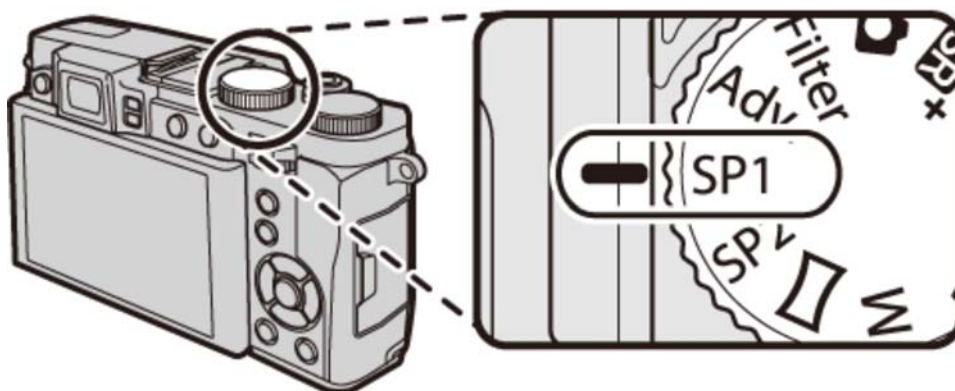


✎ 2枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

SP1/SP2 シーンポジション

いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

1. モードダイヤルを **SP1** または **SP2** に合わせます。



2. **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示させ、**シーン選択** を選びます。

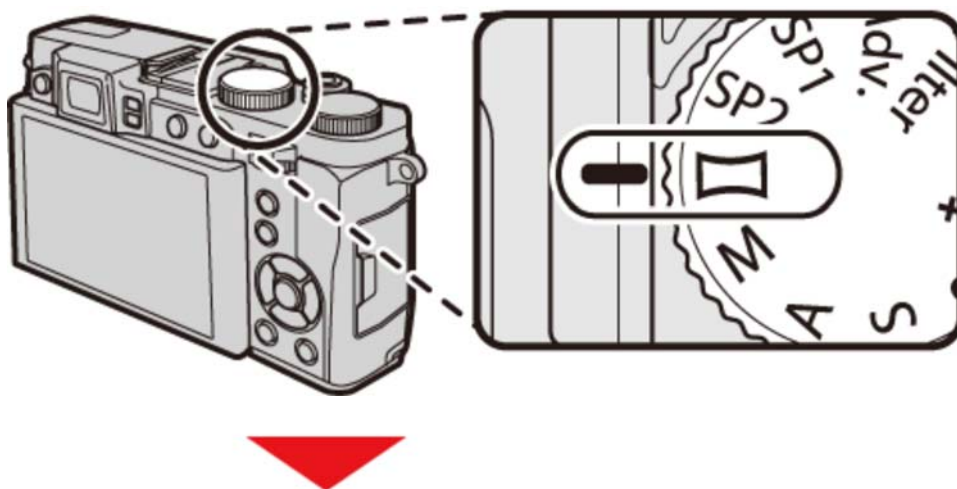
3. **▲▼** で使用するシーンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

-  **人物** 人物の撮影に適しています。
-  **美肌** 肌をなめらかに撮影します。
-  **風景** 昼間の風景撮影に適しています。
-  **スポーツ** 動いている被写体の撮影に適しています。
-  **夜景** 夕景や夜景の撮影に適しています。
-  **夜景（三脚）** スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
-  **花火** スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。

-  **夕焼け** 夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
-  **スノー** 白く輝く雪景色での撮影に適しています。
-  **ビーチ** 日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
-  **水中** 水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
-  **パーティー** 室内での結婚式やパーティーの撮影で使します。
-  **花の接写** 花に近づいて撮影するときに使します。
-  **文字の撮影** 書類やホワイトボードなどを撮影するときに使します。

ぐるっとパノラマ360

カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1枚のパノラマ写真を作成します。



1. 焦点距離を調整します。

ズームリングを回して、画面に表示されるズームバーが白色になるよう、焦点距離を調整します。

2. 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

◀ を押して撮影画角変更画面を表示させ、▲ または ▼ で撮影する角度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3. 撮影方向を選びます。

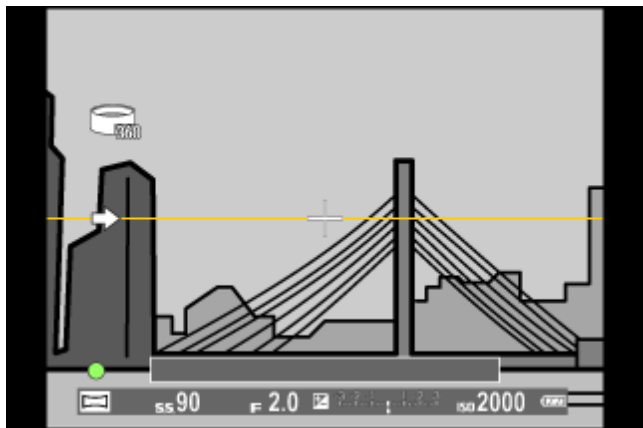
▶ を押して撮影方向変更画面を表示させ、▲ または ▼ で撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4. シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

5. 矢印方向にカメラを動かします。

矢印方向にカメラをガイドバーの終端までスムーズに動かすと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



✎ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が120度以下の場合、パノラマ写真は保存されません。

🔷 うまく撮影するには

- 一定の速度で小さな円を描くようにカメラを動かします。
- カメラを地面と平行（水平）に構え、ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまいいかないときは、移動速度を変えてください。

🔷 📷 について

撮影画角で 📷 を選ぶと、継ぎ目のない360°のパノラマ写真が撮影できます。📷 で撮影したパノラマを再生すると、エンドレスで再生できます。

✎ セットアップメニューの **保存設定 > 処理前画像記録** では、📷 のパノラマ写真も同時に記録するように設定できます。

- ❗ 撮影シーンによっては、画像がゆがんだり、合成できないことがあります。
- ❗ 合成できないときは、📷 のパノラマ写真となります。
- ❗ 撮影状態によっては、合成後の画像の上下に白い部分ができる場合があります。
- ❗ 📷 で撮影する場合、撮影画面に表示されている画像の上下の一部は記録されません。

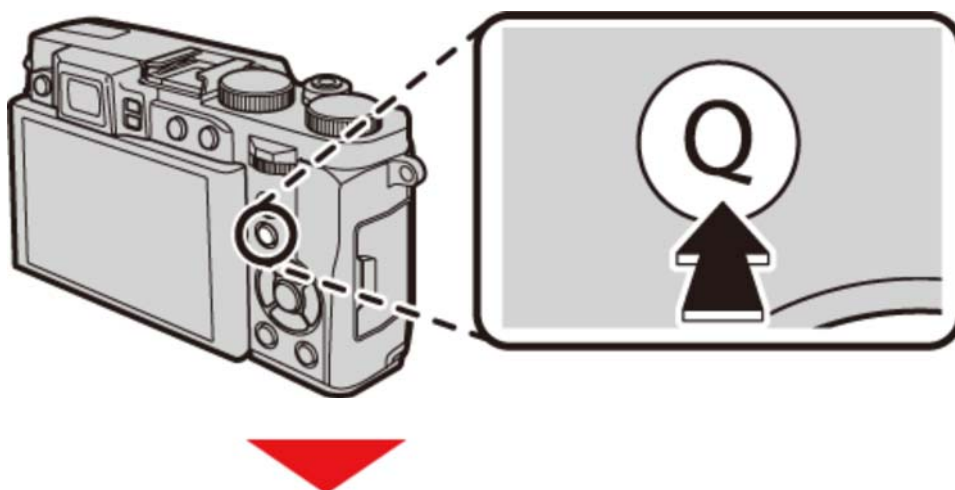
- ❗ 撮影中はズームリングを回さないでください。撮影が中断されます。
- ❗ 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- ❗ 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- ❗ 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- ❗ カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- ❗ 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- ❗ 以下の場合は、ぐるっとパノラマ360撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様が変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン

Qボタンを使う

Q ボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。

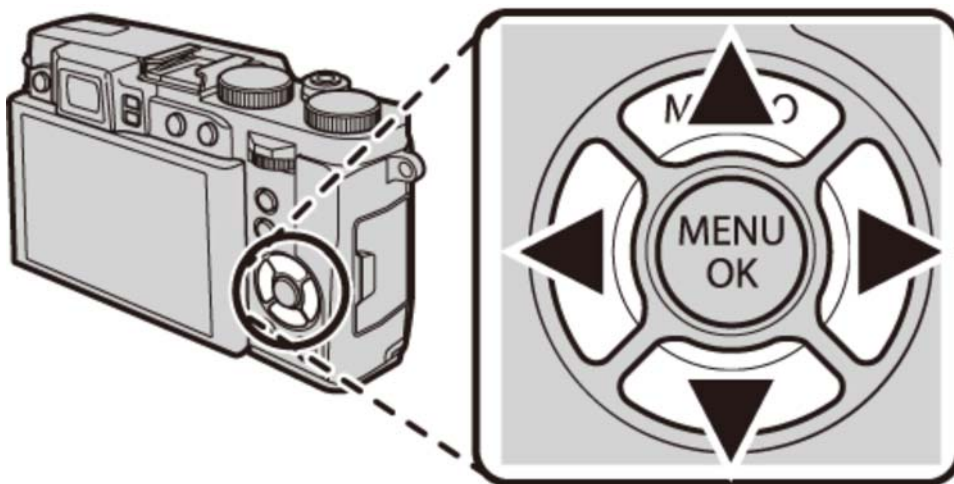
1. 撮影画面で Q ボタンを押します。

クイックメニューが表示されます。



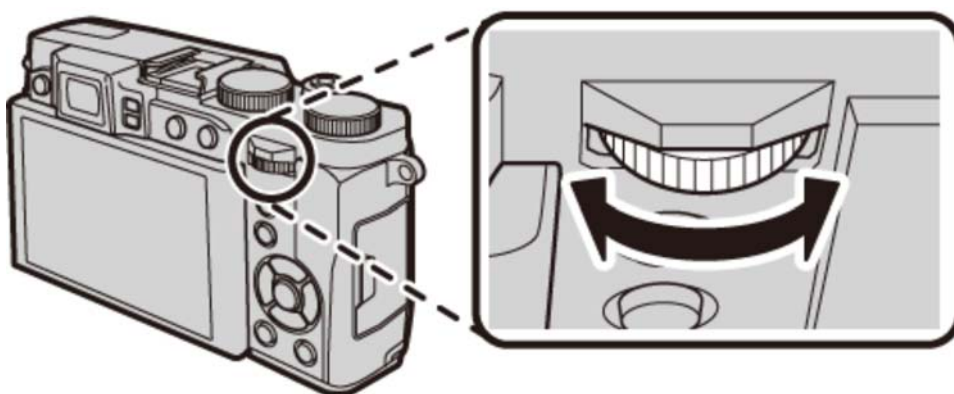
✎ クイックメニューに表示させるメニュー項目は、セットアップメニューの **クイックメニュー登録 / 編集** で、入れ換えることができます。クイックメニュー登録/編集画面は、撮影画面で Q ボタンを長押しすると表示できます。

2. 設定を変更するメニュー項目を ▲▼◀▶ で選びます。



✎ Q ボタンの設定変更では、**ホワイトバランスのカスタム**と**色温度設定**の設定と**感度**の**AUTO設定**の設定は変更できません。ファンクションボタンまたは撮影メニューで設定してください。

3. コマンドダイヤルで設定値を選びます。



4. Q ボタンを押します。

表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

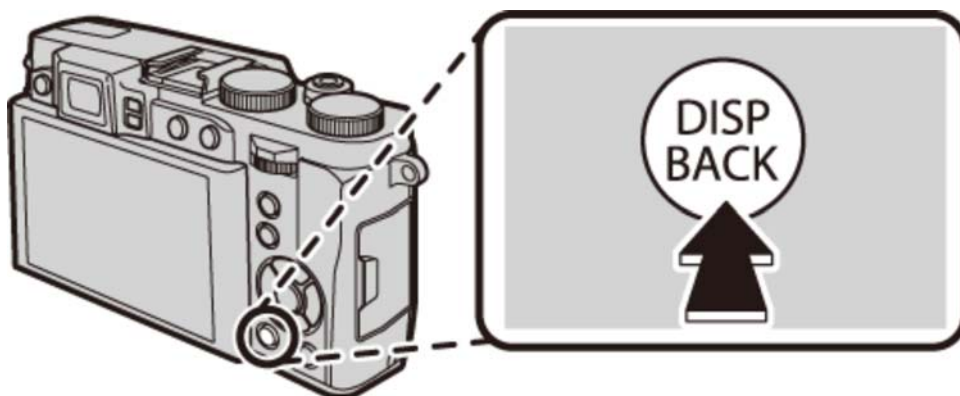
✎ クイックメニュー表示中に Q ボタンを長押しすると、カスタム登録/編集画面を表示できます。

関連項目

➡ [クイックメニュー登録/編集](#)（セットアップメニュー）：203ページ

機能の割り当てを変更する

ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り換えたり、設定画面を呼び出したりできます。**DISP/BACK** ボタンを長押しすると、ファンクションボタンの割り当て設定画面を表示できます。

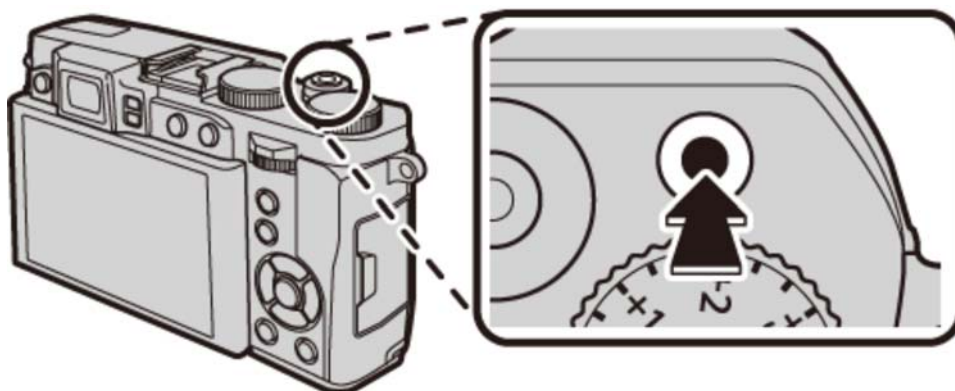


割り当てられる機能は次のとおりです。

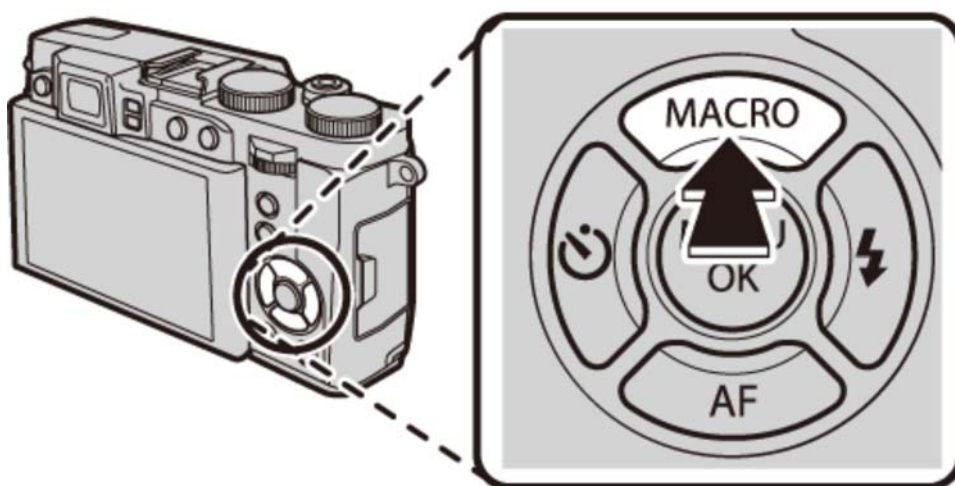
- マクロ
- 感度
- セルフタイマー
- 画像サイズ
- 画質モード
- ダイナミックレンジ
- フィルムシミュレーション
- ホワイトバランス
- 測光
- AFモード
- フォーカスエリア選択
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- カスタム選択
- 動画
- 顔キレynaビ
- 超解像ズーム
- モニター撮影効果反映
- パフォーマンス
- RAW
- ワイヤレス通信
- なし

ファンクションボタン

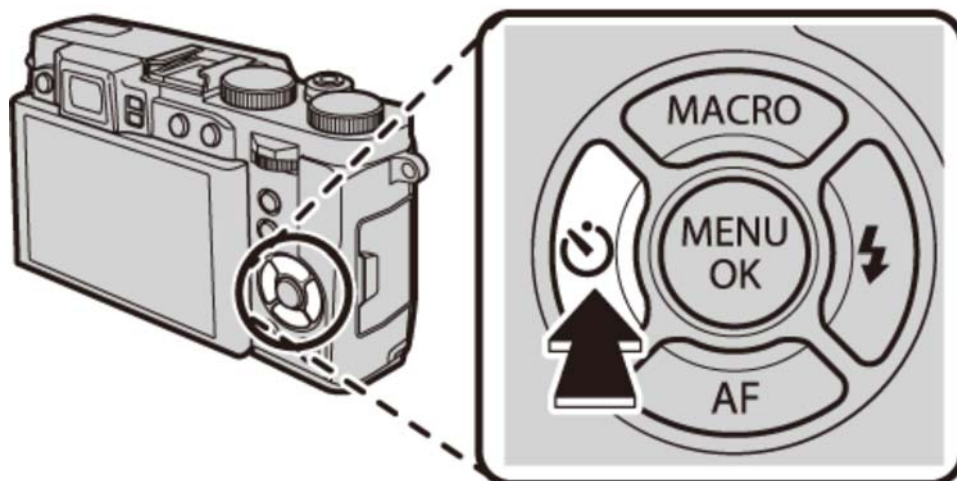
- Fn1ボタン



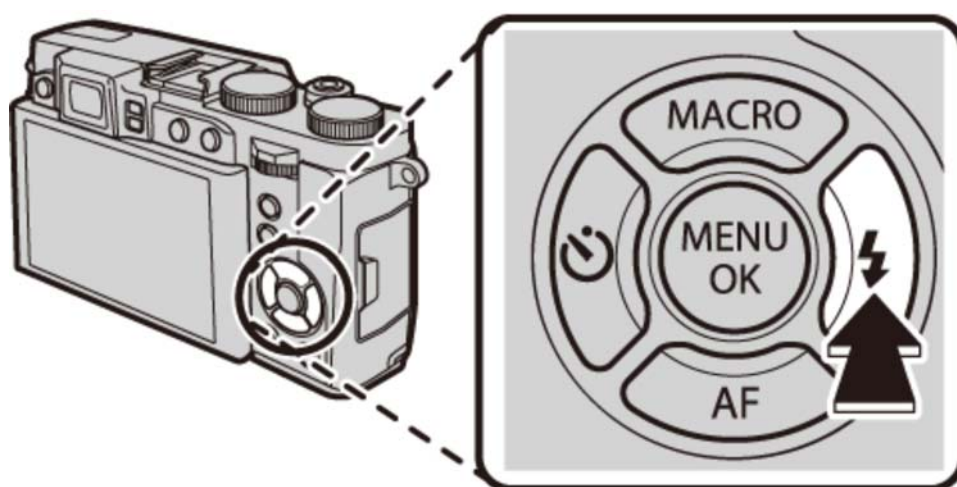
- Fn2ボタン



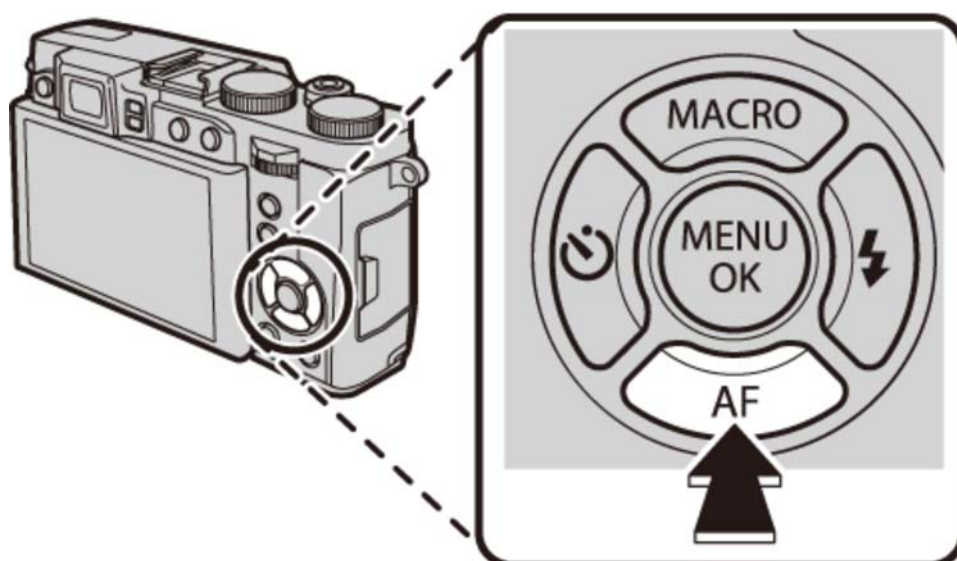
• Fn3ボタン



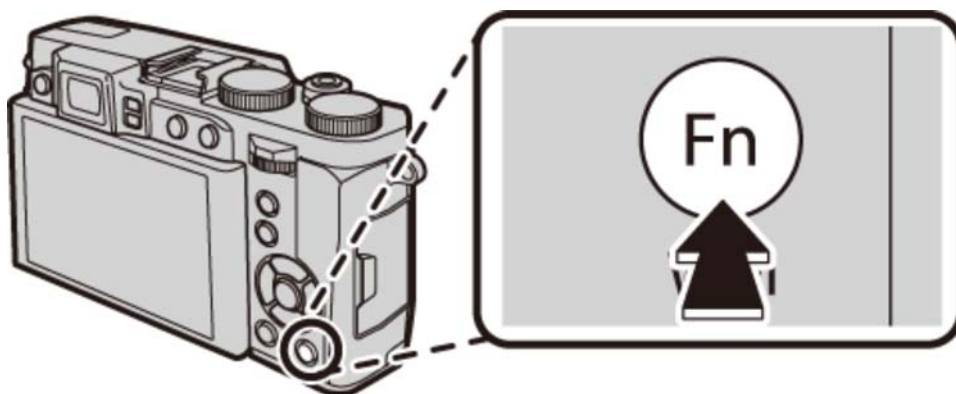
• Fn4ボタン



• Fn5ボタン



- **Fn6ボタン**

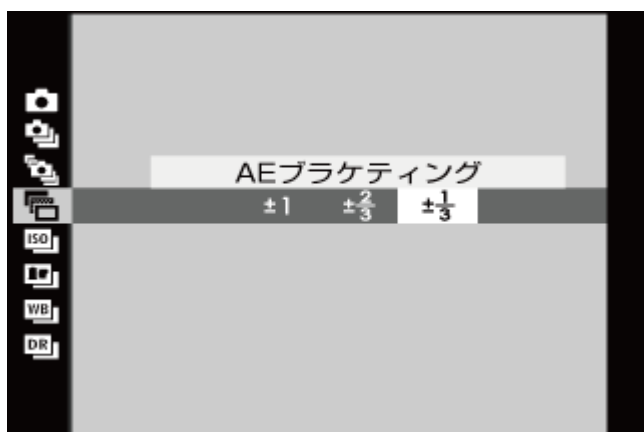
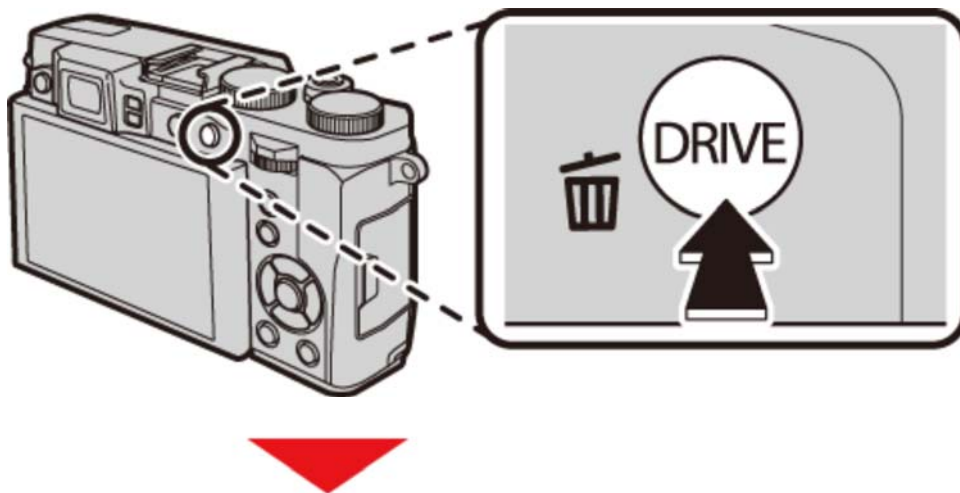


関連項目

- ➡ [ファンクション（Fn）設定（セットアップメニュー）](#)：201ページ

ブラケット撮影をしたい

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケット撮影ができます。**DRIVE** ボタンを押して使用したいブラケットの種類を選びます。



AEブラケット

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。露出を変える範囲は、**AEブラケット** を選んでから ◀▶ で選べます。

✎ アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えると、設定した設定値きざみで撮影されません。

ISOブラケットिंग

撮影した1枚の画像から、ISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。ISO感度の変化する段階は、**ISOブラケットिंग** を選んでから   で選べます。

 **画質モード** で **RAW** を選んでいるときは、使用できません。

フィルムシミュレーションブラケットिंग

撮影した1枚の画像から、フィルムシミュレーションの設定をそれぞれ選んだ設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるフィルムシミュレーションのそれぞれの設定は、撮影メニューの **フィルムシミュレーションBKT** で変更します。

 **画質モード** で **RAW** を選んでいるときは、使用できません。

関連項目

➡ [フィルムシミュレーションBKT](#)（撮影メニュー）：131ページ

ホワイトバランスブラケットिंग

一度シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスで設定されている色温度を設定したステップずつ変化させて3枚の画像を作成します。ステップ幅を変える範囲は、**ホワイトバランスブラケットिंग** を選んでから   で選べます。

 **画質モード** で **RAW** を選んでいるときは、使用できません。

ダイナミックレンジブラケットिंग

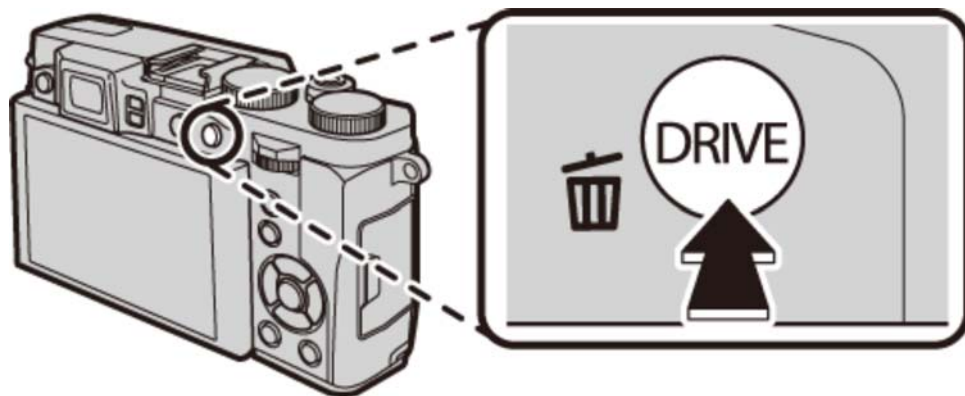
一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

 感度は400～3200に制限されます。

 **画質モード** で **RAW** を選んでいるときは、使用できません。

連続撮影したい（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。**DRIVE** ボタンを押して使用したい連写の種類を選びます。



連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。**連写** を選んでから ◀▶ で、連写速度を選びます。

✎ **AF追従** はフォーカスモードが **C** のときのみ選べます。

前後撮り連写

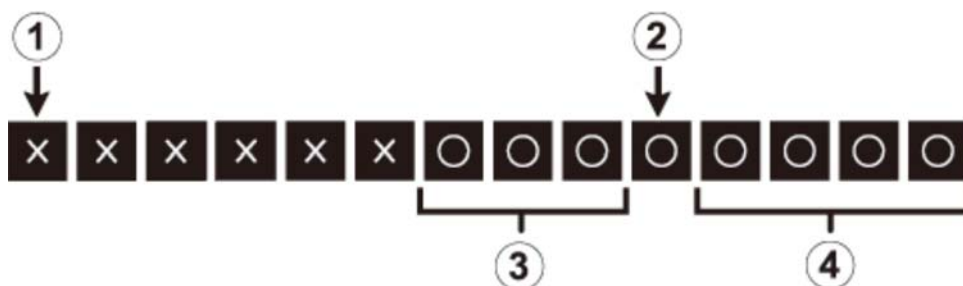
シャッターボタンを押したときの前後の画像を連続して撮影します。**前後撮り連写** を選んでから ◀▶ で、**前後撮り連写設定** を選ぶと、**前後撮り連写** の **速度** と **コマ数** を設定できます。

連写コマ数について

撮影する前後の連写コマ数は、左側が全押し前の連写コマ数で、右側が全押し後の連写コマ数です。



シャッターボタンを半押ししたときに前後の連写コマ数で設定した前のコマ数を撮影し、全押ししたときに後のコマ数を撮影します。



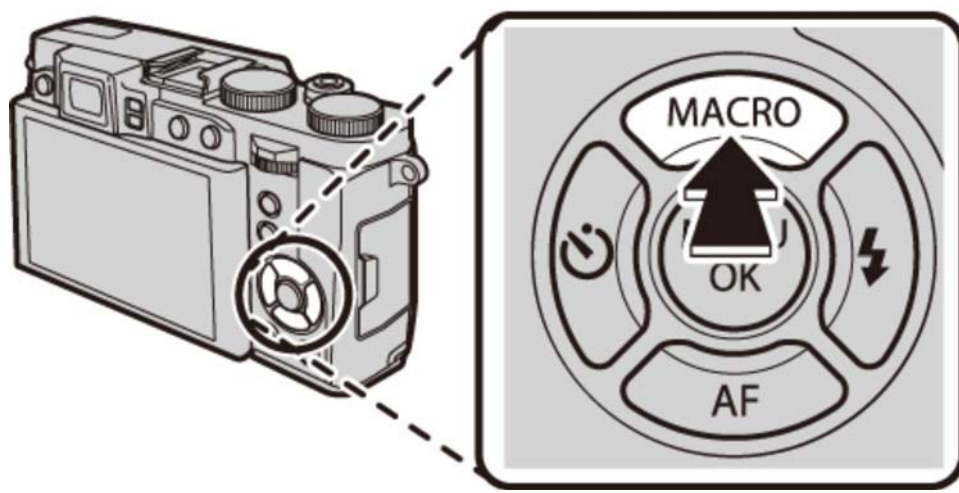
- ① シャッターボタン半押し
- ② シャッターボタン全押し
- ③ 前後の連写コマ数で設定した前のコマ数
- ④ 前後の連写コマ数で設定した後のコマ数

- ✎ シャッターボタンを半押ししてから全押しするまでに、前のコマ数が設定コマ数に満たないときは、残りのコマ数はすべて後のコマとして撮影されます。
- ✎ シャッターボタンを半押しして連写を開始してから一定時間が経過すると、全押ししなくても自動的に撮影されます。

近距離撮影したい（マクロ）

被写体との距離が近いときは、マクロモードを使用します。**MACRO**（▲）ボタンを何度か押して、マクロモードを設定します。

- ✎ 工場出荷値の設定では、ファンクション2ボタン（▲）には、**マクロ** が割り当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。
- ✎ マクロは、撮影メニューの **オートフォーカス設定** からでも設定できます。



OFF マクロモードを設定しません。

 **マクロ** マクロモードを設定します。

 **スーパーマクロ** スーパーマクロモードを設定します。

- ❗ **スーパーマクロ** を設定すると、フラッシュは使用できません。
- ❗ **スーパーマクロ** を使う場合は、ズームバーが白色になるようにズームリングを調整してから撮影してください。
- ❗ マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- ❗ 近づいてフラッシュ撮影するとレンズの影が映ることがあります。その場合は少しズームするか離して撮影してください。

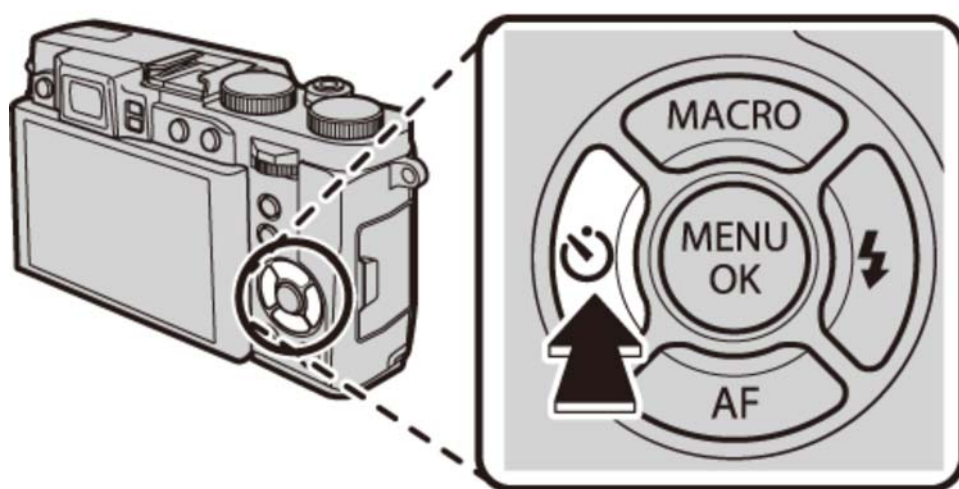
関連項目

- ➡ [機能の割り当てを変更する](#)（Fn（ファンクション）ボタン）：83ページ
- ➡ [オートフォーカス設定](#)（撮影メニュー）：124ページ

セルフタイマーを使って撮影したい

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2秒後撮影」の2種類のセルフタイマーを搭載しています。⌚ (◀) ボタンを押してから、▲▼ でセルフタイマーを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- ✎ 工場出荷値の設定では、ファンクション3ボタン (◀) には、**セルフタイマー** が割り当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。
- ✎ セルフタイマーは、撮影メニューの **セルフタイマー** から設定できます。



- ⌚2 シャッターボタンを全押ししてから2秒後に撮影されます。
- ⌚10 シャッターボタンを全押ししてから10秒後に撮影されます。
- OFF** セルフタイマーを使用しません。

-   (10秒後撮影) では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
-  (2秒後撮影) では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

関連項目

- ➡ [機能の割り当てを変更する \(Fn \(ファンクション\) ボタン\) : 83ページ](#)
- ➡ [セルフタイマー \(撮影メニュー\) : 132ページ](#)

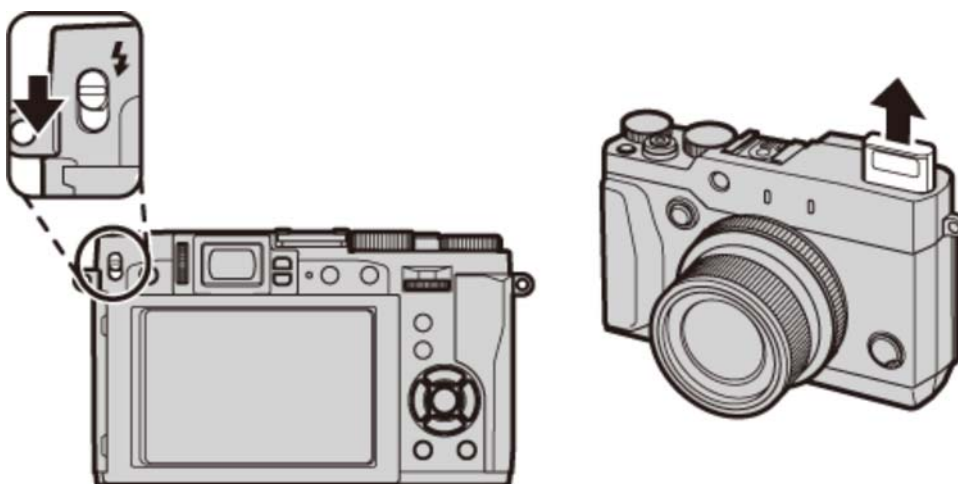
フラッシュ撮影したい

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

✍ 各撮影モードで利用できるフラッシュモードは「各撮影モードで利用できる機能について」（254ページ）でご確認ください。

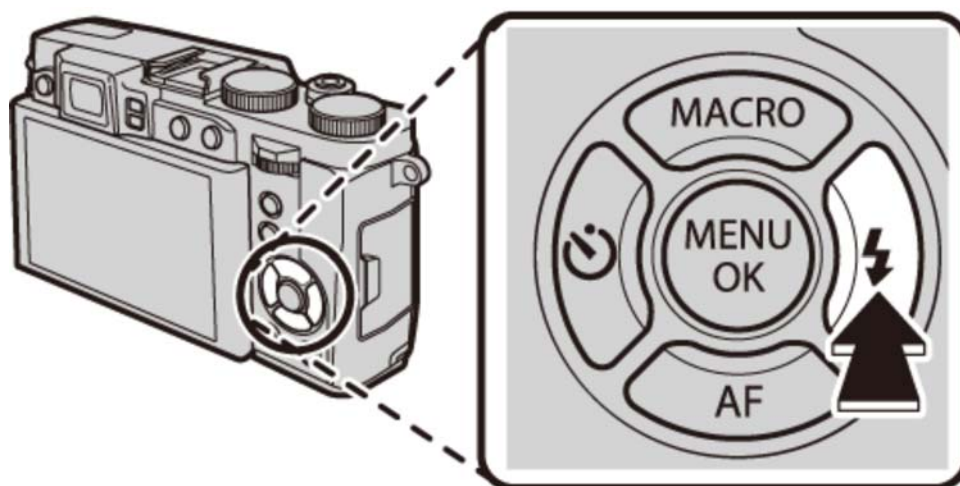
1. フラッシュポップアップスイッチをスライドします。

フラッシュがポップアップします。



2. ⚡ (▶) ボタンを押します。

フラッシュモード設定画面が表示されます。



3. ▲▼ でフラッシュモードを選び、MENU/OK ボタンを押します。

- | | |
|---|--|
|  AUTO (オート) | ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。 |
|  (強制発光) | 周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときなどに使います。 |
|  (スローシンクロ) | 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。 |
|  (コマンダー) | スレーブ対応の外部フラッシュを同調させます。 |
|  (発光禁止) | フラッシュは発光しません。被写体が暗いときでも、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。 |

- ✎ フラッシュを閉じてても発光禁止になります。
- ✎ 工場出荷値の設定では、ファンクション4ボタン (▶) には、**フラッシュモード** が割り当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。
- ✎ フラッシュモードは、撮影メニューの **フラッシュ設定** から設定できます。

- ✎ フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
- ✎ フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します（コマンダーモードを除く）。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- ✎ フラッシュが発光すると画像の周辺部が暗くなることがあります。

赤目軽減について

顔キレイナビと赤目補正をそれぞれ **ON** にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、 (赤目軽減オートフラッシュ)、 (赤目軽減+強制発光フラッシュ)、 (赤目スロー) から設定できます。

 (赤目軽減オートフラッシュ) は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

関連項目

- ➡ [各撮影モードで利用できる機能について](#) (付録) : 254ページ
- ➡ [機能の割り当てを変更する](#) (Fn (ファンクション) ボタン) : 83ページ
- ➡ [フラッシュ設定](#) (撮影メニュー) : 154ページ

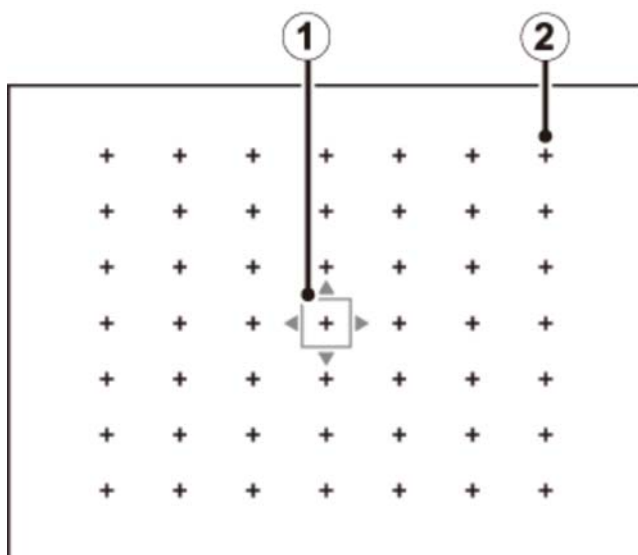
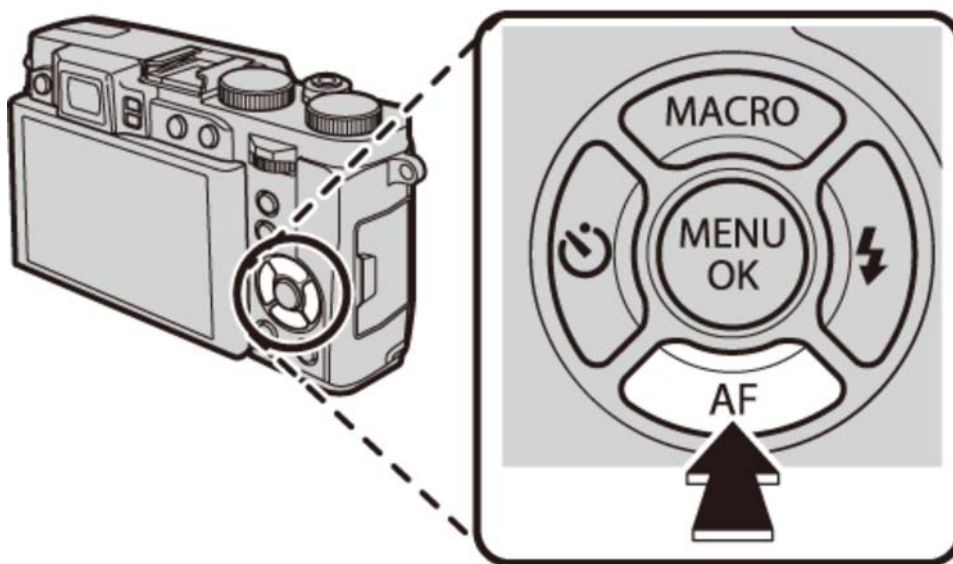
フォーカスエリアを変更したい

撮影メニューの **オートフォーカス設定** > **AFモード** で **エリア選択** を選んでいるときは、ピント合わせのエリアを変更できます。

1. AF (▼) ボタンを押します。

フォーカスエリア選択の設定画面が表示されます。

- ✎ 工場出荷値の設定では、ファンクション5ボタン (▼) には、**フォーカスエリア選択** が割り当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。
- ✎ フォーカスエリア選択は、撮影メニューの **オートフォーカス設定** から設定できます。

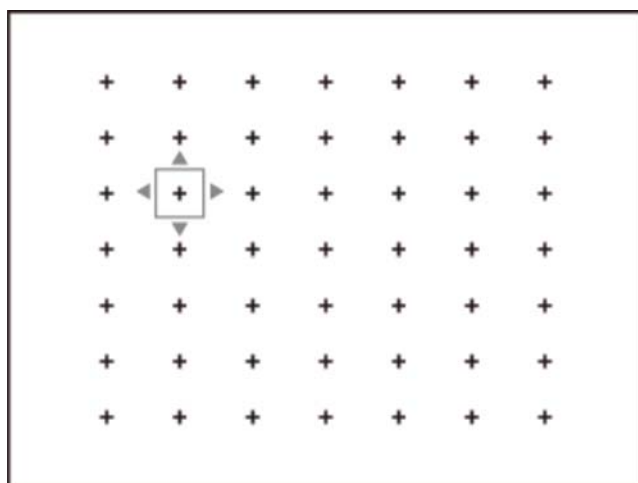
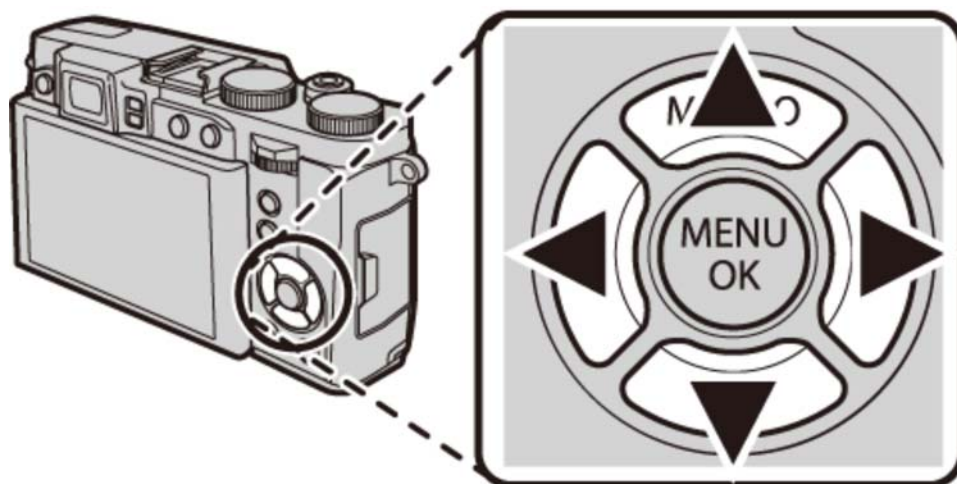


① フォーカスエリア

② フォーカスエリアポイント

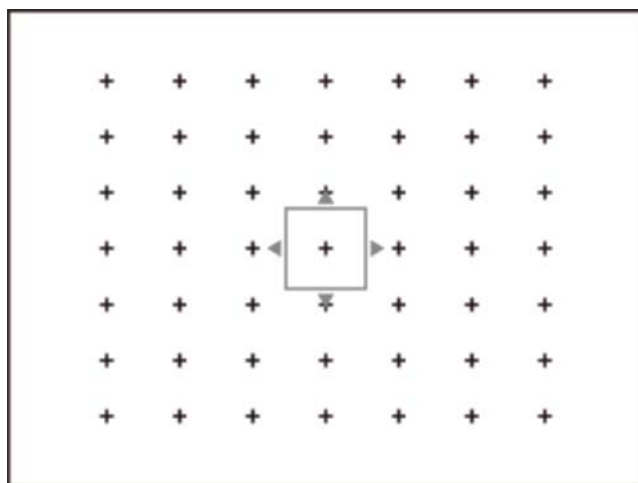
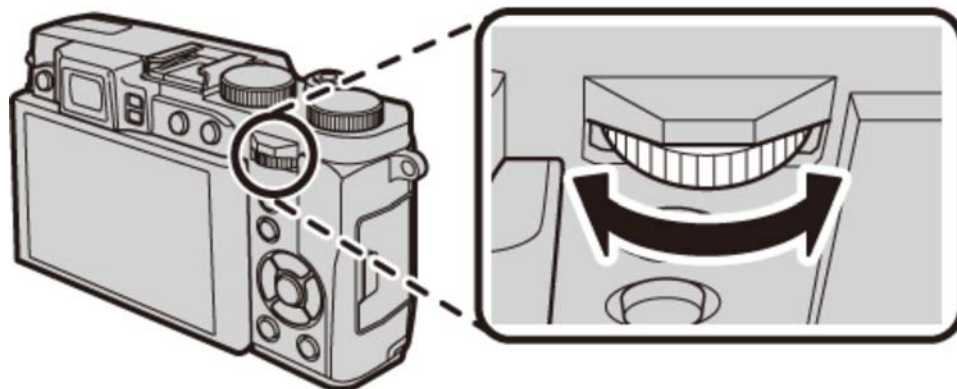
2. フォーカスエリアの位置やサイズを変更します。

- ▲▼◀▶ で、ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。



 **DISP/BACK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

- コマンドダイヤルを回して、フォーカスエリアのサイズを変更します。



✎ 左に回すとサイズが小さく（最小50%）、右に回すとサイズが大きく（最大150%）なります。コマンドダイヤルの中央を押すと、100%に戻ります。

3. MENU/OK ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。

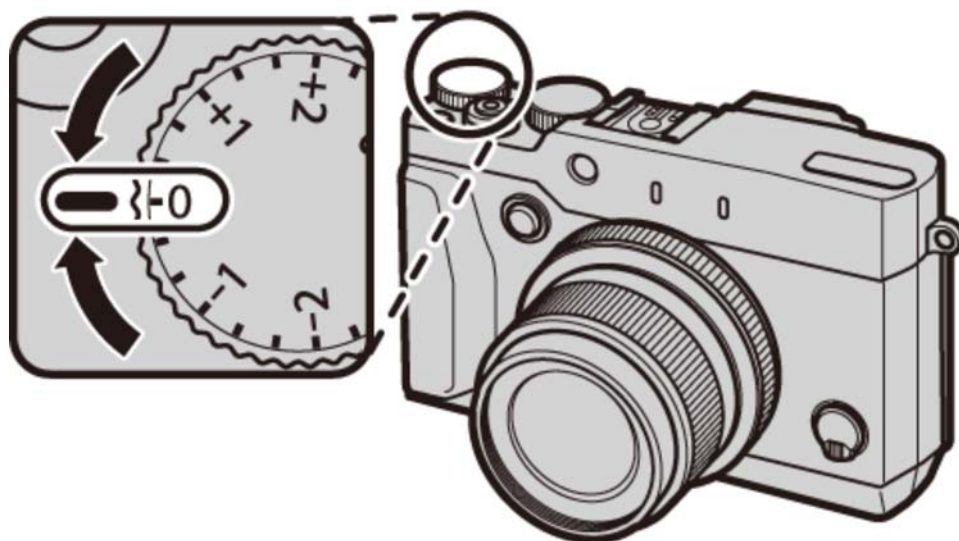
✎ セットアップメニューの **セレクトボタン設定** で **フォーカスエリア** を選んでいるときは、**AF** ボタンを押さなくても ▲▼◀▶ でフォーカスエリアの位置を直接変更できます。

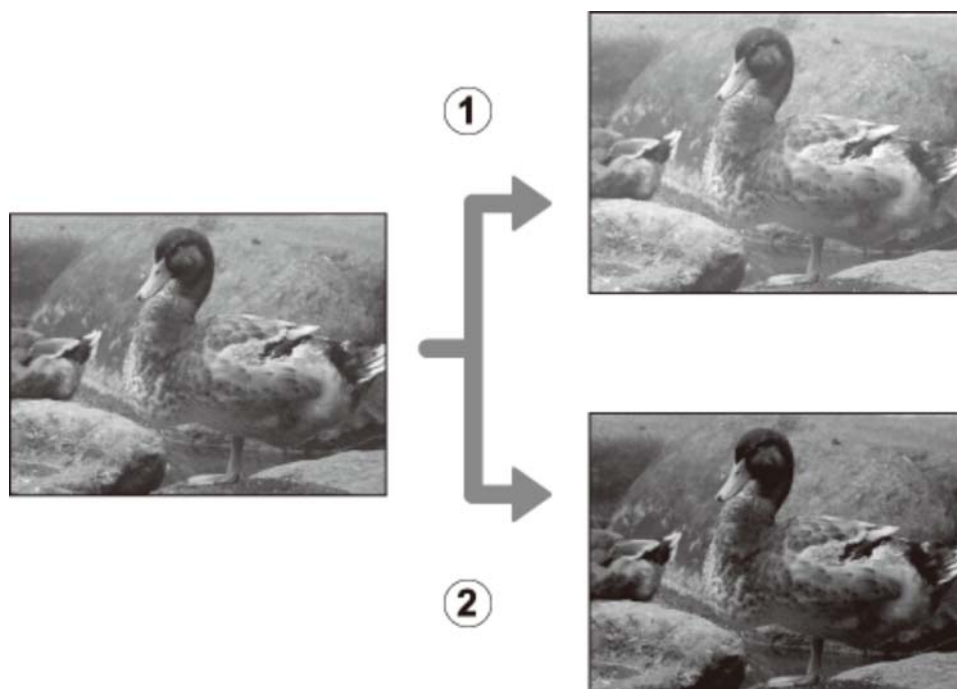
関連項目

- ➡ [機能の割り当てを変更する](#)（Fn（ファンクション）ボタン）：83ページ
- ➡ [オートフォーカス設定](#)（撮影メニュー）：124ページ
- ➡ [セレクトボタン設定](#)（セットアップメニュー）：202ページ

露出を補正したい

画像の明るさを調整できます。露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。





① +補正（暗い画像を明るくします）

② -補正（明るい画像を暗くします）



露出補正の目安

- 逆光の人物撮影： $+2/3$ EV $\sim$ $+12/3$ EV
- スキー場などの反射が強く明るい場所： $+1$ EV
- 画像の大部分を空が占める場合： $+1$ EV
- スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合： $-2/3$ EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合： $-2/3$ EV

AE/AFロック撮影したい

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1. ピントを合わせたい被写体にAFフレームを合わせます。



2. シャッターボタンを半押しします。

被写体にピントと露出が合い、AFフレームが緑点灯します。



 シャッターをきる前なら、AE/AFロックは何度でもやり直せます。

3. 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。

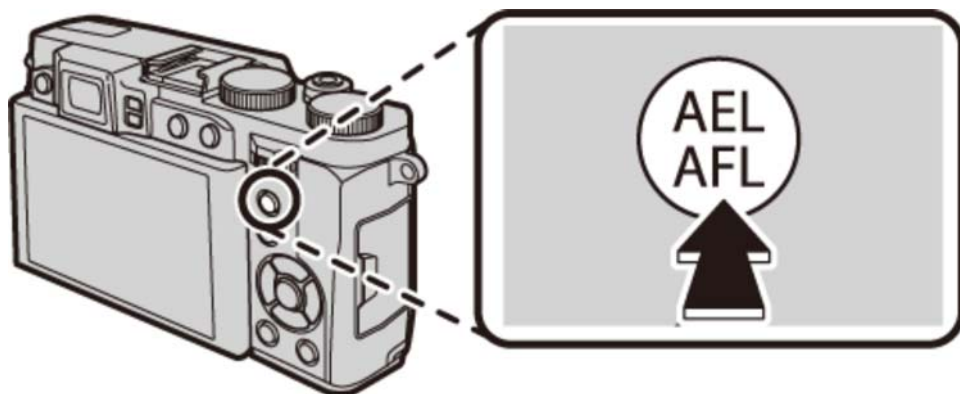


4. そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。



AEL/AFLボタンを使う

AEL / AFL ボタンでもAE/AFロックできます。



- ✎ **AEL / AFL** ボタンでAE/AFロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- ✎ **AEL / AFL** ボタンの機能は、セットアップメニューの **AE / AF-LOCK機能選択** で設定を変更できます。
 - **AE LOCKのみ（工場出荷時の設定値）**
露出が固定（AEロック）されます。
 - **AF LOCKのみ**
ピントが固定（AFロック）されます。
 - **AE + AF LOCK**
ピントと露出の両方が固定されます。
- ✎ セットアップメニューの **AE / AF-LOCK設定** を **押下切替** にすると、**AEL / AFL** ボタンを放してもAEロックやAFロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。
- ✎ マニュアルフォーカス撮影時に**AEL / AFL** ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。

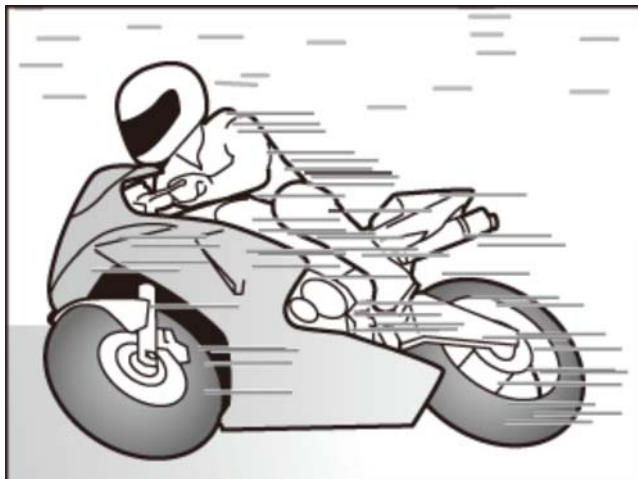
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの



- 高速で移動する被写体



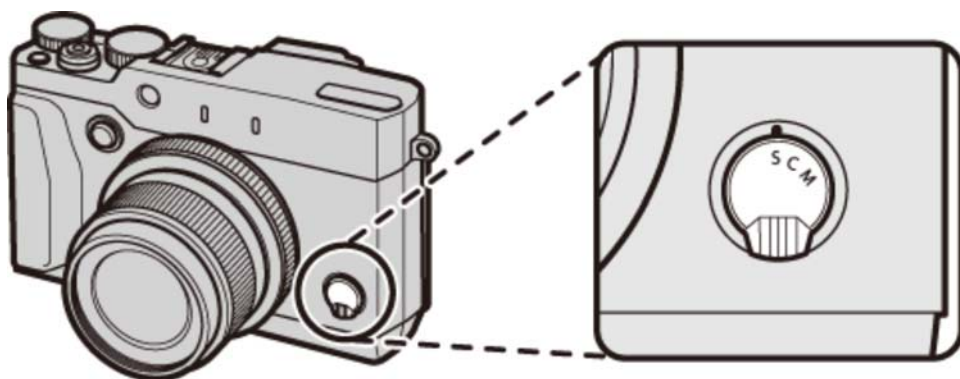
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの（背景と同色の服を着ている人物など）
- AFフレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

関連項目

- ➡ [AE/AFロック設定](#)（セットアップメニュー）：207ページ
- ➡ [AE/AFロック機能選択](#)（セットアップメニュー）：208ページ

ピント合わせの方法を変えたい（フォーカスモード）

フォーカスモード切換レバーで、ピント合わせの方法を変更できます。



S（シングルAF） スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。

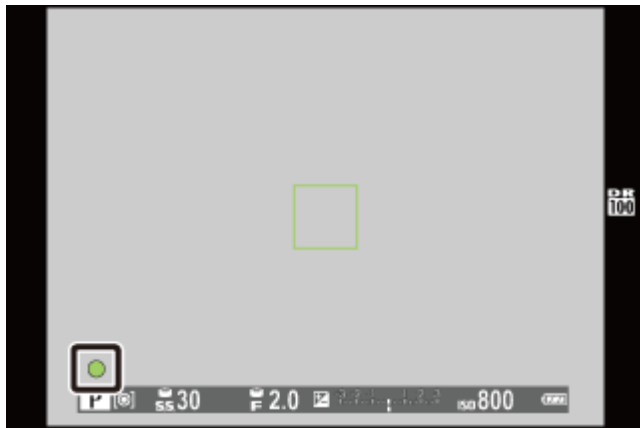
C（コンティニュアスAF） シャッターボタンを半押しすると常にピントを合わせ続けるため、動きのある被写体の撮影に適しています。

M（マニュアルフォーカス） ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します。

✎ フォーカスモードが **S** または **C** のときは、撮影メニューの **オートフォーカス設定 > プリAF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

合焦マークについて

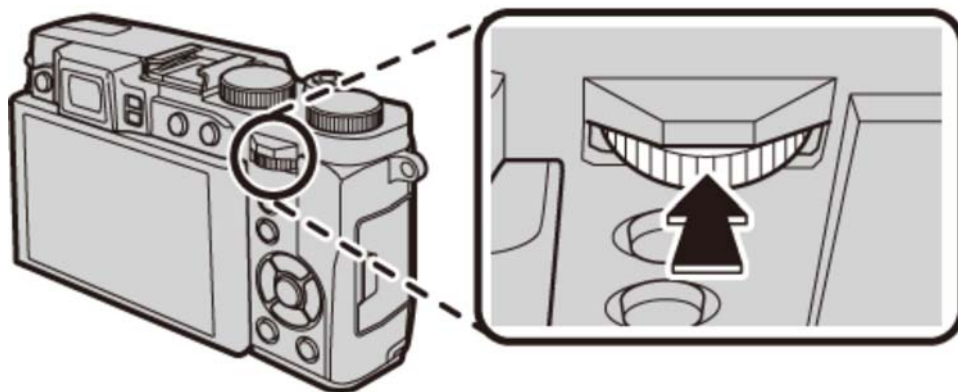
合焦マークでピントの状況を確認できます。



()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときに、ピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	C のときに、ピントが合っています。  被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。

拡大表示してピントを確認する

コマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



- ✎ フォーカスモードが **S** のときは、撮影メニューの **オートフォーカス設定** > **AFモード** を **エリア選択** に設定してください。
- ✎ フォーカスモードが **C** または撮影メニューの **オートフォーカス設定** > **プリAF** が **ON** のときは、拡大表示できません。

関連項目

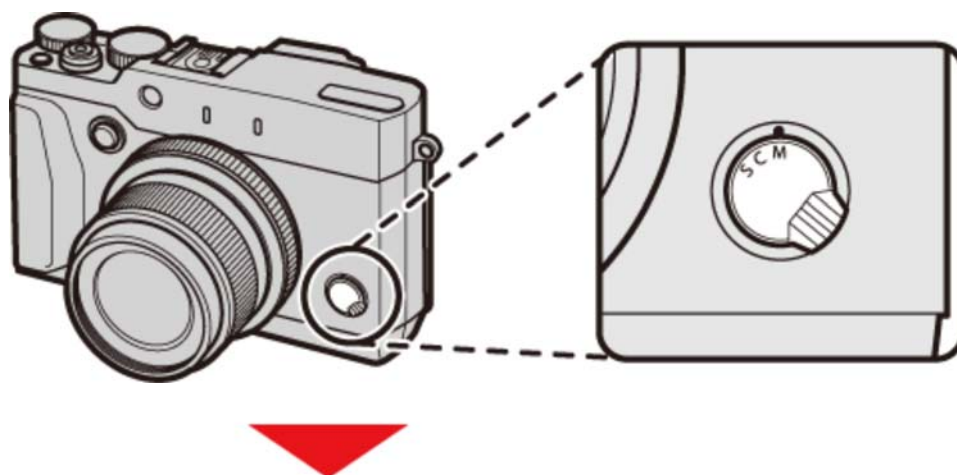
- ➡ [オートフォーカス設定](#) (撮影メニュー) : 124ページ

M（マニュアルフォーカス）で撮影したい

マニュアルフォーカスでの撮影方法は以下のように行います。

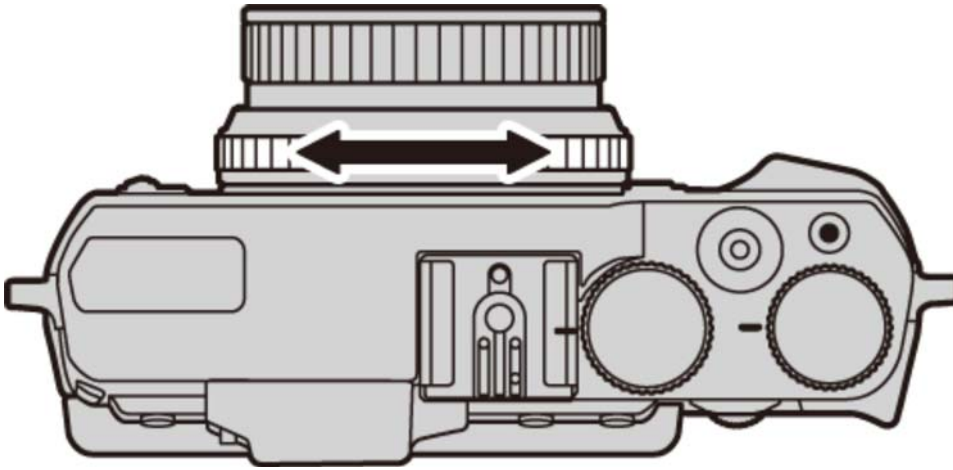
1. フォーカスモード切換レバーで **M** を選びます。

画面に **MF** が表示されます。



2. コントロールリングを回してピントを合わせます。

コントロールリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



✎ コントロールリングを回す方向は、セットアップメニューの **コントロールリング** で変更できます。

3. 撮影します。

マニユアルフォーカス時のAEL/AFLボタンについて

AEL / AFL ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニユアルフォーカスのときのみ使用できます。

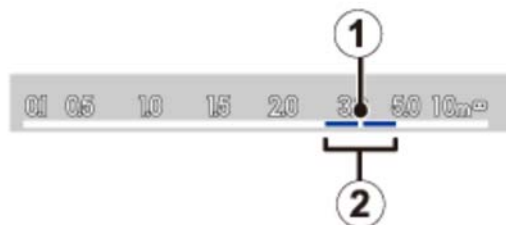
✎ 撮影メニューの **オートフォーカス設定 > ワンプッシュAF時の動作** で、**AEL / AFL** ボタンの動作を変更できます。**AF-S** (シングルAF) のときはボタンを押すとピントを合せます。**AF-C** (コンティニュアスAF) のときはボタンを押している間、ピントを合わせ続けます。

マニュアルフォーカスにおけるピントの確認方法

マニュアルフォーカスでは、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、セットアップメニューの **距離指標の単位** で **メートル** か **フィート** に切り換えられます。



① ピントの中心値（白い線）

② 被写界深度（青いバー）

拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

コマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。セットアップメニューの **フォーカスチェック** が **ON** のときは、コントロールリングを回したときも自動的に拡大表示されます。コマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

ピーキングで確認する

撮影メニューの **MFアシスト** を **フォーカスピーキング** に設定すると、コントラストの高い輪郭部分が強調されます。コントロールリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。

関連項目

- ➡ [コントロールリング](#)（セットアップメニュー）：193ページ
- ➡ [フォーカスチェック](#)（セットアップメニュー）：194ページ
- ➡ [距離指標の単位](#)（セットアップメニュー）：211ページ
- ➡ [MFアシスト](#)（撮影メニュー）：152ページ

RAW画像を撮影したい

RAW画像とは、撮像素子から得られる非圧縮の生データのことです。撮影したRAW画像は、パソコンで画像を再構成するほか、再生メニューの **RAW現像** でさまざまな設定を行ってからJPEGに保存（現像）できます。RAW画像は、撮影メニューの **画質モード** で設定します。

1. MENU/OK ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。

2. ▲▼ で 画質モード を選択し、MENU/OK ボタンを押します。

画質モードの設定画面が表示されます。

3. ▲▼ でRAW画像を選びます。

FINE+RAW FINEで撮影したJPEG画像と、RAWファイルの両方を保存します。

NORMAL+RAW NORMALで撮影したJPEG画像と、RAWファイルの両方を保存します。

RAW RAWファイルのみを保存します。

4. MENU/OK ボタンを押します。

RAW画像が設定されます。

 パソコンでRAW画像を現像するには、パソコンにRAW FILE CONVERTERがインストールされている必要があります。



ファンクションボタンを使ってRAW画像を撮影する

撮影メニューの **画質モード** で **FINE** または **NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけでRAW画像を撮影できます。再度ファンクションボタンを押すか、1コマ撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている画質モード	ファンクションボタン（RAWを割り当て済み）を押した場合
FINE	FINE + RAW
NORMAL	NORMAL + RAW
FINE + RAW	FINE
NORMAL + RAW	NORMAL
RAW	FINE

関連項目

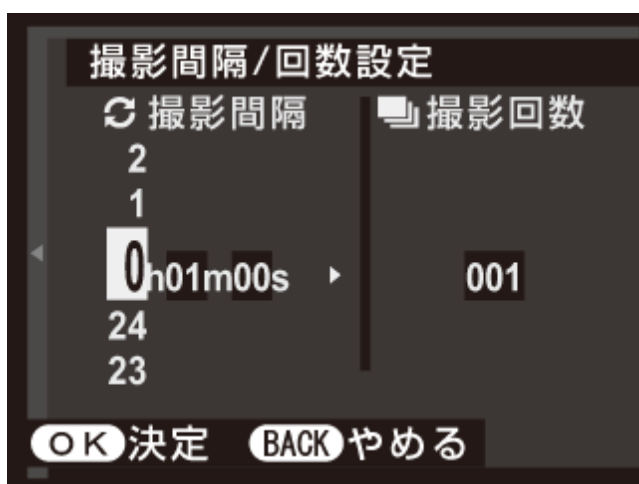
- ➡ [機能の割り当てを変更する（Fn（ファンクション）ボタン）](#) : 83ページ
- ➡ [RAW FILE CONVERTER（付録/リンク）](#) : 252ページ

インターバルタイマーを使って撮影したい

設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。

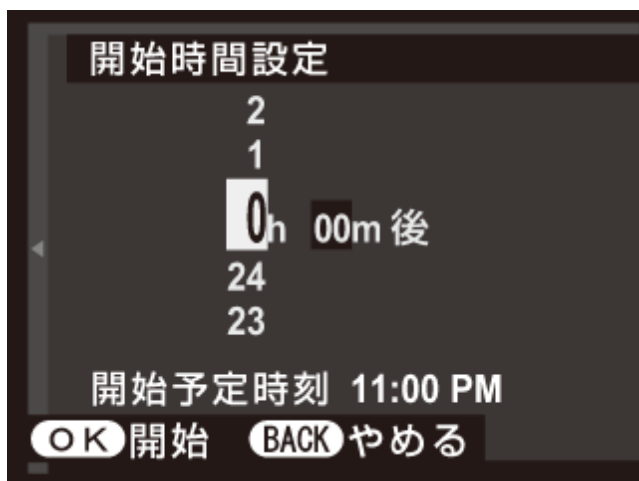
1. 撮影メニューから **インターバルタイマー撮影** を選びます。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



2. ▲▼◀▶ で撮影間隔と撮影回数を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



3. ▲▼◀▶ で開始時間を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。

❗ パノラマ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

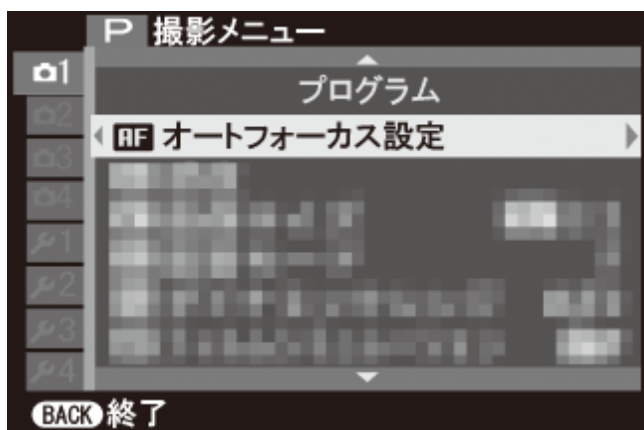
- ✎ 三脚のご使用をおすすめします。
- ✎ 撮影中のバッテリー切れに注意してください。
- ✎ インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると表示されます。
- ✎ 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを全押しすると、画面表示が復帰します。

撮影メニューの使い方

✎ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

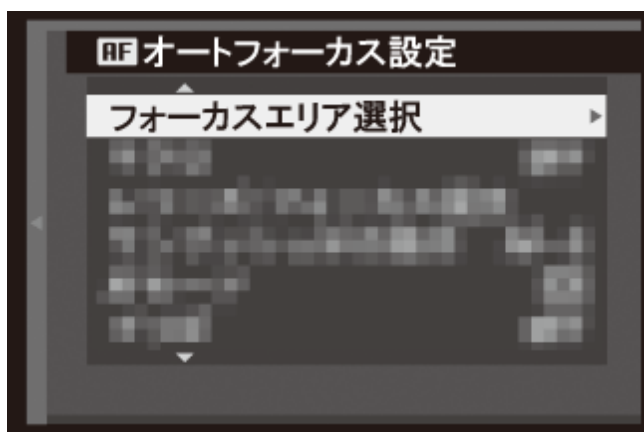
1. MENU/OK ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。



2. ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

3. ► で設定の変更に移ります。



4. ▲ または ▼ で設定を変更します。

5. MENU/OK ボタンを押して、決定します。

6. DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面に戻ります。

工場出荷時の設定値—撮影メニュー

撮影メニューの工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

 セットアップメニューの **リセット** > **撮影メニューリセット** を実行すると、工場出荷時の設定に戻せます。

シーン選択	
SP1	人物
SP2	風景
Adv.モード	多重露出
アドバンストフィルター	トイカメラ
オートフォーカス設定	
マクロ	オフ
レリーズ優先/フォーカス優先	
AF-Sモード時の優先	レリーズ
AF-Cモード時の優先	レリーズ
ワンプッシュAF時の動作	AF-S
AFモード	エリア選択
プリAF	OFF
AF補助光	ON
感度	AUTO1
画像サイズ	 4:3
画質モード	FINE
ダイナミックレンジ	 100 %
フィルム シミュレーション	 PROVIA / スタンダード
フィルムシミュレーション BKT	
フィルム1	 PROVIA / スタンダード

	フィルム2	 Velvia / ビビッド
	フィルム3	 ASTIA / ソフト
セルフタイマー		OFF
ホワイトバランス		AUTO
カラー		(0) 標準
シャープネス		(0) スタANDARD
ハイライトトーン		(0) スタANDARD
シャドウトーン		(0) スタANDARD
ノイズリダクション		(0) スタANDARD
超解像ズーム		OFF
インテリジェントブレ防止		OFF
顔キレイナビ		OFF
測光		マルチ
測光&フォーカスエリア連動		ON
MFアシスト		フォーカスピーキング—ホワイト (強)
コントロールリング設定		スタンダード
フラッシュ設定		
	フラッシュモード	オート
	フラッシュ調光補正	±0
動画設定		
	動画モード	 1920×1080 60 fps
	動画感度	AUTO
	動画中静止画撮影	動画優先
	マイクレベル設定	3
	マイク/リモートリリース設定	マイク

シーン選択

モードダイヤルが **SP1/SP2** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます。

関連項目

➡ [シーンポジション](#)（撮影モード）：76ページ

Adv.モード

モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な撮影が簡単にできるモードを選択できます。

関連項目

➡ [アドバンスモード（撮影モード）](#) : 71ページ

アドバンストフィルター

モードダイヤルが **Filter** のときに、撮影時のフィルター効果を選択できます。

関連項目

- ➡ [アドバンストフィルター（撮影モード）](#) : 69ページ

AF オートフォーカス設定

オートフォーカスに関する設定を変更できます。

フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**AFモード** で **エリア選択** を選択しているときに、ピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ワンプッシュAFでピントを合わせる位置やコマンドダイヤルの中央を押して拡大表示する位置を変更できます。

マクロ

マクロモード（近距離撮影）を設定できます。

リリース優先/フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **S** のときと、**C** のときのそれぞれを個別に設定できます。

リリース ピントが合っていないなくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。

フォーカス ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

ワンプッシュAF時の動作

フォーカスモードが **M** のときの **AEL / AFL** ボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

AF-S ボタンを押すとピントを合せます。

AF-C ボタンを押している間、ピントを合わせ続けます。

AFモード

フォーカスモードが **S** または **C** のときのAFエリア選択の方法を設定します。

-  **オートエリア** シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。
-  **エリア選択** ピントを合わせるエリアを手動で選択します。
-  **自動追尾** 被写体の動きに合わせて枠が移動しピントを合わせ続けます。被写体に画面中央の枠を合わせ、**AEL / AFL** ボタンを押すと、自動追尾を開始します。

プリAF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときもAFサーチを実行します。

- ❗ **ON** にすると、常にAFサーチを行うので、AFにかかる時間の短縮効果が見込めますが、バッテリーの消耗が早くなります。

AF補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF補助光が発光します。AF補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

-  マナーモードでは、AF補助光は発光しません。

- ❗ シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ❗ マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ❗ 人の目に近づけて発光させないでください。

ISO 感度

撮影感度を変更できます。感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。

AUTO1 / AUTO2 / AUTO3 被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。

12800 ~ 100 設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。

AUTOについて

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、それぞれ以下の項目が設定できます。

設定	工場出荷時の設定値
基準ISO感度	100
上限ISO感度	AUTO1 : 800 AUTO2 : 1600 AUTO3 : 3200
低速シャッター限界	1/30

基準ISO感度 と **上限ISO感度** を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的にISO感度を設定します。また、**低速シャッター限界** では、ISO感度が自動で切り換わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

✎ **上限ISO感度** よりも **基準ISO感度** を高く設定している場合は、**上限ISO感度** で設定されているISO感度で撮影されます。

✎ **基準ISO感度** と **上限ISO感度** の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界** で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定	用途例
L 4:3	A3、四切（254mm × 305mm）、四切Wサイズ程度で印刷する場合に適しています。
L 3:2	
L 16:9	
L 1:1	
M 4:3	六切（203mm×255mm）、A4サイズ程度で印刷する場合に適しています。
M 3:2	
M 16:9	
M 1:1	
S 4:3	DSC（89mm×119mm）、L（89mm×127mm）、A6サイズ程度で印刷する場合に適しています。
S 3:2	
S 16:9	
S 1:1	

 画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

FINE 圧縮率が低いため画質を優先するモードです。

NORMAL 圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。

FINE+RAW FINEで撮影したJPEG画像と、RAWファイルの両方を保存します。

NORMAL+RAW NORMALで撮影したJPEG画像と、RAWファイルの両方を保存します。

RAW RAWファイルのみを保存します。

D-Rng ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
AUTO (自動調整)	D-R 100 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。 ^ v
	D-R 200 200%	
D-R 400 400%		コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。

- ❗ ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。
- ❗ ダイナミックレンジを拡大するには、ISO感度を上げる必要があります。

フィルム シミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。

(PROVIA/スタンダード)

標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。

(Velvia/ビビッド)

高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。

(ASTIA/ソフト)

肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。

(クラシッククローム)

発色をおさえて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。

(PRO Neg. Hi)

 (PRO Neg. Std) に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。

(PRO Neg. Std)

全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適したモードです。

(モノクロ)

モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。

(モノクロ + Yeフィルター)

被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が少し濃くなります。

(モノクロ + Rフィルター)

被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃くなります。

(モノクロ + Gフィルター)

唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。

(セピア)

ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。

フィルムシミュレーションBKT

フィルムシミュレーションBKT で撮影する3枚の画像のフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ変更できます。

セルフタイマー

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2秒後撮影」の2種類のセルフタイマーを搭載しています。

 シャッターボタンを全押ししてから2秒後に撮影されます。

 シャッターボタンを全押ししてから10秒後に撮影されます。

OFF セルフタイマーを使用しません。

  (10秒後撮影) では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。

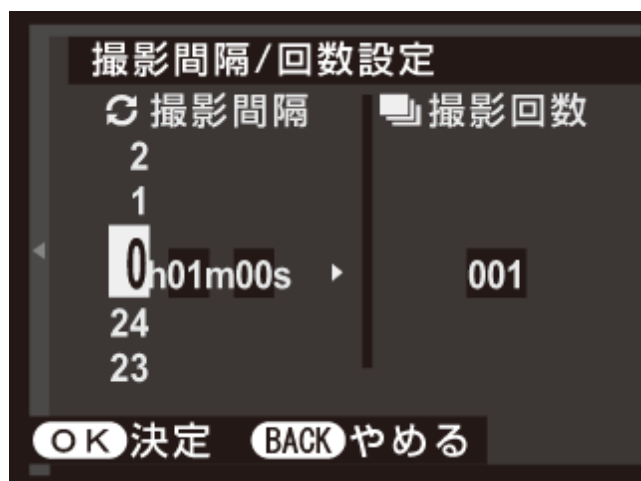
 (2秒後撮影) では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

インターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。

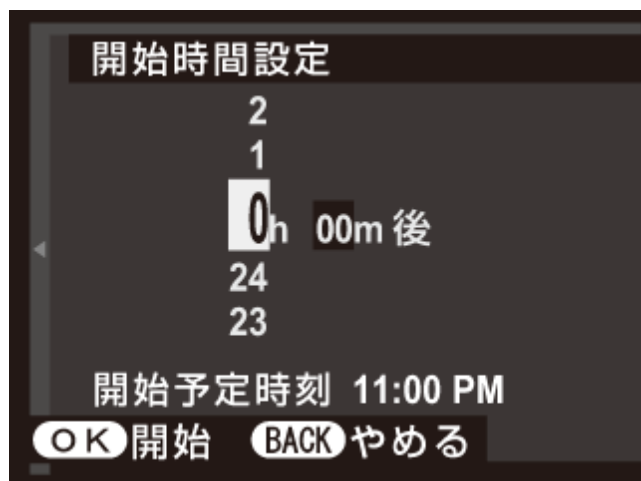
1. 撮影メニューから **インターバルタイマー撮影** を選びます。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



2.  で撮影間隔と撮影回数を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



3.  で開始時間を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。

! パノラマ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

- ✎ 三脚のご使用をおすすめします。
- ✎ 撮影中のバッテリー切れに注意してください。
- ✎ インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると表示されます。
- ✎ 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを全押しすると、画面表示が復帰します。

WB ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

1. 撮影メニューから **ホワイトバランス** を選びます。

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。



2. ▲ または ▼ でホワイトバランスを選びます。

AUTO (オート) カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、**AUTO** をおすすめします。

 **(カスタム)** 白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します。

 **(色温度設定)** 色温度を設定します。

 **(晴れ)** 晴天の屋外での撮影用です。

 **(日陰)** 曇天や日陰などでの撮影用です。

 **(蛍光灯1)** 昼光色蛍光灯の下での撮影用です。

 **(蛍光灯2)** 昼白色蛍光灯の下での撮影用です。

 **(蛍光灯3)** 白色蛍光灯の下での撮影用です。

 **(電球)** 電球、白熱灯の下での撮影用です。

 **(水中)** 水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

3. MENU/OK ボタンを押します。

WBシフト画面が表示され、シフト量を調整できます。▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。



✎ **DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。

4. MENU/OK ボタンを押します。

ホワイトバランスが設定されます。

- ✎ 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- ✎ 撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

✎ 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1. ホワイトバランスの設定画面から **カスタム** を選びます。

2. 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

✎ **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。

3. シャッターボタンを全押しして設定します。

✎ 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4. 「**GOOD!**」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押します。

カスタムホワイトバランスが設定されます。

❗ 「**OVER**」または「**UNDER**」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。「**OVER**」と表示されたときは－（マイナス）側に、「**UNDER**」と表示されたときは＋（プラス）側に露出補正してから、再度測定してください。

色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

✎ 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

1. ホワイトバランスの設定画面から **色温度設定** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。

2. ▲ または ▼ で色温度を選び、**MENU/OK** を押します。

WBシフト画面が表示されます。

✎ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** を押してください。

3. ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

4. **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度が設定されます。



色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

赤味大

青味大



2000 K

ろうそくの炎

5000 K

晴天の太陽

15000 K

青空

朝日、夕日

晴天の木陰

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは **濃い** に、薄くしたいときは **薄い** に設定します。

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは **ハード** に、ソフトにしたいときは **ソフト** に設定します。

ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは **ハード** に、軟らかくしたいときは **ソフト** に設定します。

シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは **ハード** に、軟らかくしたいときは **ソフト** に設定します。

NR ノイズリダクション

高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは **強** に、画像の輪郭を残したいときは **弱** に設定します。

超解像ズーム

2.0× にすると、画像を2倍に拡大して撮影します。デジタル超解像処理によって、シャープで解像感のある画像を撮影できます。

- ❗ 超解像ズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化する場合があります。
- ❗ モード変更により、超解像ズームが解除される場合があります。
- ❗ 連写や動画撮影では、超解像ズームは使用できません。

インテリジェントブレ防止

ON にすると、撮影モードが **SR⁺**（アドバンスドSRオート）のときにインテリジェントブレ防止が有効になります。 が表示されたときは自動的に連写し、1枚の画像に合成します。撮影時の手ブレを抑え、高感度でもノイズの少ない写真を撮影できます。

 インテリジェントブレ防止は、フラッシュの設定がオートまたは発光禁止のときに有効になります。

カスタム選択

カスタム登録/編集 で保存した設定を呼び出せます。

関連項目

- ➡ [カスタム登録/編集](#)（撮影メニュー）：147ページ

カスタム登録/編集

撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます。

1. 撮影メニューから **カスタム登録/編集** を選びます。
2. 設定を保存したい場所を **カスタム1~7** から選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



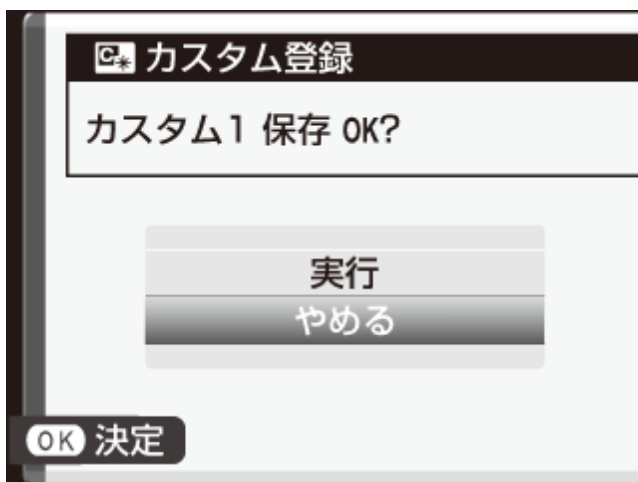
3. カスタムに保存できる項目は次のとおりです。個別に設定を変更することが可能です。

- | | |
|----------------|-------------|
| ■ 感度 | ■ シャープネス |
| ■ ダイナミックレンジ | ■ ハイライトトーン |
| ■ フィルムシミュレーション | ■ シャドウトーン |
| ■ ホワイトバランス | ■ ノイズリダクション |
| ■ カラー | |



 **現在の設定を反映** を選択して **MENU/OK** ボタンを押すと、現在の設定が **カスタム1~7** に上書きされます。

4. **DISP/BACK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。**実行** を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、設定が保存されます。



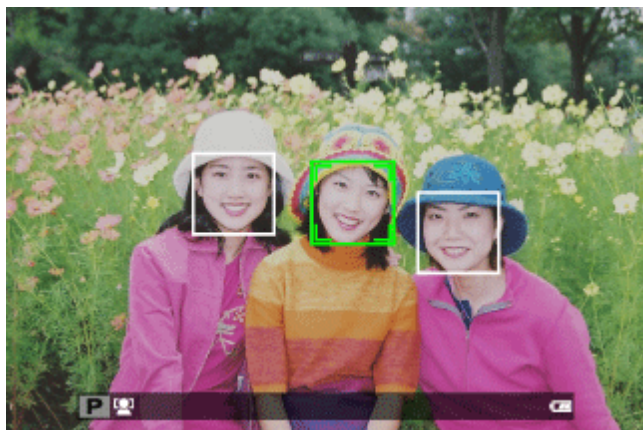
✎ 保存した設定は、撮影メニューの **カスタム選択** で呼び出せます。

関連項目

➡ [カスタム選択](#)（撮影メニュー）：146ページ

顔キレイナビ

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

 縦位置撮影時も顔を検出できます。

- ❗ 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- ❗ 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

 **（マルチ）** 被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、（マルチ）をおすすめします。

 **（スポット）** 画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときに使用します。

 **オートフォーカス設定 > AFモード が エリア選択 で 測光&フォーカス エリア連動 が ON のときは、フォーカスエリアの位置に連動して測光します。測光&フォーカスエリア連動 が OFF のときは画面中央部で測光します。**

 **（アベレージ）** 画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

測光&フォーカスエリア連動

ON にすると、**測光** が **スポット** で **オートフォーカス設定** > **AFモード** が **エリア選択** のときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

関連項目

- ➡ [測光](#)（撮影メニュー）：150ページ
- ➡ [オートフォーカス設定](#)（撮影メニュー）：124ページ

MFアシスト

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します。

スタンダード 通常表示です（ピーキング機能を使用しません）。

フォーカスピーキング コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

コントロールリング設定

コントロールリングに割り当てる機能を設定できます。設定できる機能は以下のとおりです。

	P	S	A	M			Filter	Adv.	SP1 / SP2	
スタンダード	プログラムシフト	シャッタースピード設定	絞り設定	絞り設定/シャッタースピード設定 (*1)	フィルムシミュレーション	フィルムシミュレーション	アドバンストフィルター選択	アドバンストモード選択	シーンポジション選択	フィルムシミュレーション
感度	✓	✓	✓	✓	—	—	—	✓ (*2)	—	—
ホワイトバランス	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	—
フィルムシミュレーション	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—	—
連写	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—	—	✓ (*3)	—

*1 コントロールリング設定ボタンを押すと、絞り設定/シャッタースピード設定が切り換わります。

*2  (多重露出) のみ。

*3  (花火) を除く。

 フォーカスモード切り換えレバーが **M** (マニュアルフォーカス) の位置のときは、割り当てられている設定にかかわらず、手動でピント合わせをする機能 (MF) になります。ただし、、 以外の **Adv.**、**SP** の  のときは、**M** 時も割り当てられた機能で動作します。

⚡ フラッシュ設定

フラッシュのモードや発光量を変更できます。

- ⬇ フラッシュモード
- ⬇ フラッシュ調光補正

フラッシュモード

使用するフラッシュのモードを選べます。

✎ 各撮影モードで利用できるフラッシュモードは「各撮影モードで利用できる機能について」でご確認ください。

AUTO（オート） ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。

⚡（強制発光） 周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときなどに使います。

⚡ SLOW（スローシンクロ） 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。

⚡ c（コマンダー） スレーブ対応の外部フラッシュを同調させます。

🚫（発光禁止） フラッシュは発光しません。被写体が暗いときでも、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

✎ フラッシュを閉じてても発光禁止になります。

関連項目

- ➡ [各撮影モードで利用できる機能について](#)（付録）：254ページ

フラッシュ調光補正

撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。

✎ 被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。

動画設定

動画撮影に関する設定を行います。

- ⬇ 動画モード
- ⬇ 動画感度
- ⬇ 動画中静止画撮影
- ⬇ マイクレベル設定
- ⬇ マイク/リモートリリース設定

動画モード

撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定	説明
 1920 × 1080 (60fps)	フレームレートが60fps のフルハイビジョン動画
 1280 × 720 (60fps)	フレームレートが60fps のハイビジョン動画
 640 × 640 (30fps)	標準動画
 640 × 640 (80fps)	ハイスピード動画 • 音声は記録されません。 • 撮影中にピンとや露出、ズーム、ホワイトバランスは自動調整されません。 •  320 × 112 (250fps) を選んだときは、上下に黒い帯が表示されます。
 320 × 240 (150fps)	
 320 × 112 (250fps)	

動画感度

撮影する動画の感度を変更できます。

 設定した感度は静止画撮影には反映されません。

動画中静止画撮影

動画撮影中に静止画を撮影できます。撮影方法を2つの設定から選べます。

動画優先 動画は、静止画を撮影している間も途切れることなく記録されます。静止画の画像サイズは、**動画モード** で設定されているサイズになります。

静止画優先 静止画を撮影している間は、動画は記録されません。静止画の画像サイズは、撮影メニューの **画像サイズ** で設定されているサイズになります。

マイクレベル設定

マイクレベルを変更できます。

マイク/リモートリリース設定

マイク/リモートリリース端子に接続されたときの設定を変更できます。

ワイヤレス通信

無線LANを使ってスマートフォンと通信できます。

関連項目

- ➡ [無線LAN機能を使用する（通信と外部接続）](#) : 218ページ
- ➡ [FUJIFLIM無料アプリケーション（付録/リンク）](#) : 252ページ

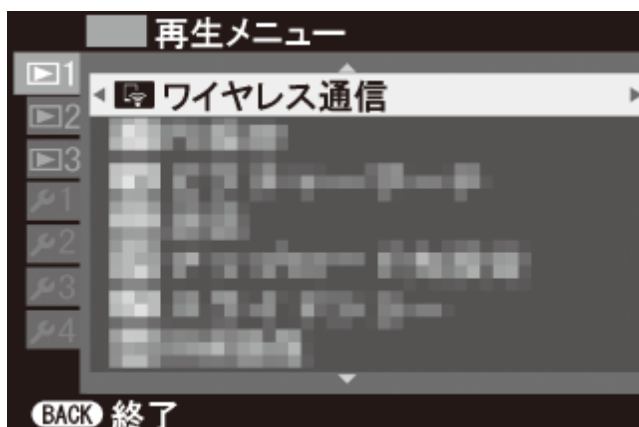
再生メニューの使い方

1.  ボタンを押します。

再生モードに切り換わります。

2. **MENU/OK** ボタンを押します。

再生メニューが表示されます。



3.  または  で変更する項目を選びます。

4.  で設定の変更に移ります。

5.  または  で設定を変更します。

6. **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

7. **DISP/BACK** ボタンを押して、再生画面に戻ります。

ワイヤレス通信

無線LANを使ってスマートフォンと通信できます。

関連項目

➡ [FUJIFLIM無料アプリケーション](#)（付録/リンク）：252ページ

PC保存

無線LANを使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。

関連項目

➡ [FUJIFLIM無料アプリケーション](#)（付録/リンク）：252ページ

ピクチャーサーチ

ピクチャーサーチで画像を検索できます。

1. 再生メニューから **ピクチャーサーチ** を選びます。

2. 検索条件を選びます。

日付で検索 指定した撮影日の画像を表示します。

顔で検索 指定した顔の情報の画像を表示します。

お気に入りで検索 指定したお気に入りランクの画像を表示します。

撮影シーンで検索 指定した撮影シーンを選んで画像を表示します。

画像タイプで検索 静止画/動画/RAWのタイプ別に表示します。

アップロード先で検索 アップロード先を選んで画像を表示します。

3. **MENU/OK** ボタンを押します。

4. 検索条件を絞り込みます。

絞り込む条件を選ぶと、条件に合った画像だけが表示されます。

 サーチ画面を表示した状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。

- 消去
- プロテクト
- スライドショー

消去

- ⬇ 1コマ消去
- ⬇ 複数指定消去
- ⬇ 全コマ消去

1コマ消去

画像を1コマだけ消去します。

1. 再生メニューの **消去** から **1コマ** を選びます。
2. 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

✎ **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようご注意ください。

✎ **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。



✎ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❗ が表示されます。

1. 再生メニューの **消去** から **複数指定** を選びます。
2. 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は ☑ が表示されます。
 - もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。
3. まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。
4. **実行** を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

1. 再生メニューの **消去** から **全コマ** を選びます。
2. **実行** を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

- ✎ メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。
- ✎ **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- ✎ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

アップロード先設定

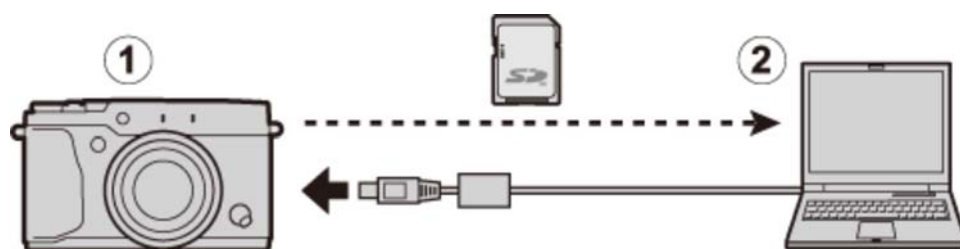
画像や動画を選んでYouTubeやFacebook、mixiへのアップロード先を設定できます。

1. 再生メニューから **アップロード先設定** を選びます。
2. アップロード先を選び、**MENU / OK** ボタンを押します。
3. ◀ または ▶ でアップロード予約する画像または解除する画像を選びます。
 - アップロード予約されていない画像を選んで **MENU / OK** を押すと、予約を設定します。
 - アップロード予約されている画像を選んで **MENU / OK** を押すと、予約を解除します。
4. 手順3を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。
設定を終了するには、**DISP / BACK** を押します。

- ✂ **全コマ解除** を選ぶと、まとめてアップロード先設定を解除できます。画像の数が多いと、全コマ解除に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**DISP / BACK** を押してください。
- ✂ アップロード予約されたファイルは、再生時に**YouTube**、**Facebook**、**mixi** と表示されます。
- ✂ アップロード先がYouTubeの場合、動画のみアップロードできます。
- ✂ アップロード先がmixiの場合、静止画のみアップロードできます。

Webにアップロードするには（Windowsのみ）

カメラで予約した画像はMyFinePix Studioを使ってパソコンから簡単にアップロードできます。カメラとパソコンを接続する前にMyFinePix Studioをインストールしてください。



- ① カメラで予約
- ② パソコンからアップロード

関連項目

- ➡ [My FinePix Studio（ビューアソフト）](#)（付録/リンク）：252ページ

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。**MENU/OK** ボタンでスライドショーを開始/終了します。スライドショーの再生中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、スライドショー終了のガイダンスが表示されます。マルチ以外では、◀ または ▶ でコマ送り再生できます。

ノーマル  / ノーマル 1コマずつ再生

フェード  / フェード 1コマずつフェードアウトしながら再生

マルチ 複数コマを一度に再生

  は、検出した顔を拡大表示して再生します。

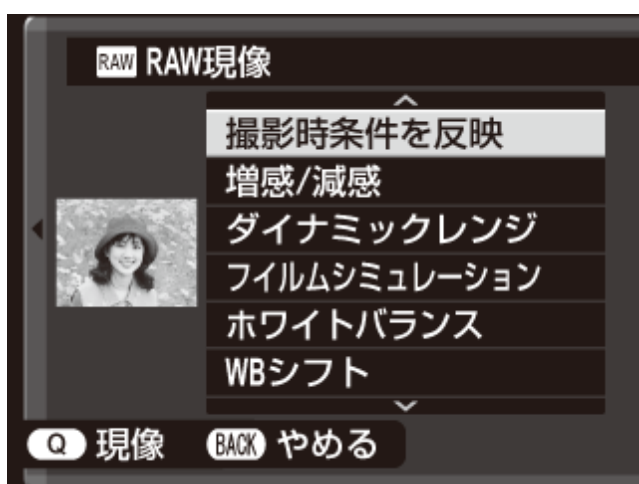
 スライドショー中は、自動電源OFFになりません。

RAW 現像

撮影したRAWファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えてJPEGファイルとして保存（現像）できます。

1. 再生画面でRAW画像を選びます。
2. 再生メニューから **RAW現像** を選びます。
3. **MENU/OK** ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



4. ▲▼ で変更する項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。

撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
増感/減感	画像の明るさを-1 EV から+1 EVまで1/3EVステップきざみで調整できます。
ダイナミックレンジ	画像のダイナミックレンジを変更できます。
フィルムシミュレーション	画像の発色や階調を変更できます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WBシフト	ホワイトバランスを調整します。
カラー	画像の色の濃さを変更できます。
シャープネス	画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。

✎ 撮影時の設定によっては、選択できない設定があります。

✎ RAW画像の再生時に **Q** ボタンを押すと、RAW現像画面を表示できます。

5. ▲▼◀▶ で設定を変更し、MENU/OK ボタンを押します。

手順3の画面に戻ります。手順5までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

6. **Q** ボタンを押します。

保存するJPEGファイルのプレビューが表示されます。

7. MENU/OK ボタンを押します。

JPEG画像が保存されます。

赤目補正

人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1. 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。
2. 再生メニューから **赤目補正** を選びます。
3. **MENU/OK** ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- ✎ 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかつたり、補正した結果に差が生じることがあります。
- ✎ 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- ✎ 赤目補正済みの（ が表示されている）画像は、それ以上赤目補正できません。
- ✎ 他のカメラで撮影した画像やRAWファイルの画像は、赤目補正できません。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1. 再生メニューから**プロテクト** を選びます。

2. プロテクトの方法を選びます。

設定 / 解除 プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる画像はプロテクト設定が解除されます。

 手順3のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定/解除する画像を選べます。

全コマ設定 すべての画像がプロテクトされます。

全コマ解除 すべての画像のプロテクト設定を解除します。

3. **MENU / OK** ボタンを押して、プロテクトを設定/解除します。

4. **DISP / BACK** ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1. 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
2. 再生メニューから **トリミング** を選びます。
3. コントロールリングと     で切り抜きたい部分を調整します。
4. **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
5. **MENU/OK** ボタンを押して、トリミングします。

- ✎ 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- ✎ トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行** が黄色で表示されます。
- ✎ トリミングした画像の縦横比は、4 : 3になります。

顔キレイナビで撮影した画像について

顔キレイナビで撮影した画像（が表示された画像）を選んで、 ボタンを押すと、ピントの合った顔の部分が拡大表示されます。主被写体を切り抜きたいときに便利です。



リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1. 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
2. 再生メニューから **リサイズ** を選びます。
3. 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
4. **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

画像回転

画像を回転できます。

1. 再生画面で回転したい画像を選びます。
2. 再生メニューから **画像回転** を選びます。
3. セレクターボタンの ▼（時計回りに90°回転）または ▲（反時計回りに90°回転）で画像を回転します。
4. **MENU/OK** ボタンを押して、回転を決定します。

- ✎ プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- ✎ 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
- ✎ セットアップメニューの **表示設定 > 縦横自動回転再生** を **ON** にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

画像コピー

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。

1. 再生メニューから **画像コピー** を選びます。

2. コピーの方法を選びます。

 **カメラ** ➡  **カード** 内蔵メモリーからメモリーカードにコピー

 **カード** ➡  **カメラ** メモリーカードから内蔵メモリーにコピー

3. **MENU/OK** ボタンを押します。

4. **1コマ** または **全コマ** を選びます。

1コマ 表示中の画像をコピー

全コマ すべての画像をコピー

 **1コマ** を選んだときは、手順5のあとに ◀ または ▶ で、続けてコピーする画像を選べます。

5. **MENU/OK** ボタンを押して、コピーを開始します。

- ❗ コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
- ❗ **プリント予約 (DPOF)** していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

フォトブックアシスト

フォトブックアシストでフォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1. 再生メニューから **フォトブックアシスト** を選びます。

2. 新規BOOKを選び、**MENU/OK** を押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3. フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。

全画像から選択 保存されているすべての画像から1枚ずつ選択できます。

サーチして選択 指定した条件で検索した画像から選択できます。

 **640** 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

4. 画像を選択します。

- ▲ で、表示されている画像を選択または選択解除します。
- ▼ で、表示されている画像を表紙にします。

 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

5. 画像の選択が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。

6. **作成終了** を選びます。

 **全て選択** を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

7. **MENU/OK** ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

- ❗ フォトブックで選択できる画像は300枚までです。
- ❗ 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。



作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、付属のソフトウェア MyFinePix Studioでも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭でカンタンに注文することができます。

関連項目

- ➡ [My FinePix Studio（ビューアソフト）](#)（付録/リンク）：252ページ
- ➡ [プリントサービス](http://fujifilm.jp/personal/print/index.html)（<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>）

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集/削除する

1. 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** を押します。

2. 編集または削除を選びます。

編集 フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。

削除 表示されているフォトブックを削除できます。

3. 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集/削除します。

プリント予約 (DPOF)

あらかじめDPOF指定（プリント予約）しておくと、カメラをPictBridge対応プリンターに直接つないでプリントしたり、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

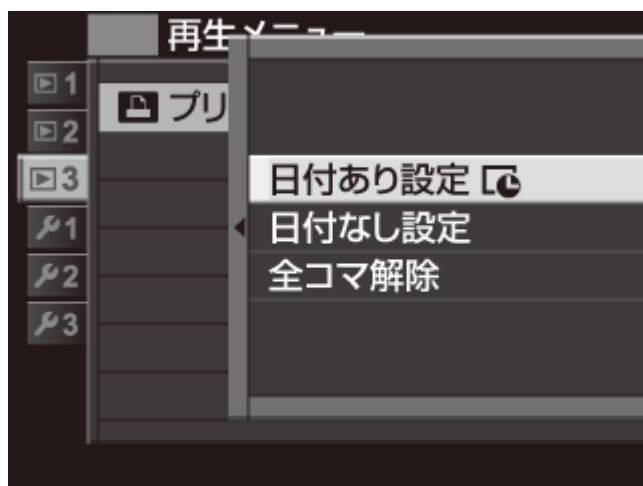
DPOF指定

DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。



日付あり設定/日付なし設定

1. 再生メニューの **プリント予約 (DPOF)** から **日付あり設定** または **日付なし設定** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



日付あり設定 撮影日を印字します。

日付なし設定 撮影日を印字しません。

2. ◀ または ▶ で、DPOF指定する画像を選びます。

3. ▲ または ▼ で、プリント枚数を選びます（最大99枚）。

✎ DPOF指定を取り消したいときは、プリント枚数が0になるまで ▼ を押します。



4. プリントしたいすべての画像に対して手順2と3を行います。

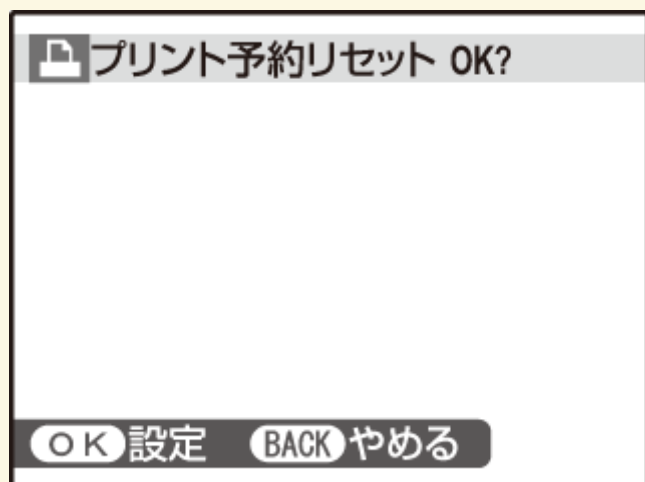
設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを、設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

5. 合計枚数を確認して、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

DPOF指定（プリント予約）した画像には、再生時に  が表示されます。

✎ 同じメモリーカードで最大999枚までDPOF指定することができます。

✎ 別のカメラでDPOF指定された画像がメモリーカードに入っているときは、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されているDPOF指定を取り消し、DPOF指定し直してください。

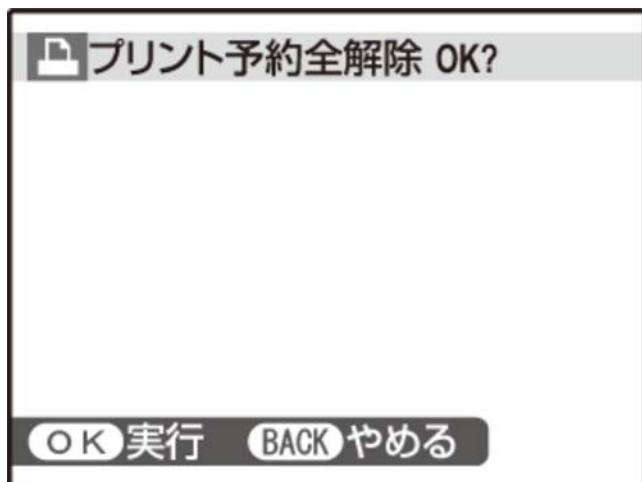


✎ 日付あり/日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

全コマ解除

現在設定されているDPOF指定（プリント予約）を一度に解除できます。

全コマ解除 を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF指定がすべて解除されます。



instaxプリンタープリント

別売のFUJIFILM instax SHAREで画像を印刷できます。詳しくは、FUJIFILM instax SHAREの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ➡ 画像をプリントする（instax SHAREプリンターでデジタルカメラの画像をプリントする）：180ページ

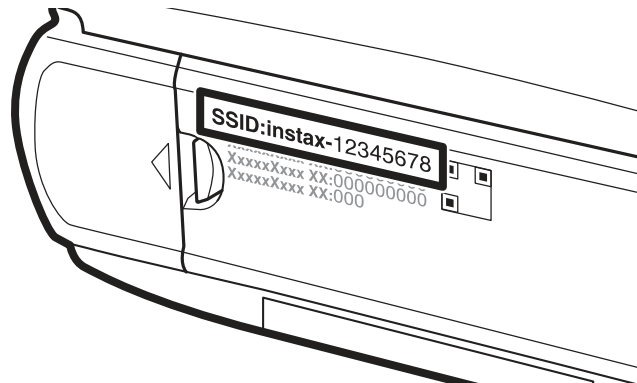
instax SHARE プリンターでデジタルカメラの画像をプリントする

プリンターとの接続を設定する

カメラのセットアップメニューから  **instax プリンター接続設定** を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

● プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。既にスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。



2 カメラの再生メニューから **instax プリンタープリント** を選ぶと、カメラとプリンターの接続が始まります。



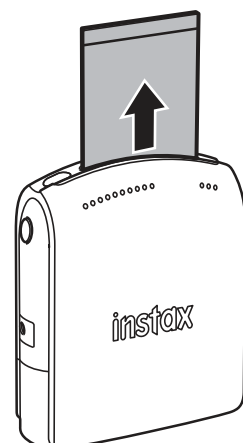
◆ 連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

3 カメラのセレクトボタンでプリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



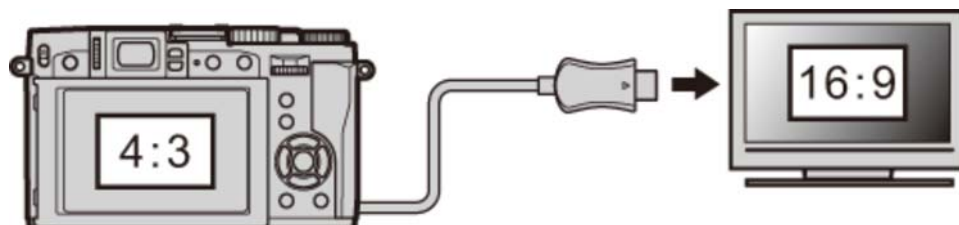
- ◆ 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- ◆ 画像サイズが 4:3 以外の場合は、プリントされる範囲が狭くなります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが始まります。



表示比率

4 : 3で撮影された静止画をHD出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMIケーブルでカメラとHD出力テレビを接続したときに有効です。



16 : 9



4 : 3



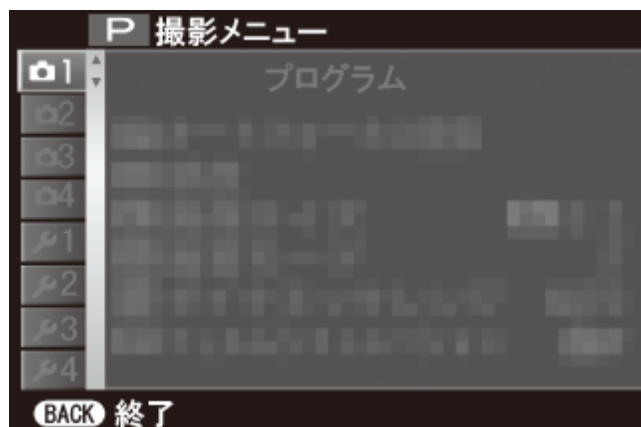
 16 : 9で撮影された画像は16 : 9に設定してください。3 : 2や1 : 1で撮影された画像は左右に黒い枠が表示されます。

セットアップメニューの使い方

1. **MENU/OK** ボタンを押します。

メニューが表示されます。

2. ◀ でタブ選択に移ります。

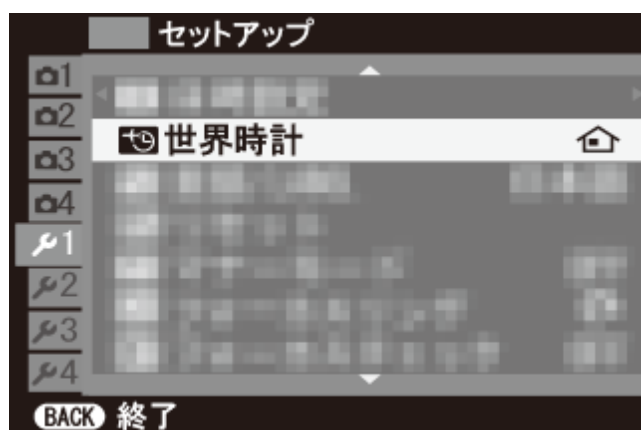


3. ▼ でセットアップタブに移ります。

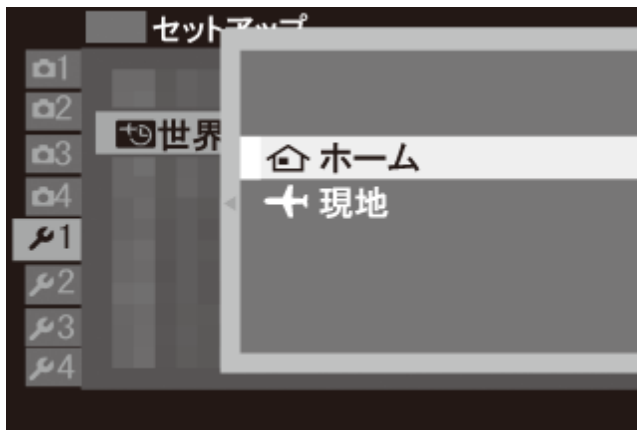


4. ▶ でセットアップタブ画面を表示します。

5. ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



6.  で設定の変更に移ります。



7.  または  で設定を変更します。

8. **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

9. **DISP/BACK** ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。

工場出荷時の設定値—セットアップメニュー

セットアップメニューの工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

✎ セットアップメニューの **リセット > セットアップリセット** を実行すると、工場出荷時の設定に戻せます。

マナーモード	OFF
コントロールリング	時計回り
フォーカスチェック	OFF
音設定	
操作音量	
シャッター音量	
シャッター音	サウンド1
再生音量	7
表示設定	
撮影画像表示	OFF
EVF縦横自動回転表示	ON
マニュアル時モニター露出反映	ON
モニター晴天モード	OFF
EVF明るさ	AUTO
EVF鮮やかさ	0
LCD明るさ	0
LCD鮮やかさ	0
モニター撮影効果反映	ON
フレーミングガイド	方眼9分割
縦横自動回転再生	ON

画面のカスタマイズ

- ☐ フレーミングガイド
- ☐ 電子水準器
- ☐ AF時の距離指標
- ☒ MF時の距離指標
- ☐ ヒストグラム
- ☒ 絞り/シャッター速度/ISO
- ☒ 露出補正バー
- ☒ 測光
- ☒ フラッシュ
- ☒ ホワイトバランス
- ☒ フィルム シミュレーション
- ☒ ダイナミックレンジ
- ☒ 撮影可能枚数
- ☒ 画像サイズ&画質モード
- ☒ 動画モード&録画時間
- ☒ バッテリー残量表示

ファンクション (Fn) 設定

Fn1	動画
Fn2	マクロ
Fn3	セルフタイマー
Fn4	フラッシュモード
Fn5	フォーカスエリア選択
Fn6	ワイヤレス通信

セレクターボタン設定

Fnボタン

クイックメニュー登録 / 編集

Q1	カスタム選択
Q2	感度
Q3	ダイナミックレンジ
Q4	ホワイトバランス
Q5	ノイズリダクション

Q6	画像サイズ
Q7	画質モード
Q8	フィルム シミュレーション
Q9	ハイライトトーン
Q10	シャドウトーン
Q11	カラー
Q12	シャープネス
Q13	測光
Q14	AFモード
Q15	顔キレイナビ
Q16	EVF / LCD明るさ
消費電力設定	
自動電源OFF	2分
クイック起動	OFF
パフォーマンス	節電
ブレ防止モード	常時+動き認識
赤目補正	ON
AE / AF-LOCK設定	AE / AF-LOCK押下中のみ
AE / AF-LOCK機能選択	AE LOCKのみ
保存設定	
コマNO.	連番
処理前画像記録	すべてOFF
日付書き込み	OFF
距離指標の単位	メートル
ワイヤレス設定	
スマートフォン送信時  圧縮	ON
位置情報設定	
位置情報記録	ON

位置情報表示	ON
ファイル名編集	DSCF

日時設定

日付と時刻を設定します。

1. セットアップメニューから **日時設定** を選びます。
2. ▲▼ で年月日の並び順を設定します。



3. 年、月、日、時、分を設定します。

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。



4. **MENU/OK** ボタンを押します。

日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

ホーム 日時設定で設定した地域の日時を表示

現地 旅行先の日時を表示

現地時間の設定

1. 現地 を選び、**MENU / OK** ボタンを押します。

2. 時差を設定します。

  で設定する項目（+/-、時間、分）を選び、  で設定を変更します。

 **現地** を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に  と日時が約3秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

画面に表示する言語を設定します。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1. セットアップメニューから **リセット** を選びます。
2. リセットするメニュー（**撮影メニューリセット** または **セットアップリセット**）を選び  を押すと、確認画面が表示されます。
3. **実行** を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

-  撮影メニューリセットでは、**カスタム登録/編集の内容**、**ホワイトバランス** の **カスタム** の内容、**ワイヤレス通信** の内容以外がリセットされます。
-  セットアップリセットでは、**日時設定**、**世界時計**、**ワイヤレス設定** の **共通設定** と **PC保存設定** 以外がリセットされます。

マナーモード

ON にすると、フラッシュやAF補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

 マナーモードに設定すると、画面に  が表示されます。

コントロールリング

マニュアルフォーカス（MF）時のコントロールリングの回転方向を変更できます。

MF フォーカスチェック

マニュアルフォーカスでコントロールリングを回したとき、画面全体を拡大表示してピントを合わせやすくします。

音設定

音に関する設定を変更できます。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。音を消したいときは、 OFF を選びます。

シャッター音量

シャッターをきるときの音量を設定します。音を消したいときは、 OFF を選びます。

シャッター音

シャッターをきるときの音を設定します。

再生音量

再生時の音量を設定します。

表示設定

画面表示に関する設定を変更できます。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

1.5秒 / 0.5秒 撮影した画像を一定時間表示

画像拡大チェック **MENU / OK** ボタンを押すまで画像を拡大して表示

-  画像の拡大表示中に  を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。
-  ピントが合っているか確認したいときに便利です。
-  顔キレイナビを **ON** にしているときは、認識した顔を拡大します。複数の顔を認識したときは、 で次の顔を拡大します。

OFF 表示なし

 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。

EVF縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラを縦向きにすると、ファインダー（EVF）の表示が縦向きになります。

❗ 液晶モニター（LCD）の表示は、縦向きにはなりません。

マニュアル時モニター露出反映

ON にすると、マニュアル（M）撮影で露出を反映した画像が画面に表示されます。

✎ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**OFF** にしてください。

モニター晴天モード

ON にすると、晴天の野外など、光の反射や映り込みが多く液晶画面が見にくい時に画面が見やすくなります。

✎ **VIEW MODE** ボタンを長押ししてもモニター晴天モードを設定できます。

EVF明るさ

EVF（ファインダー）の明るさを調整できます。**AUTO** にすると、カメラが自動的に適切な明るさを調整します。

EVF鮮やかさ

EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

LCD明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

LCD鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

モニター撮影効果反映

ON フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。

OFF 撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。

 **OFF** では表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。

フレーミングガイド

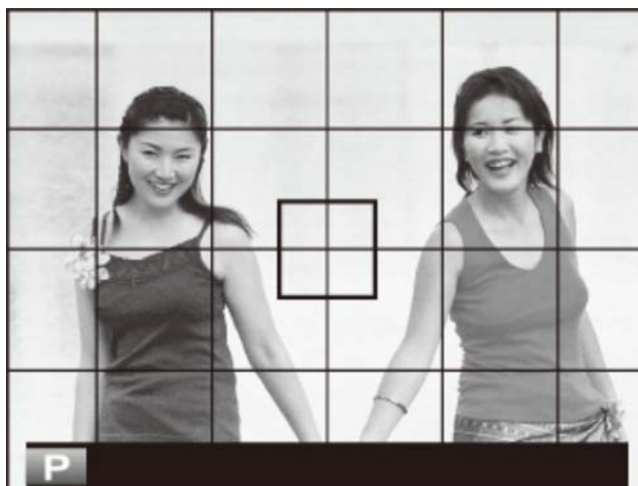
撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

方眼9分割



縦横にガイド線が表示されます（9コマ）。

方眼24分割



縦横にガイド線が表示されます（24コマ）。

HDフレーミング



画面が16 : 9になるようなガイド線が表示され、HD画像の構図が決めやすくなります。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

画面のカスタマイズ

INFO画面で、画面に表示したい項目を設定できます。表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

 画面に表示する項目は、☒ が表示されます。☒ が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

関連項目

 [スタンダードの画面カスタマイズについて : 16ページ](#)

ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

1. セットアップメニューから **ファンクション (Fn) 設定** を選びます。
2.   で設定を変更するファンクションボタン (**Fn1** ~ **Fn6**) を選び、**MENU / OK** ボタンを押します。

ボタンの割り当て設定画面が表示されます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- | | |
|----------------|--------------|
| ■ マクロ | ■ フラッシュモード |
| ■ 感度 | ■ フラッシュ調光補正 |
| ■ セルフタイマー | ■ カスタム選択 |
| ■ 画像サイズ | ■ 動画 |
| ■ 画質モード | ■ 顔キレイナビ |
| ■ ダイナミックレンジ | ■ 超解像ズーム |
| ■ フィルムシミュレーション | ■ モニター撮影効果反映 |
| ■ ホワイトバランス | ■ パフォーマンス |
| ■ 測光 | ■ RAW |
| ■ AFモード | ■ ワイヤレス通信 |
| ■ フォーカスエリア選択 | ■ なし |

 **なし** を選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

3. 割り当てる機能を選び、**MENU / OK** ボタンを押します。

ファンクションボタンに機能が割り当てられます。

関連項目

- ➡ [機能の割り当てを変更する \(Fn \(ファンクション\) ボタン\) : 83ページ](#)

セレクトターボタン設定

セレクトターボタン（）の機能を変更できます。

Fnボタン セレクトターボタンは、ファンクションボタンとして機能します。

フォーカスエリア フォーカスエリアの位置を直接変更できます。

Q クイックメニュー登録/編集

クイックメニューに表示する機能を変更できます。

1. セットアップメニューから **クイックメニュー登録/編集** を選びます。

2. 設定を変更するクイックメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

メニューの割り当て設定画面が表示されます。割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|----------------|---------------|
| ■ カスタム選択 | ■ 顔キレイナビ |
| ■ 感度 | ■ 測光 |
| ■ ダイナミックレンジ | ■ AFモード |
| ■ ホワイトバランス | ■ フラッシュモード |
| ■ ノイズリダクション | ■ フラッシュ調光補正 |
| ■ 画像サイズ | ■ ブレ防止モード |
| ■ 画質モード | ■ MFアシスト |
| ■ フィルムシミュレーション | ■ 動画モード |
| ■ ハイライトトーン | ■ 動画感度 |
| ■ シャドウトーン | ■ マイクレベル設定 |
| ■ カラー | ■ マナーモード |
| ■ シャープネス | ■ EVF/LCD明るさ |
| ■ セルフタイマー | ■ EVF/LCD鮮やかさ |

 **なし** を選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

3. 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。

消費電力設定

消費電力に関する設定を変更できます。

自動電源OFF

自動的に電源をオフにできます。

5分 / 2分 指定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。

OFF 自動的に電源がオフになりません。

 設定によっては、自動電源OFFの設定が無効になる場合があります。

クイック起動

電源をオンにしたとき通常より素早くカメラを起動できるよう、電源をオフにしてもスリープ状態で待機します。

- ❗ この設定を **ON** に設定している間は、カメラの電源をオフにしても少しずつ電池が消費されます。
- ❗ カメラを何も操作しないで約20分が経過すると、クイック起動の設定は解除されます。

パフォーマンス

カメラが優先する機能を設定します。

節電 消費電力を抑え、バッテリーを長持ちさせます。

ハイパフォーマンス ピント合わせが速くなり、液晶モニターが明るくなめらかになります。

 **節電** にすると、**ハイパフォーマンス** のときよりも早く液晶モニターが暗くなります。ボタンを操作すると、通常の明るさに戻ります。

ブレ防止モード

手ブレや被写体ブレを軽減します。

 **常時+動き認識** 常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。

 **常時** 常に手ブレ軽減を行います。

 **撮影時+動き認識** シャッターボタンの半押し時および撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。

 **撮影時** シャッターボタンの半押し時および撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。

OFF ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は **OFF** にすることをおすすめします。

❗ 感度を**100** ～ **12800** の固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、自動的に「赤目現象」を軽減します。

✎ 顔が検出できないときは、赤目補正されません。

✎ RAWファイルの画像は、赤目補正できません。

AE/AF LOCK設定

AEL / AFL ボタンを押したときの動作を設定します。

AE / AF-LOCK押下中のみ ボタンを押している間、AE/AFが固定されます。

押下切替 ボタンを押すとAE/AFが固定され、もう一度押すと解除されます。

AE/AF-LOCK機能選択

AEL / AFL ボタンを押したとき、露出（AE）とピント（AF）のどちらを固定するかを設定します。

AE LOCKのみ ボタンを押したとき、露出（AE）のみを固定します。

AF LOCKのみ ボタンを押したとき、ピント（AF）のみを固定します。

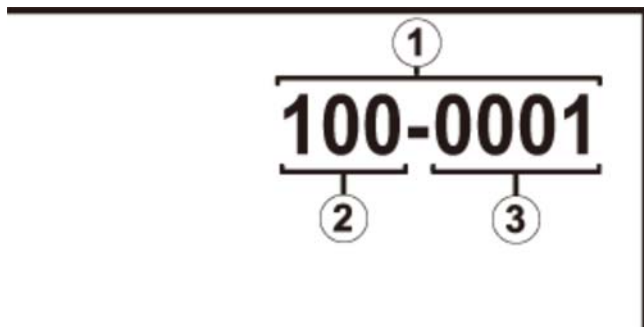
AE + AF LOCK ボタンを押したとき、露出（AE）とピント（AF）の両方を固定します。

保存設定

画像の保存に関する設定を変更できます。

コマNO.

コマNO. (フォルダNO.-ファイルNO.) の付け方を設定します。メモリーカードを交換したときのコマNO. の付け方を選びます。



① コマNO.

② フォルダNO.

③ ファイルNO.

連番 メモリーカード内の最大ファイルNO.に1を足したファイルNO.が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイルNO.とメモリーカード内の最大ファイルNO.のいずれか大きいほうの番号を付けます。

 ファイル名の重複を防げます。

新規 新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイルNO.が0001から付けられます。

 フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。

 コマNO.が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。

 **リセット** を行ってもコマNO.はリセットされません。

 他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なることがあります。

処理前画像記録

処理後の画像と処理前の画像を、両方とも保存します。**赤目補正**、**ぼかしコントロール**、**連写重ね撮り**、**ぐるっとパノラマ360**のそれぞれを **ON** または **OFF** に設定してください。

日付書き込み

撮影した日付と時刻を、画像に写し込むかどうかを設定します。

 +  撮影した日付と時刻を、画像に写し込みます。

 撮影した日付を、画像に写し込みます。

OFF 日付や時刻を写し込みません。

 画像に写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、**日付書き込み** を **OFF** にしてから撮影してください。

 日時設定が行われていない場合は、日時の設定画面が表示されます。日時の設定を行ってください。

 日付書き込みを行った場合は、**プリント予約 (DPOF)** の設定を日付なし設定にすることをおすすめします。

 動画、パノラマ写真、前後撮り連写画像に日時と時刻を写し込むことはできません。

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

ワイヤレス設定

無線LAN機能に関する設定を変更できます。

共通設定

名前 無線LAN通信で使用するカメラの名前を変更できます。

 工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。

設定初期化 無線LAN通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。

スマートフォン送信時 圧縮

スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。

ON 画像サイズを  に圧縮して送信します。**ON** でのご使用をおすすめします。

OFF 元画像のサイズのまま送信します。

 **ON** にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。

PC保存設定

保存先削除 設定されているPC保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。

前回接続情報 直前に接続したPC保存の保存先の情報が表示されます。

関連項目

 [FUJIFILM無料アプリケーション](#)（付録/リンク）：252ページ

PC保存先設定

PC保存の保存先を設定します。

簡単設定 無線LANルーターに簡単接続(WPS)で接続し、保存先（PC）を設定します。

手動設定 無線LANルーターにマニュアル操作で接続し、保存先（PC）を設定します。

関連項目

➡ [FUJIFILM無料アプリケーション（付録/リンク）](#) : 252ページ

位置情報設定

スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。

位置情報記録 スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録します。

位置情報表示 スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。

関連項目

➡ [FUJIFLIM無料アプリケーション](#)（付録/リンク）：252ページ

instaxプリンター接続設定

別売のFUJIFILM instax SHAREの プリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。詳しくは、FUJIFILM instax SHAREの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- ➡ プリンターとの接続を設定する（instax SHAREプリンターでデジタルカメラの画像をプリントする）：180ページ

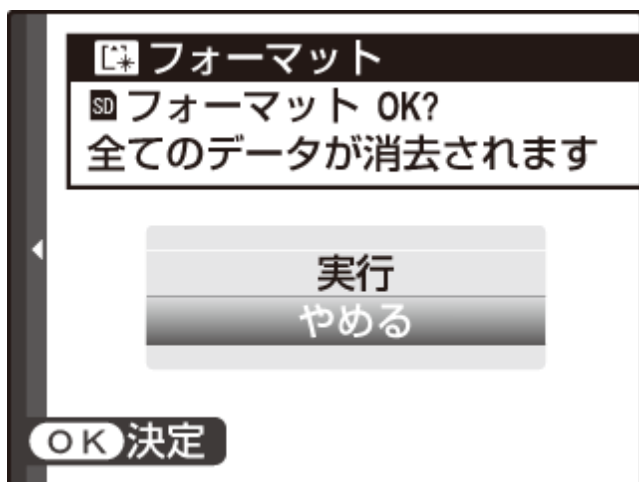
ファイル名編集

ファイル名を変更できます。変更するファイル名を入力してから **決定** を選んで **MENU / OK** ボタンを押します。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマット（初期化）します。メモリーカードが入っていないとき（ が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。

1. セットアップメニューから **フォーマット** を選びます。
2. **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



3.  で **実行** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

フォーマットが実行されます。

 確認画面で **やめる** を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

- ❗ プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- ❗ フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

無線LAN機能を使用する

無線LANを使って、カメラとスマートフォンやパソコンと通信が出来ます。無線LAN機能の使用方法とアプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。

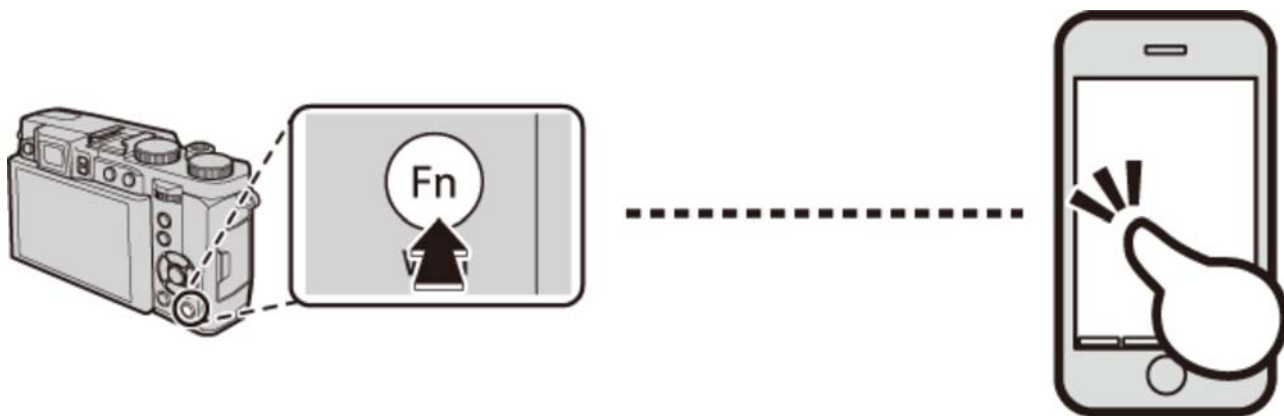
関連項目

➡ [FUJIFILM無料アプリケーション](#)（付録/リンク）：252ページ

スマートフォンと通信する

カメラの **Wi-Fi** ボタン（ファンクション6ボタン）を押すと、無線LANを使ってスマートフォンと通信できます。

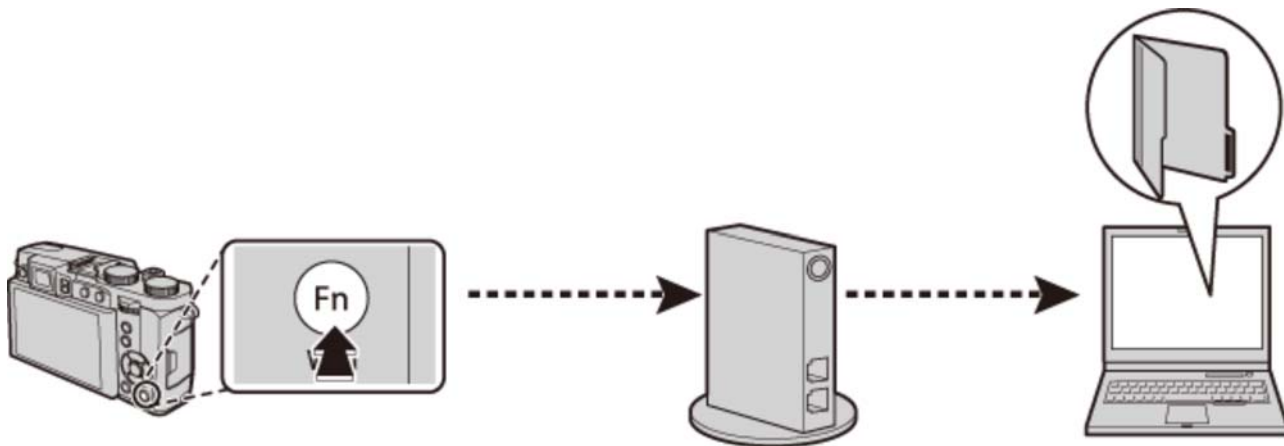
- ✎ 工場出荷値の設定では、ファンクション6ボタンには、**ワイヤレス通信** が割り当てられています。ファンクションボタンの割り当てについては、「機能の割り当てを変更する」をご覧ください。
- ✎ 撮影/再生メニューの **ワイヤレス通信** から通信できます。



- ✎ スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。
 - スマートフォンを操作して、カメラで撮影
 - カメラからスマートフォンに画像を送信
 - スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧/取り込み
 - スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信
- ✎ これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

パソコンに画像を保存する

再生モードでカメラのWi-Fiボタンを長押しすると、無線LANを使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめPCアプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。



✎ 再生メニューの **PC保存** から通信できます。

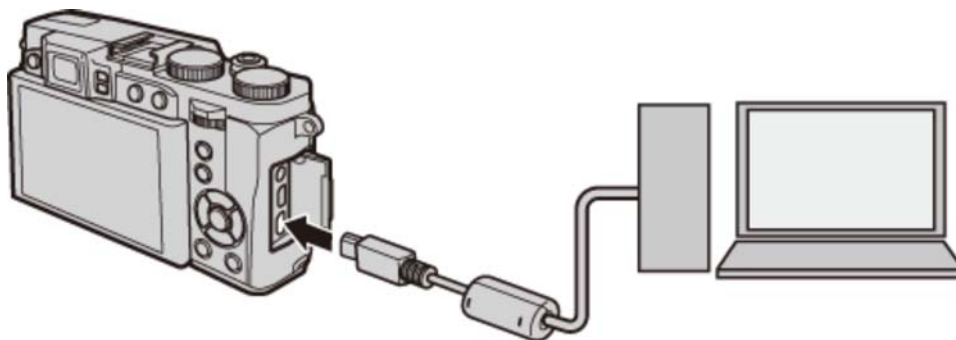
関連項目

- ➡ [機能の割り当てを変更する](#)（Fn（ファンクション）ボタン）：83ページ
- ➡ [ワイヤレス通信](#)（撮影メニュー）：157ページ
- ➡ [PC保存](#)（再生メニュー）：160ページ

カメラをパソコンに接続して画像を転送する

付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像をパソコンに転送できます。

1. パソコンを起動します。
2. カメラの電源をオフにします。
3. 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



❗ USBケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USBハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

4. カメラの電源をオンにします。
5. MyFinePix StudioやOS標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。



MyFinePix Studio（Windowsのみ）/RAW FILE CONVERTER

MyFinePix Studioを使ってもカメラと接続したパソコンに画像を転送できます。また、MyFinePix Studioを使うと画像の閲覧、管理、印刷などをパソコン上で行うことができます。RAW画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTERを使用します。

- ❗ 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- ❗ メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- ❗ カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯していることを確認してください。
- ❗ カメラとパソコンの通信時には、カメラの電源をオフにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
- ❗ メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ❗ ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- ❗ パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- ❗ インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

関連項目

- ➡ [My FinePix Studio（ビューアソフト）（付録/リンク）](#)：252ページ
- ➡ [RAW FILE CONVERTER（付録/リンク）](#)：252ページ

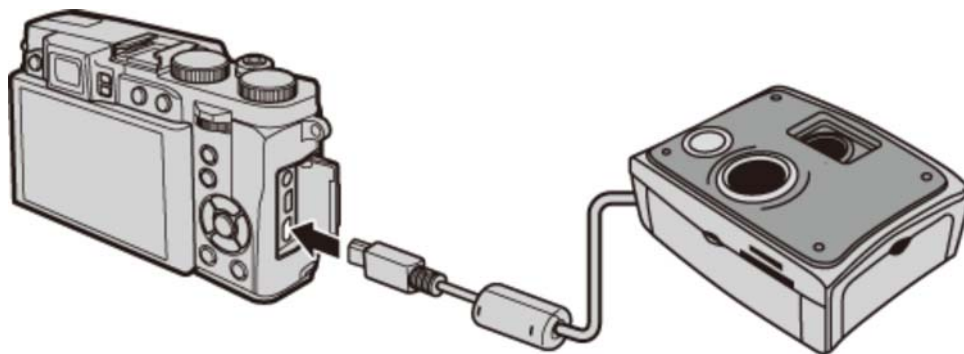
プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。



プリンターに接続する

1. 付属のUSBケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。



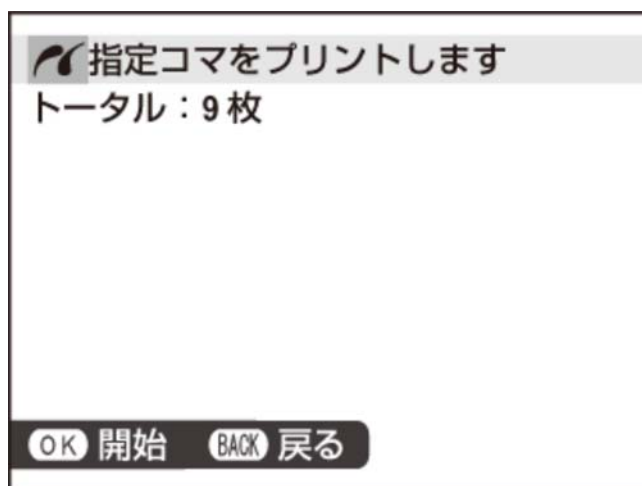
2. カメラの電源をオンにします。

液晶モニターにUSB接続画面が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。



その場で選んでプリントする

1. プリントしたい画像を選びます。
2. プリント枚数を指定します。
最大99枚まで設定できます。
3. 手順1と2を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。
4. **MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



5. もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

- ✎ プリント枚数を1枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押すと、表示中の画像が1枚プリントされます。
- ✎ お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順1または2で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント** を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

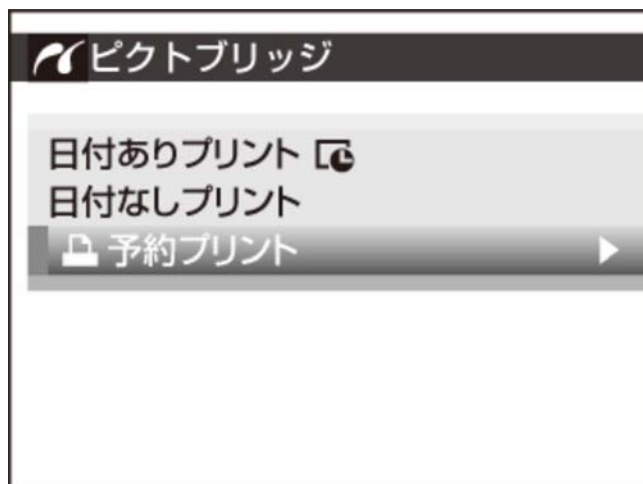
プリント予約した設定でプリントする

プリント予約（DPOF） であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

1. DISP/BACK ボタンを押します。

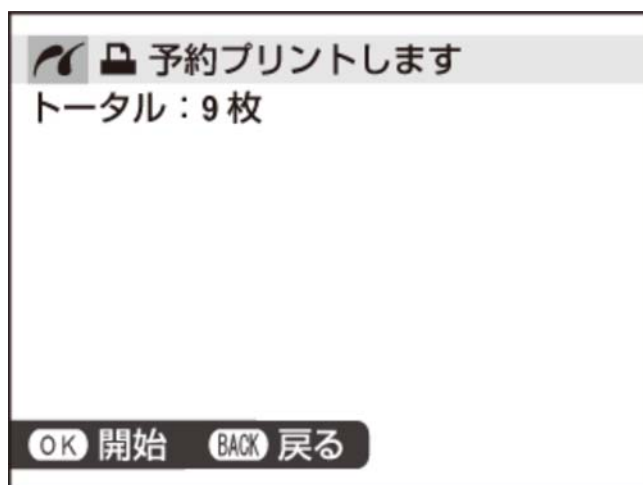
ピクトブリッジの設定画面が表示されます。

2. 予約プリント を選びます。



3. MENU/OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



4. もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

プリントが開始されます。

プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。



プリンターとの接続を切るには

カメラの液晶モニターに **プリント中** と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USBケーブルを取り外します。

-  このカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
-  カメラとプリンターをUSBケーブルで直接つないでいるときは、フチあり/フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

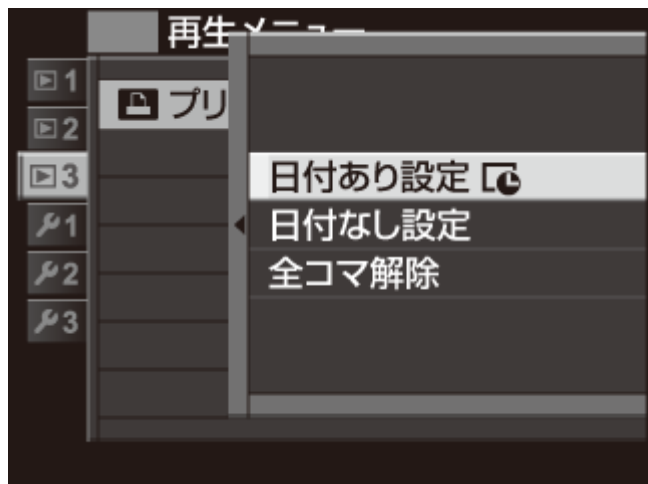
関連項目

-  [プリント予約 \(DPOF\) \(再生メニュー\)](#) : 176ページ

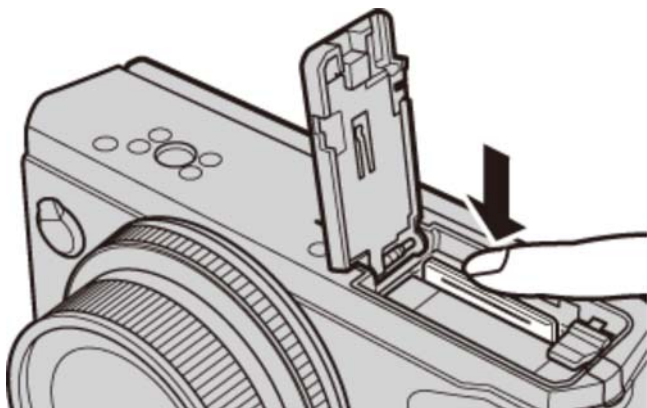
プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約（DPOF）**であらかじめDPOF指定した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

1. あらかじめ再生メニューの**プリント予約（DPOF）**でプリントする画像と枚数を設定します。



2. 画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。



3. メモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス店に持ちいただくと、手軽に高画質でプリントできます。





デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめDPOF指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください。
- パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください（「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。

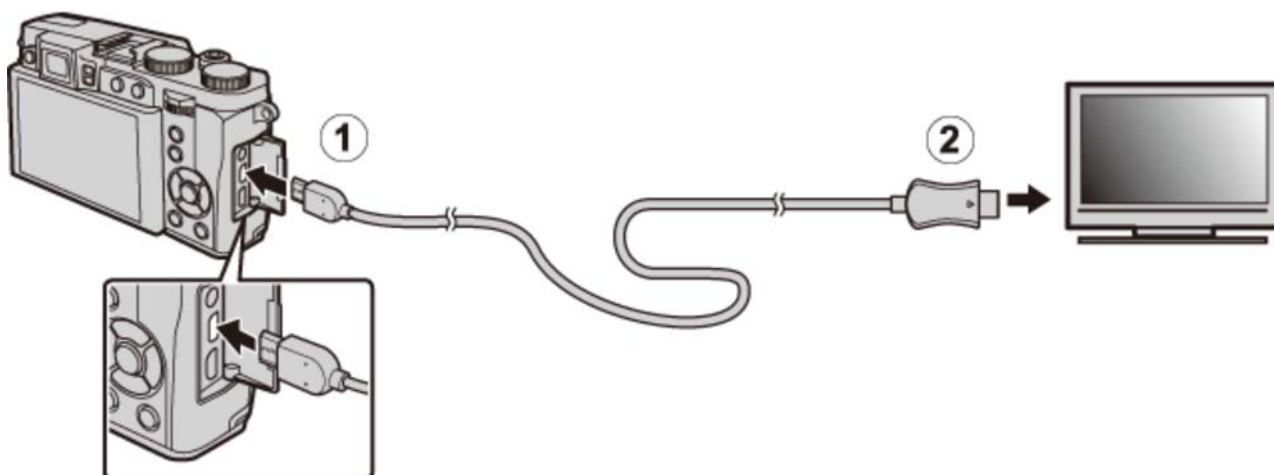
関連項目

- ➡ [プリント予約（DPOF）（再生メニュー）](#)：176ページ
- ➡ [プリントサービス](http://fujifilm.jp/personal/print/index.html)（<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>）
- ➡ [写真をプリントする](http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html)（<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>）

テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショーを大勢で楽しむことができます。

1. カメラの電源をオフにします。
2. 市販のHDMIケーブルでカメラとテレビを接続します。



- ① カメラのマイクロHDMI端子にHDMIケーブルを接続します。
- ② テレビのHDMI入力端子にHDMIケーブルを接続します。

- ❗ USBケーブルとHDMIケーブルは同時に接続できません。
- ❗ HDMIケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ❗ HDMIケーブルは、長さが1.5 m以内のものをご使用ください。
- ❗ HDMIケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- ❗ テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。

3. テレビの入力をHDMI入力に切り換えます。

テレビの音声/映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4. カメラの電源をオンにし、（再生）ボタンを押します。

カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。

- ✎ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

クリップオンフラッシュ



クリップオンフラッシュ EF-20



クリップオンフラッシュ EF-42



クリップオンフラッシュ
EF-X20

- EF-20** ガイドナンバー20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL自動調光機能を搭載。バウンス角度は上90°です。単三電池2本を使用します。
- EF-42** ガイドナンバー最大42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL自動調光機能、24～105 mm (35 mmフィルム換算) のオートズーム機能を搭載。バウンス角度は上90°、左180°、右120°です。単三電池4本を使用します。
- EF-X20** ガイドナンバー20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTLオートモード時に自動で最適な発光量に調整する、FUJIFILM独自のフラッシュ発光制御技術 (iフラッシュ) を搭載。高度な撮影を可能にするスレーブ機能搭載。単4形電池 (アルカリ電池/ニッケル水素電池) を2本使用します。

電池／バッテリー／充電器関連

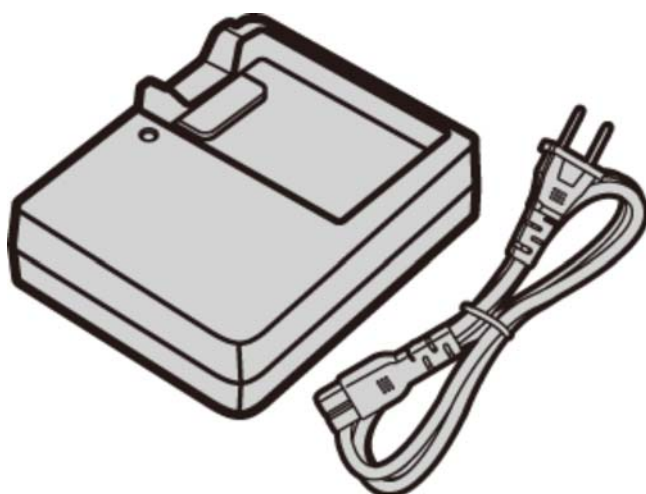
充電式バッテリー



充電式バッテリー NP-95

NP-95 リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。

バッテリーチャージャー



バッテリーチャージャー BC-65N

BC-65N 充電式バッテリーNP-95を充電します。充電時間は約4時間（+20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz対応）。

リモートリリース

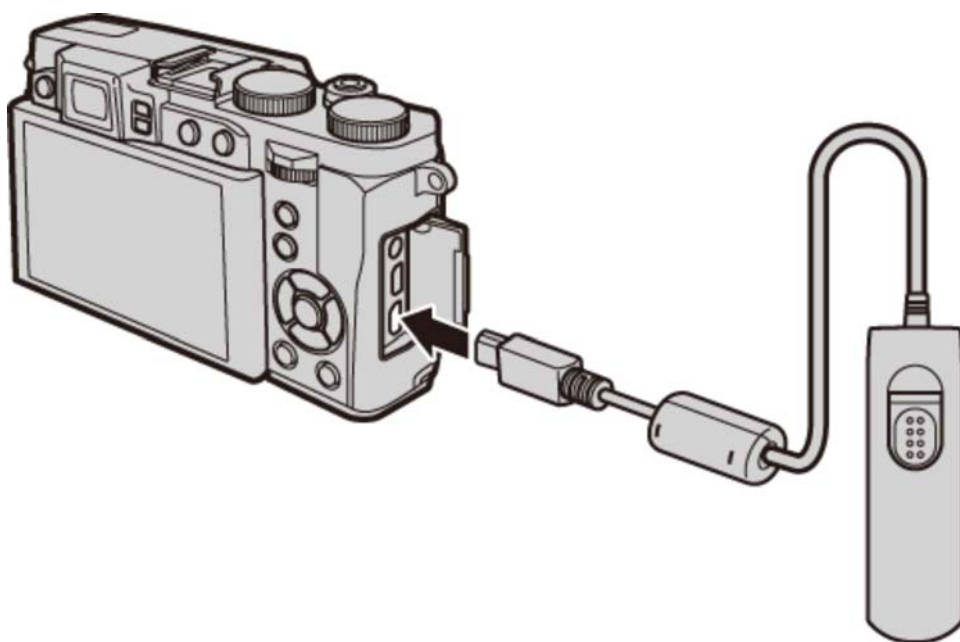


リモートリリース RR-90

RR-90 三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。

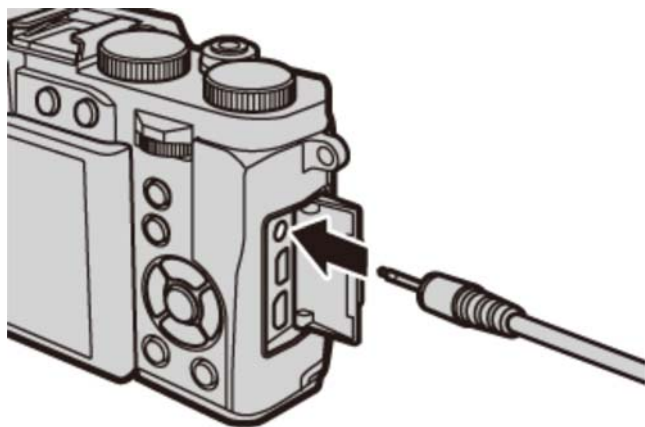
リモートリリースを使用する

別売のリモートリリース **RR-90** は、マイクロUSB 端子に取り付けます。

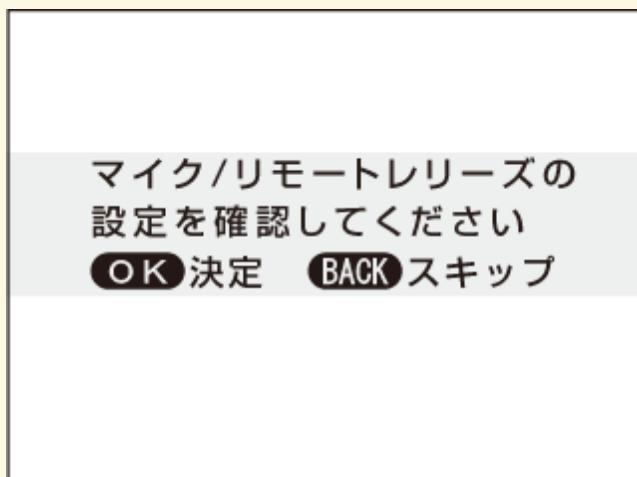


市販のリモートリリースを使用する

電子式の市販リモートリリース（φ2.5mm）は、マイク/リモートリリース端子に取り付けることができます。



- ✎ マイク/リモートリリース端子にリモートリリースを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定** を **リモートリリース** に設定してください。



ステレオマイク



ステレオマイク MIC-ST1

MIC-ST1 動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

その他

レンズフード

LH-X10 X30/X20/X10専用のアルミニウム製のレンズフードです。同素材のアダプターリングを同梱しています。アダプターリングは別売のプロテクトフィルターPRF-52 や市販のフィルター（φ 52 mm）を装着する時にも使用します。

レンズフード付プロテクトフィルター

LHF-X20B / LHF-X20S X30/X20/X10専用のレンズフード付きプロテクトフィルターです。専用のフードキャップが付属されています。

レザーケース

LC-X30 X30専用の本革製ケースです。カメラを装着したまま撮影可能な速写ケースタイプです。本革の高級感に加えて、実用性をもたせたケースです。同革素材のショルダーストラップを同梱しています。



お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください	
安全上のご注意	
このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。 ・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 ・お読みになったあとは大切に保管してください。	
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
	警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
⚠ 警告	
	電源プラグを抜く 異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。 煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ・お買上げ店にご相談ください。
	水ぬれ禁止 内部にやや異物を落とさない。 水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。 そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。 ・お買上げ店にご相談ください。
	風呂、シャワー室では使用しない。 火災・感電の原因になります。

	分解禁止 分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。 火災・感電の原因になります。
	接触禁止 落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。 感電したり、破損部でけがをする原因になります。 ・感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。
	接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。 コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
	移動中の使用はしない。 歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。 転倒、交通事故などの原因になります。
	雷が降りだしたら金属部分に触れない。 落雷すると誘電雷により感電の原因になります。
	指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。 電池は極性（ $\oplus$ $\ominus$ ）表示どおりに入れてください。
	電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。 電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。 リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。 電池・バッテリーをショートさせない。
	電池・バッテリーを金属部分と一緒に保管しない。 バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。 電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。
	指定外の電池・バッテリーやACパワーアダプターを使用しない。 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 火災の原因になります。

	電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。
	バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。 交換には同一のものだけを使用してください。
	可燃性・爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。
	電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にゼロハンテプなどの絶縁テープをはる。 他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。
	メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。 メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
	混雑した場所（満員電車の中など）では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る。 本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える可能性があります。
	自動制御機器（自動ドアや火災報知機など）の近くでは電源を切る。 本製品からの電波が自動制御機器に影響を与える可能性があります。誤動作による事故の原因になります。
	心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以上離すこと。 本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

お取り扱いにご注意ください

⚠ 注意	
	油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。 火災・感電の原因になることがあります。
	異常な高温になる場所に置かない。 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。 火災の原因になることがあります。
	小さいお子様の手の届くところに置かない。 けがの原因になることがあります。
	本製品の上に重いものを置かない。 バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。
	ACパワーアダプターを接続したまま移動しない。 ACパワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。 電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
	電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 火災・感電の原因になることがあります。
	本製品やACパワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
	お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。 火災・感電の原因になることがあります。
	充電終了後は充電器をコンセントから抜く。 コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。
	フラッシュを人の目に近づけて発光させない。 一時的に視力に影響することがあります。 特に乳幼児を撮影するときは気を付けてください。

	メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。 飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。
	定期的な内部点検・清掃を依頼する。 本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。 ・2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご相談ください。
	フラッシュ発光部に指などを触れたまま発光しないこと。 やけどの危険があります。
	フラッシュ発光部を汚したり、物でふさいだまま発光しないこと。 発煙や変色の原因になります。

電源についてのご注意	
※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。	
電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。	
■ 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種	
※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。 ※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。	
■ バッテリーの特性	
・バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。 ・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。 ・寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。	
■ 充電について	
・充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。 ・+10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。 ・充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。 ・充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。 ・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。	

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返し使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- ・充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- ・涼しいところで保存してください。
- ・周囲の温度が＋15℃～＋25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
- ・暑いところや極端に寒いところは避けてください。

① 危険ですので、次のことにご注意ください

- ❗ バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。
- ❗ 火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- ❗ 分解したり、改造したりしないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- ・水にぬらさないようご注意ください。
- ・端子は常にきれいにしておいてください。
- ・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

② 単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池使用機種

■ 取扱上のご注意

- ・火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- ・プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- ・水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- ・変形させたり、分解、改造をしないでください。

- ・外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- ・液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- ・高温、多湿の場所に保管しないでください。
- ・幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- ・カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- ・新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- ・使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待つてから行ってください。
- ・寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- ・電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔かい布で丁寧に清掃してください。
- ❗ 万一、液漏れが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。
- ❗ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診察を受けてください。

■ 単 3 形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- ・お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
- 「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電放電機能をお試しください。
- 「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
- ❗ 注意 アルカリ乾電池使用時は「充電放電」機能を使用しないでください。
- ・ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ・ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- ・充電器では、指定外の電池を充電しないでください。
- ・充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ・カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ・ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ・ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電放電」機能をご使用ください。
- ・ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性ががあります。

■ 電池の廃棄について

- ・電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

お取り扱いにご注意ください

③ 両機種（①、②）共通のご注意

■ 小形充電式電池のリサイクルについて

 小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。 <http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>

■ AC パワーアダプター使用機種

- 必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。
- 弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。
- ・室内専用です。
- ・DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- ・DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ・AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- ・使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがあります。故障ではありません。
- ・分解したりしないでください。危険です。
- ・高温多湿の場所では使用しないでください。
- ・落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・内部で発振音があることがありますが、異常ではありません。
- ・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをして、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得得であろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

- 液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。
- ・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られていますが、細かい点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- ・デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- ・~~xD~~、xD Picture Card ™、xD-Picture Card ™ は富士フイルム（株）の商標です。
- ・DynaFont ™ は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- ・Macintosh、Mac OS、QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・Windows 8、Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- ・Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- ・HDMI ロゴは商標です。
- ・mixi は株式会社ミクシィの登録商標です。
- ・YouTube は Google Inc. の登録商標です。
- ・その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- ・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- ・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- ・カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

- 次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。
- ・雨天・湿度、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
 - ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
 - ・極端に寒いところ
 - ・振動の激しいところ
 - ・油煙や湯気の当たるところ
 - ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
 - ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本製品の天敵です。このカメラは、水中で使用できる構造になっていません。ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などが本製品の内部に入らないようにご注意ください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。バッテリー挿入部、メモリーカードスロット、端子類のカバー（蓋）は、使用前に確実に閉まっていることをご確認ください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（カゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなつてからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード／内蔵メモリーについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- ・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- ・メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- ・指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- ・強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管は避けてください。
- ・静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- ・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ 内蔵メモリーについて

- ・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- ・修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- ・カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- ・パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- ・カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- ・パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- ・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- ・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

お取り扱いにご注意ください

重要！本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

① 本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときにご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お買い頂く国の法律を順守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ（画像）の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
- (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
- (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。



本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、干渉距離が約 40 mであることを意味しています。

トラブルシューティング/FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

症状	処置
ズームリング（電源スイッチ）を28-112に合わせても電源がオンになりません。	⚙ ズームリング（電源スイッチ）の位置を確認してください。 ズームリング（電源スイッチ）を、もう一度28-112の間に合わせてください。 ⚙ バッテリーが消耗していませんか？ 充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。 ⚙ バッテリーを正しい向きで入れていますか？ バッテリーを正しい方向で入れ直してください。 ⚙ バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？ バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。 ⚙ 電源をオフにしたあとすぐに電源をオンにしませんでしたか？ シャッターボタンを半押ししてください。
バッテリーの減りが早いです。	⚙ 非常に寒いところでカメラを使っていますか？ バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。 ⚙ バッテリーの端子が汚れていませんか？ バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ⚙ 消費電力設定のパフォーマンスがハイパフォーマンスになっていませんか？ バッテリーを長持ちさせたい場合は、消費電力設定のパフォーマンスを節電に設定して撮影してください。 ⚙ SR⁺に設定されていませんか？ 撮影モードを変更してください。 ⚙ AFモードを自動追尾に設定していませんか？ 自動追尾で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。 ⚙ フォーカスモードをC（コンティニュアスAF）に設定していませんか？ C（コンティニュアスAF）で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。

メニューなどの設定時

症状	処置
メニューが日本語以外で表示されています。	⚙ 言語 / LANG.が日本語以外の言語になっていませんか？ 言語設定を日本語にしてください。

撮影時

症状	処置
シャッターボタンを押しても撮影できません。	⚙ 撮影可能枚数が0になっていませんか？ 新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。 ⚙ メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？ カメラでフォーマットしてください。 ⚙ メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？ メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布でふいてください。 ⚙ メモリーカードが壊れている可能性があります。 新しいメモリーカードを入れてください。 ⚙ バッテリー残量が少なくなっていますか？ 充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。 ⚙ 電源がオフになっていませんか？ 電源をオンにしてください。
撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	⚙ フラッシュ撮影しましたか？ フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。
ピントを合わせられません。	⚙ 近距離のものを撮影しようとしていませんか？ マクロを設定してください。 ⚙ マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？ マクロを解除してください。 ⚙ オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？ AF/AEロックを使って撮影してください。
シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	⚙ インジケータランプが橙色に点灯していませんか？ インジケータランプが消灯するまでお待ちください。
顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	⚙ 顔キレイナビが使用できない設定になっていませんか？ 撮影モードを変更してください。

症状	処置
顔を検出できません。	⚙️ サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？ なるべく顔の全体が見えるようにしてください。 ⚙️ 撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？ 顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。 ⚙️ 人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？ 顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。 ⚙️ カメラが傾いていませんか？ カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。 ⚙️ 人物の顔が暗くないですか？ できるだけ明るい条件で撮影してください。
ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	⚙️ 複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？ 合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレナビを使わずにAF/AEロック撮影してください。
マクロ（近距離）が設定できません。	⚙️ マクロが使用できない設定になっていませんか？ 撮影モードを変更してください。
フラッシュが発光しません。	⚙️ フラッシュ充電中に撮影しませんでしたか？ フラッシュの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ⚙️ フラッシュが閉じていませんか？ フラッシュをポップアップしてください。 ⚙️ フラッシュが使用できない設定になっていませんか？ 撮影モードを変更してください。 ⚙️ マクロ撮影の設定がスーパーマクロになってませんか？ 設定を変更してください。 ⚙️ バッテリー残量が少なくなっていないですか？ 充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。 ⚙️ 連写が設定されていないですか？ 連写をオフにしてください。 ⚙️ マナーモードに設定されていないですか？ マナーモードを解除してください。
使いたいフラッシュ設定を選べません。	⚙️ フラッシュが使用できない設定になっていませんか？ 撮影モードを変更してください。 ⚙️ マナーモードに設定されていないですか？ マナーモードを解除してください。

症状	処置
フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	⚙ 被写体から離れすぎていませんか？ フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。 ⚙ フラッシュを指などでふさいでいませんか？ カメラを正しく構えてください。 ⚙ 高速シャッタースピードで撮影していませんか？ シャッタースピードが1/1000秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを1/1000秒以下に設定してください。
画像がぼやけています。	⚙ レンズに指紋などの汚れがついていませんか？ レンズを清掃してください。 ⚙ レンズに指などがかかっていますか？ レンズに指がかからないようしてください。 ⚙ 撮影時にAFフレーム（赤点灯）と!AFが表示されていませんか？ しっかりとピントを合わせてから撮影してください。
画像に点状のノイズがあります。	⚙ 気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？ 撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。
画像にノイズが撮影されます。	⚙ 高温環境で連続使用をしていませんか？ ⚙ 温度警告が表示されていませんか？ しばらく電源オフにした後でご利用ください。
ビューファインダーがぼやけて見えます。	⚙ 視度調節が合っていますか？ ファインダーがくっきり見えるように視度調節を行ってください。

動画時

症状	処置
カメラの動作音が気になります。	⚙ フォーカスモードを C に設定していませんか？ フォーカスモードを変更してください。 ⚙ 顔キレイナビをオンにしていませんか？ 顔キレイナビをオフにしてください。

再生時

症状	処置
画像が粗く表示されます。	⚙ 他のカメラで記録した画像ではありませんか？ 他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。
拡大表示できません。	⚙ 他のカメラで記録した画像ではありませんか？ 他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。 ⚙ 640で保存された画像ではありませんか。 リサイズおよびトリミングを使って640で保存された画像は、再生ズームできません。
カメラから音が出ません。	⚙ マナーモードに設定されていませんか？ マナーモードを解除してください。 ⚙ カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？ 再生音量を調節してください。 ⚙ 動画撮影中にマイクを手などでふさいでいませんか？ 動画撮影中はマイクをふさがないでください。 ⚙ 再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？ 再生中はスピーカーをふさがないでください。
選択した画像を消去できません。	⚙ プロテクトされていませんか？ プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。
全コマ消去したのに画像が残っています。	
コマNO.の連番が機能しません。	⚙ バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？ バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。

接続時

症状	処置
カメラの画面に何も表示されません。	⚙ カメラとテレビを接続していませんか？ カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。

症状	処置
テレビに画像、音声が出ません。	⚙ カメラとテレビが正しく接続できていますか？ 確認して正しく接続し直してください。 ⚙ テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？ テレビの入力を確認してください。 ⚙ テレビの音量が小さくなっていませんか？ テレビの音量を調節してください。
パソコンがカメラを認識しません。	⚙ USBケーブルが正しく接続されていますか？ 確認して正しく接続し直してください。
撮影したRAWまたはJPEGなどの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	⚙ MyFinePix Studioを使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？ MyFinePix Studio（Windowsのみ）を使って、画像を取り込んでください。
接続したのにプリントできません。	⚙ USBケーブルが正しく接続されていますか？ 確認して正しく接続し直してください。 ⚙ プリンターの電源は入っていますか？ プリンターの電源を入れてください。
1枚ずつしかプリントされません。	⚙ PictBridge対応のプリンターでプリントしていますか？ プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を1枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。
日時が印字されません。	

その他

症状	処置
カメラのボタンなどを操作しても動きません。	⚙️ 一時的に誤作動を起こしている可能性があります。 バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。 ⚙️ バッテリーの消耗が原因として考えられます。 新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
カメラが正常に作動しなくなっていました。	⚙️ 一時的に誤作動を起こしている可能性があります。 バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
音がでません。	⚙️ マナーモードに設定されていませんか？ マナーモードを解除してください。

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AFフレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	- AF/AEロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。 - 近距離撮影の場合は、 マクロを設定してください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。ただし、適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	- 電源を入れ直してください。 - 電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で再生メニューの 画像コピー を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
	カメラの温度が上昇しています。そのまま撮影すると、自動的に電源がオフになります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。
フォーマットされていません	メモリーカード、または内蔵メモリーがフォーマットされています。	メモリーカード、または内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。

警告表示	警告内容	処置
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
 空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録/コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
 空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです カードを入れてください		
記録できません でした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカード、または内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカード、または内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください。
プロテクトされたカードです	メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。

警告表示	警告内容	処置
コマNO.の上限です	コマNO.が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの コマNO. を 新規 に設定します。撮影すると、コマNO.が「100-0001」から付けられます。 コマNO. を 連番 に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	30000枚以上の画像をピクチャーサーチしようとしてしました。	30000枚以上の画像はピクチャーサーチできません。
	複数指定消去を枚数制限以上の画像で実行しようとしてしました。	999枚を超える画像では、複数指定消去は実行できません。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとしてしました。	プロテクトしたファイルは消去/回転できません。プロテクトを解除してください。
 画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとしてしました。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
 画像がありません		
 トリミングできません	 の画像をトリミングしようとしてしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	
 実行できません	 、  、  の画像を  にリサイズしようとしてしました。	これらの場合、リサイズはできません。
 実行できません	 、  の画像を  にリサイズしようとしてしました。	
 実行できません	 の画像をリサイズしようとしてしました。	

警告表示	警告内容	処置
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。
設定できません  設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。
回転できません  回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	回転できません。
 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしてしました。	これらの画像、動画は赤目補正できません。
 実行できません		
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	- パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 - パソコンまたはUSBケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	- プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 - プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 - お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は MENU/OK ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしてしました。	- お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF-JPEG、Exif-JPEG形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 - このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像（  ）または動画をプリントしようとしてしました。	- 動画はプリントできません。 - このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

仕様

型番	FUJIFILM X30	
有効画素数	1200万画素	
撮像素子	2/3型X-Trans CMOS II、原色フィルター採用	
記録メディア	内蔵メモリー（約55MB） / SDメモリーカード / SDHCメモリーカード / SDXCメモリーカード（UHS-I対応）（*1）	
レンズ	名称	フジノン光学式4倍ズームレンズ
	焦点距離	f=7.1mm～28.4mm （35mm判換算：28mm～112mm相当）
	開放F値	F2.0（広角）～F2.8（望遠）
	レンズ構成	9群11枚（非球面3枚）
デジタルズーム	超解像2倍ズーム（光学4倍ズームと併用 最大約8倍）	
絞り	F2.0～F11（広角）、F2.8～F11（望遠）、1/3EVステップ	
撮影可能範囲 （レンズ先端面からの距離）	標準：[広角]：約50cm～∞、[望遠]：約80cm～∞ マクロ：[広角]：約10cm～3.0m、[望遠]：約50cm～3.0m スーパーマクロ [広角端]：約1cm～1.0m	
撮影感度	AUTO1 / AUTO2 / AUTO3（ISO3200まで設定可能）、 ISO100 / 200 / 250 / 320 / 400 / 500 / 640 / 800 / 1000 / 1250 / 1600 / 2000 / 2500 / 3200 / 4000 / 5000 / 6400 / 12800（標準出力感度）	
ブレ補正	光学式（レンズシフト方式）	
シャッタースピード	1/4秒～1/4000秒（AUTO時）、 30秒～1/4000秒（全モード合わせて） （※開放絞り：1/1000、小絞り：1/4000）	
フラッシュ	手動ポップアップ式 CMOS調光によるオートフラッシュ（スーパーiフラッシュ） 撮影可能範囲（感度ISO AUTO（800）時） 広角： 約30cm～7.0m 望遠： 約50cm～5.0m	

ファインダー	電子ビューファインダー 0.39型 有機ELファインダー 約236万ドット （視野率： 約100%） アイポイント：約17.5mm（接眼レンズ最後尾から） 視度調整範囲：-4.0m-1～+2.0m-1 ファインダー倍率：0.65倍（35mm 判換算50mm、無限遠、視度-1.0m-1のとき） 対角視野 約31°（水平視野 約25°） アイセンサー付き
液晶モニター	3.0型 3:2 アスペクト チルト式TFT カラー液晶モニター 約92万ドット （視野率約100%）
動画	Full HD 1920×1080 60p / 50p / 30p / 25p / 24p 連続最大約14分まで HD 1280×720 60p / 50p / 30p / 25 / 24p 連続最大約27分まで * CLASS10以上のメモリーカードをご使用ください。 音声付き（ステレオ） 動画撮影中の光学ズーム（マニュアル）可能
電源	充電式バッテリー NP-95（リチウムイオンタイプ）（付属）
寸法・質量	（幅）118.7mm×（高さ）71.6mm×（奥行き）60.3mm（奥行はレンズ含む、ファインダー突部含まず） 約423g（付属バッテリー、メモリーカード含む） 約383g（バッテリー、メモリーカード含まず）
標準撮影枚数（*2）	約470枚（LCD表示ON AUTOモード時）
付属品	充電式バッテリー：NP-95 ACパワーアダプター：AC-5VT プラグアダプター ショルダーストラップ ストラップリング ストラップリングカバー ストラップリング取り付け補助具 専用USBケーブル 専用レンズキャップ 使用説明書（基本操作編）・保証書一式

*1 動作確認機種は、[対応情報（デジタルカメラ）](#)で掲載予定です。

*2 CIPA規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアはSDメモリーカードを使用し測定。バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。

リンク

富士フイルムでは、デジタルカメラに関するさまざまな情報をホームページで紹介しています。是非、アクセスしてみてください。

FUJIFILM X30製品情報

製品情報サイトでは、サポート情報やアクセサリなどがご覧になれます。

http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/x/fujifilm_x30/

FUJIFILM無料アプリケーション

富士フイルムが提供する無料のアプリケーションを使えば、スマートフォン/タブレット/パソコンで写真の楽しみ方が広がります。

<http://fujifilm-dsc.com/>

MyFinePix Studio（ビューアソフト）

MyFinePix Studio（Windowsのみ）を使うと画像の閲覧、管理、印刷などをパソコン上で行うことができます。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

RAW FILE CONVERTER

RAW画像をパソコン上で現像したいときは、RAW FILE CONVERTERを使用します。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

撮影の基礎知識

撮影シーンに合わせたレンズの選び方や焦点距離や露出値などのコントロール方法が記載されています。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/knowledge/index.html>

デジタルカメラ撮影ガイド

色んなシーンの撮影方法が記載されています。

<http://fujifilm.jp/support/information/>

各撮影モードで利用できる機能について

各撮影モードで利用できる機能は以下のとおりです。

		ISO*	📷	Filter	Adv.				P	A	S	M	SP															
					📷	📷	📷	📷																				
マクロ	OFF		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	マクロ		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	スーパーマクロ		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
赤目補正 OFF	オート	✓	✓	✓			✓		✓				✓	✓			✓					✓	✓	✓	✓			
	強制発光	✓	✓	✓					✓		✓	✓	✓	✓							✓	✓	✓	✓	✓		✓	
	スローシンクロ			✓					✓		✓			✓	✓			✓	✓					✓	✓			
	コマンダー	✓	✓				✓			✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	発光禁止	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
赤目補正 ON	赤目軽減オートフラッシュ	✓	✓						✓					✓	✓							✓	✓		✓			
	赤目軽減 + 強制発光フラッシュ	✓	✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓							✓	✓	✓	✓				
	赤目スロー								✓	✓				✓	✓			✓	✓									
	コマンダー	✓	✓						✓	✓		✓	✓	✓				✓	✓			✓	✓	✓		✓		
	発光禁止	✓	✓		✓	✓		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
連写	超高速		✓						✓	✓	✓	✓					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	高速	✓	✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	中速	✓	✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	低速	✓	✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	AF 追従		✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	前後撮り連写	✓	✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
ブラケット ィング	AE ブラケットィング								✓	✓		✓																
	ISO ブラケットィング								✓	✓		✓																
	フィルムシミュレーション BKT								✓	✓		✓																
	ホワイトバランス BKT								✓	✓		✓																
ダイナミックレンジ BKT									✓	✓		✓																
露出補正				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	
AEL/AFL ボタン			✓	✓		✓		✓	✓	✓	✓		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
感度	AUTO1, 2, 3		✓					✓	✓	✓	✓	✓																
	12800-4000							✓	✓	✓	✓	✓																
	3200-400							✓	✓	✓	✓	✓																
	320-100							✓	✓	✓	✓	✓																

												SP																
		SR+	SR	Filter	RAW	RAW	RAW	RAW	P	A	S	M	SR	SR	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW	RAW
測光	マルチ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	スポット							✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	アベレージ							✓	✓	✓	✓	✓	✓															
オート フォーカス 設定	フォーカスエリア選択			✓				✓	✓	✓	✓	✓																
	リリース優先 / フォーカス優先	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	ワンプッシュ AF 時の動作	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	AF モード	オートエリア							✓	✓	✓	✓	✓															
		エリア選択	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		自動追尾	✓	✓					✓		✓	✓	✓	✓														
	ブリ AF	✓	✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF 補助光	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
フォーカス モード	C		✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	S		✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M		✓						✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ホワイトバランス								✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
画像サイズ	L	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	S	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
画質モード	FINE	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	NORMAL	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	FINE+RAW		✓						✓	✓	✓	✓	✓															
	NORMAL+RAW		✓						✓	✓	✓	✓	✓															
	RAW		✓						✓	✓	✓	✓	✓															
ダイナミッ クレンジ	AUTO	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	100%						✓		✓	✓	✓	✓																
	200%						✓		✓	✓	✓	✓																
	400%						✓		✓	✓	✓	✓																

				Filter	Adv.							SP																				
									P	A	S	M																				
フィルム シミュレ ーション	PROVIA/スタンダード	✓	✓	✓ ¹	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	Velvia/ビビッド		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	ASTIA/ソフト		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	クラシッククローム		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	PRO Neg. Hi		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	PRO Neg. Std		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	モノクロ	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	モノクロ+Ye フィルター	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	モノクロ+R フィルター	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
モノクロ+G フィルター	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
セビア	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フィルムシミュレーション BKT										✓	✓	✓	✓																			
インターバルタイマー撮影		✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
カラー										✓	✓	✓	✓																			
シャープネス										✓	✓	✓	✓																			
ハイライトトーン										✓	✓	✓	✓																			
シャドウトーン										✓	✓	✓	✓																			
ノイズリダクション										✓	✓	✓	✓																			
超解像ズーム		✓	✓							✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
インテリジェントブレ防止		✓																														
カスタム選択										✓	✓	✓	✓																			
カスタム登録 / 編集										✓	✓	✓	✓																			
顔キレイナビ		✓ ¹	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ¹		✓	✓		✓	✓	✓	✓			✓					
測光&フォーカスエリア連動							✓			✓	✓	✓	✓																			
MF アシスト			✓							✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フラッシュ 設定	フラッシュモード	✓	✓	✓			✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓											✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	フラッシュ 調光補正									✓	✓	✓	✓																			

1 固定
2 フォーカスモードが **S** のときに選択可能

索引

[A～Z]

ACパワーアダプター	1、31	instaxプリンタープリント	179
Adv.モード	122	ISO感度	126
AE/AF-LOCK機能選択	208	ISOブラケットिंग（ブラケットिंग撮影）	87、88
AE/AF-LOCK設定	207	LCD明るさ	197
AEブラケットिंग	87	LCD鮮やかさ	197
AEロック	104	MFアシスト	152
AE/AFロック	104	mixi	164
AEL/AF-Lボタン	106	MyFinePix Studio	220、252
AEブラケットिंग（ブラケットिंग撮影）	87	PC保存	160
AF（オートフォーカス）	42、124	PC保存先設定	213
AF警告	42、246	PC保存設定	212
AF補助光	125	PictBridge（ピクトブリッジ）	176、222
AFモード	125	P プログラム	60
AFロック	104	Q（クイックメニュー）ボタン	81
AUTO(感度)	126	RAW FILE CONVERTER	220、252
DISP/BACKボタン	15	RAW画像	114
DPOF指定	176	RAW現像	166
DRIVEボタン	20	SDHCメモリーカード	30
EVF明るさ	197	SDXCメモリーカード	30
EVF鮮やかさ	197	SDメモリーカード	30
EVF縦横自動回転表示	197	USB接続	220、223
FACEBOOK	164	VIEW MODEボタン	10
Fn（ファンクション）ボタン	83、201	Webアップロード	164
HDMI	4、229	YouTube	164
instaxプリンター接続設定	215		

【あ】

アイセンサー	11	インターバルタイマー撮影	116、133
赤目軽減	97	インテリジェントブレ防止	67、145
赤目補正	168、206	液晶モニター（LCD）	10、12
アップロード先設定	164	エリア選択	125
アドバンストSRオート	66	オート	68
アドバンストフィルター	69、123	オート（フラッシュ）	154
アドバンストモード	71	オートエリア	125
アベレージ	150	オートフォーカスが苦手な被写体	107
位置情報設定	214	オートフォーカス設定	124
色温度設定	138	オートフラッシュ	97
印刷	222	音設定	195
インジケーターランプ	14	お店プリント	227

【か】

海外で使うとき	238	感度	126
外部マイク	55	基準ISO感度	126
顔キレイナビ（顔検出機能）	149	機能の割り当て	83
拡大表示	110	強制発光	97、154
各部の名称	3	共通設定	212
画質モード	128	距離指標の単位	211
カスタム選択	146	切り抜き（トリミング）	170
カスタム登録/編集	147	記録画素数	250
カスタムホワイトバランス設定	137	クイック起動	204
画像回転	172	クイックメニュー	81
画像コピー	173	クイックメニュー登録/編集	203
画像サイズ	127	クリップオンフラッシュ	230
合焦マーク	109	ぐるっとパノラマ360	78
画面のカスタマイズ	16、200	言語設定	38、190
カラー	139	光学ズーム	41

【か】

工場出荷時の設定（撮影メニュー）	119	コマンドダイヤル	7
工場出荷時の設定（セットアップメニュー）	184	コンティニュアスAF	108
コマNO.	209	コントロールリング	8、193
コマンダー	97、154	コントロールリング設定	153

【さ】

再生音量	195	シャドウトーン	142
再生ズーム	47	充電	31
再生メニュー	158	充電器	231
再生モード	44	充電式バッテリー	231
撮影画像表示	196	充電（パソコンに接続してバッテリーを充電）	33
撮影可能範囲	250	修理	256
撮影可能枚数	251	仕様	250
撮影時情報	45	使用可能なメモリーカード	30
撮影メニュー	118	消去（静止画）	50、162
撮影モード	59	上限ISO感度	126
シーン選択（シーンポジション）	76、121	焦点距離	250
自動追尾	125	消費電力設定	204
自動電源OFF	204	初期設定	36
視度調整ダイヤル	13	処理前画像記録	210
絞り優先	63	シングルAF	108
シャープネス	140	スーパーiフラッシュ	250
シャッター音	195	スーパーマクロ	91
シャッター音量	195	ズームリング	3、34、41
シャッタースピード	62、64	スタンダード（MFアシスト）	152
シャッタースピード優先	62	ステレオマイク	234
シャッターボタン	3、42	ストラップ	25

【さ】

スポット	150	セクターボタン	6
スマートフォン送信時3M圧縮	212	セクターボタン設定	202
スマートフォン通信	218	全押し	43、105
スライドショー	165	前後撮り連写	89、90
スローシンクロ	97、154	全コマ解除（プリント予約）	178
静止画再生	44	全コマ消去	52、163
静止画撮影	39	操作音量	195
世界時計	189	測光	150
セットアップメニュー	182	測光&フォーカスエリア連動	151
セルフタイマー	93、132	その場で選んでプリント	224

【た】

ダイナミックレンジ	129	電源（再生モード）	34
ダイナミックレンジブラケティング（ブラケティング撮影）	87、88	電子水準器	17
多重露出（Adv.モード）	71、74	電池	27、31、231
縦表示（EVF）	24	動画感度	155
縦横自動回転再生	200	動画再生	56
超解像ズーム	144	動画再生速度	58
低速シャッター限界	126	動画撮影	53
デジカメプリント	176、227	動画中静止画撮影	156
デジカメプリントの注文	228	動画設定	155
テレビ接続	229	動画モード	155
電源	34	トリミング	170

【な】

内蔵メモリー	23	日時設定の変更	38
ナビゲーション	48	ノイズリダクション	143
日時設定	37、188		

【は】

ハイスピード動画	155	フィルムシミュレーション	130
ハイライトトーン	141	フィルムシミュレーションBKT	131
パソコン接続	33、219、220	フィルムシミュレーションブラケティング（ブラケティング撮影）	87、88
パソコンへの画像保存	219	フォーカスエリア	98
発光禁止	97	フォーカスエリア選択	124
バッテリー	27、31、231	フォーカスエリアポイント	98
バッテリー残量表示	35	フォーカスチェック	113、194
バッテリーチャージャー	231	フォーカスピーキング	152
パノラマ写真	78	フォーカスモード	108
パフォーマンス	204	フォーマット（初期化）	217
半押し	42、104	フォトブックアシスト	174
ピーキング	113	複数枚数指定	163
ピクチャーサーチ	161	付属品	1
ピクトブリッジ	176、222	ブラケティング撮影	87
ヒストグラム表示	19	フラッシュ	40、95、154
日付あり設定/日付なし設定	176	フラッシュ調光補正	154
日付書き込み	210	フラッシュモード	154
日付を入れてプリント	224	プリAF	125
1コマ再生	44	プリンター接続	223
1コマ消去	51	プリントサービス店でプリント	227
表示設定	196	プリントの中止	226
表示比率	181	プリント予約（DPOF）	176
ピント合わせ（フォーカス）	108	プリント予約した設定でプリント	225
ピント位置確認	46	フレーミングガイド	199
ピントの確認	113	ブレ防止モード	205
ファイル名編集	216	プログラム	60
ファインダー	10、24	プログラムシフト	61
ファンクション（Fn）設定	201	プロテクト	169
ファンクションボタン	83	ぼかしコントロール（Adv.モード）	71、72

【は】			
保存設定	209	ホワイトバランス	135
ボタンロック	6	ホワイトバランスブラケティング（ブラケティング撮影）	87、88
【ま】			
マイク/リモートレリーズ設定	156	マニュアルフォーカス	111
マイクレベル設定	156	マルチ（測光）	150
マイクロサムネイル	49	マルチ再生	49
マクロ撮影	91	無線LAN機能	218
マクロ（オートフォーカス設定）	124	メモリーカード	27、30
マナーモード	192	モードダイヤル	59
マニュアル	64	モニター撮影効果反映	198
マニュアル時モニター露出反映	197	モニター晴天モード	197
【ら】			
リサイズ	171	連写重ね撮り（Adv.モード）	71、73
リセット	191	レンズフード	235
リモートレリーズ	232	レンズフード付プロテクトフィルター	235
レザーケース	235	露出インジケーター	64
レリーズ優先/フォーカス優先	124	露出設定プレビュー	65
連写	89	露出補正	102
【わ】			
ワイヤレス通信	157、159	ワンプッシュAF時の動作	124
ワイヤレス設定	212		